

The background features a stylized illustration of the Sapporo Tower in yellow and blue, set against a white background with brown ink-like splatters and circles. In the bottom right corner, there is a blurred image of people walking, suggesting a lively urban scene.

札幌市まちづくり

戦略ビジョン

ビジョン編

SAPPORO
2013-2022
平成25~34年度

札幌市

札幌市はこれまで、人口の増加や市域の広がりなど、量的な拡大を背景に、「札幌市基本構想」と4次にわたる「札幌市長期総合計画」に沿って、計画的なまちづくりを進め、身近に感じられる豊かな自然と北海道の中心都市にふさわしい都市機能が調和した魅力的なまちとして、国内外から高い評価を受けてきました。そして何より、多くの市民が札幌に愛着を持ち、このまちに住み続けたいと感じています。

一方で今後、人口減少や、かつて経験したことのない超高齢社会の到来、さらには、エネルギー政策の見直しが求められるなど、これまでの右肩上がりの社会構造を前提とした価値観は大きく変わりつつあり、時代の分岐点とも言うべき転換期を迎えようとしています。

こうした状況においても、都市の魅力・活力と生活の質を高め、世界に誇るこのまちの輝きを未来に引き継いでいくために、この度、今後10年間の新たなまちづくりの基本的な指針として、「札幌市まちづくり戦略ビジョン<ビジョン編>」を策定しました。

このビジョンでは、私たちが目指す将来のまちの姿として、「目指すべき都市像」を掲げるとともに、これを実現するための「まちづくりの基本目標」を設定し、今後のまちづくりの方向性を具体的にイメージできるように、市民、企業、行政などがそれぞれの立場で取り組むべきことを明記しています。

また、本ビジョンは、「市民計画」として、札幌市まちづくり戦略ビジョン審議会で、有識者などによる議論に加え、市民会議やワールドカフェを開催するなど、多くの市民の参加を得ながら、共につくり上げてきました。

先人たちが築き上げてきたこの魅力的なまちを受け継ぎ、そして、札幌の未来をつなぐ子どもたちに良好な形で引き継いでいくために、市民、企業など様々な活動主体がこのビジョンを共通の指針として広く認識し、それぞれが自分の役割を果たしていくことで、札幌・北海道の新しい未来を切り開いていくことができると確信しています。

最後に、計画の策定に当たり、ご尽力を賜りました審議会委員をはじめ、様々な形で関わっていただいた市民の皆様にご心からお礼を申し上げます。

平成25年（2013年）2月

札幌市長

上田 文雄



目次 Contents

第1章	はじめに	1
1	策定の背景	2
2	策定の趣旨	4
3	位置付け	5
4	計画期間と目標年次	5
5	特色	6
第2章	社会経済情勢の変化と札幌	7
第1節	札幌を取り巻く社会経済情勢の変化	8
1	人口の将来見通し	8
2	人口減少・超高齢社会を迎える札幌	10
3	グローバル化の進展	16
4	地球規模の環境・エネルギー問題の深刻化	18
第2節	札幌・北海道の魅力と資源	22
1	札幌の魅力と強み	22
2	郷土意識と外から見た評価	25
3	未来を切り開くために活用すべき北海道の資源	27
第3章	私たちが目指す札幌市の将来	31
第4章	まちづくりの基本目標	35
第1節	地域 ～つながりと支え合い～	38
基本目標 1	共生と交流により人と人がつながるまちにします	39
基本目標 2	様々な担い手が地域のまちづくり活動に参加するまちにします	40
基本目標 3	多様な地域課題を解決できるまちにします	41
第2節	経済 ～暮らしと雇用を支える～	42
基本目標 4	強みを生かした産業が経済をけん引するまちにします	43
基本目標 5	様々な連携により産業が高度化するまちにします	44
基本目標 6	市民の雇用が安定的に確保されるまちにします	45
基本目標 7	強みを生かし世界とつながるまちにします	46
基本目標 8	地域コミュニティを支える産業を大切にするまちにします	47
第3節	子ども・若者 ～健やかに育む～	48
基本目標 9	安心して子どもを生み育てられるまちにします	49
基本目標 10	将来を担う子どもの成長と自立を支えるまちにします	50
基本目標 11	若者が社会的に自立し活躍できるまちにします	51

第4節 安全・安心 ～人に優しいまち～	52
基本目標12 誰もが健康的で安心して暮らせるまちにします	53
基本目標13 地域防災力が高く災害に強いまちにします	54
基本目標14 安全な日常生活が送れるまちにします	55
第5節 環境 ～次世代へ引き継ぐ～	56
基本目標15 豊かな自然と共生するまちにします	57
基本目標16 資源やエネルギーを有効活用するまちにします	58
基本目標17 市民が環境について学び行動するまちにします	59
第6節 文化 ～創造性を育む～	60
基本目標18 創造的な活動により活力あふれるまちにします	61
基本目標19 文化芸術やスポーツの魅力によりにぎわいが生まれるまちにします	62
基本目標20 市民一人一人が魅力を再認識し発信するまちにします	63
第7節 都市空間 ～魅力と活力のある都市の形成～	64
基本目標21 公共交通を中心とした集約型のまちにします	65
基本目標22 札幌の顔となる魅力と活力あふれる都心にします	66
基本目標23 都市の価値を高めるみどりを生かしたまちにします	67
基本目標24 都市基盤が適切に維持・保全されるまちにします	68

第5章 ビジョンの推進に当たって 69

第1節 基本理念	70
第2節 基本姿勢	71
1 市民が主役のまちづくり	71
2 まちの活力を高める人づくり	71
3 北海道と共に発展する札幌	72
4 限りある資源の有効活用と共創	72
第3節 戦略ビジョンの効果的推進	73

資料編 75

I 審議会及び市議会における審議経過	76
II 市民参加事業	82
III パブリックコメント手続	116

まちづくり戦略ビジョンの全体像

ビジョン編

第1章 はじめに

策定の背景や趣旨、戦略ビジョンの位置付け

第2章 社会経済情勢の変化と札幌

札幌市を取り巻く課題とそれを踏まえた今後の取組の方向性

第3章 私たちが目指す札幌市の将来

目指すべき都市像

北海道の未来を
創造し、世界が憧れるまち

互いに手を携え、
心豊かにつながる共生のまち

第4章 まちづくりの基本目標

地域

経済

子ども
若者

安全
安心

環境

文化

都市
空間

第5章 ビジョンの推進に当たって

基本理念

札幌の未来をつなぐ子どもたちのために

基本姿勢

- ◆市民が主役のまちづくり
- ◆まちの活力を高める人づくり
- ◆北海道と共に発展する札幌
- ◆限りある資源の有効活用と共創

戦略ビジョンの効果的推進

今後10年間で最も大きなパラダイムの転換が必要となるテーマを選択し、集中的に施策を展開

戦略編

選択された3つのテーマに沿った施策の方向性を設定

暮らし
コミュニティ

産業
活力

低炭素社会
エネルギー転換

第1章

はじめに

- 1 策定の背景
- 2 策定の趣旨
- 3 位置付け
- 4 計画期間と目標年次
- 5 特色

第1章 はじめに

1 策定の背景

私たちのまち札幌は、北の大地に、自然の恵みと共に暮らしてきた人たちと、日本各地から移り住んできた人たちが、それぞれの伝統と文化を紡ぎ、育みながら、外国の先進の英知も取り入れて、文化の薫る国際都市へと飛躍的な発展を遂げてきました。

■ 黎明期 ■

明治2年（1869年）に開拓使¹が設置され、政府の開拓政策の拠点となった札幌は、大正11年（1922年）の市制施行などを経て、道路や路面電車、上下水道など、都市基盤²の整備が順次進められてきました。また、人口も増え続け、昭和15年（1940年）には函館市を抜いて北海道最大の都市となり、今日の札幌の骨格が形成されました。

■ 成長期 ■

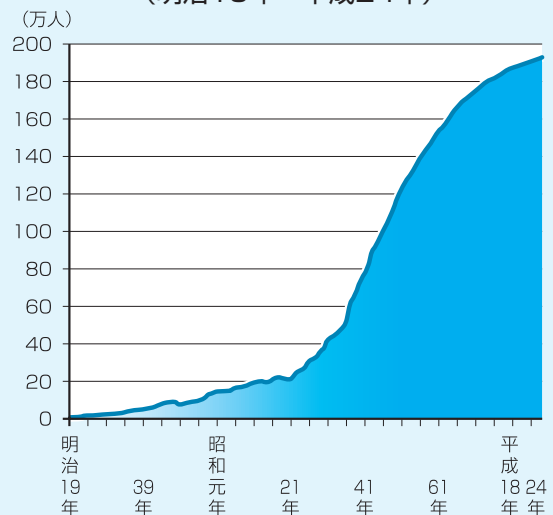
第二次世界大戦後から昭和40年代前半までは、国による行政事務の効率化を目的とした市町村の合併が促進され、札幌においても、周辺町村との合併による市域の拡大と人口増加が続きました。同時に、道内他市町村からの流入により飛躍的に人口が増加し、これらに対応した市街地や都心部の整備が進み、昭和45年（1970年）には人口が100万人を超え、日本有数の大都市へと発展しました。

■ 躍動期 ■

昭和47年（1972年）、アジアで初めて開催された冬季オリンピック大会を契機として、新たに地下鉄や地下街などが整備され、まちの様相が一変するとともに、市民の生活も大きく変わりました。また、政令指定都市³に移行し、区役所を中心として各区の特色を生かしたきめ細やかな行政が行われる体制になりました。その後、昭和60年（1985年）頃までの間に、上下水道の普及率や道路の舗装率は共に90%を超えるなど、基礎的な都市基盤が整備されました。

また、この時期には、姉妹・友好都市提携を結んだポートランド市、ミュンヘン市、瀋陽市及びノボシビルスク市との間で、文化、スポーツ、教育、経済を始めとした幅広い分野で交流が行われるなど、国際都市へと大きく発展を遂げました（平成22年（2010年）には、大田広域市と提携）。

図1-1 札幌市の人口の推移
(明治19年～平成24年)



<資料> 札幌市

¹ 【開拓使】明治2年、北海道・サハリン（樺太）の開拓のために設けられた日本の官庁。米国人ケブロンほか多数の外国人の指導で各種の開発事業を行った。

² 【都市基盤】ここでは、学校や区役所などの建築物のほか、道路、上下水道、公園などの公共施設のことをいう。

³ 【政令指定都市】人口50万人以上の市で、地方自治法第252条の19の規定に基づいて政令によって指定されたもの。

■ 成熟期 ■

市民の生活意識や価値観が多様化し、暮らしにうまいやゆとりといった心の豊かさが求められるようになり、市民の関心は、生活基盤の充足だけでなく、文化芸術など生活の質の向上にも向けられるようになりました。こうした中、札幌芸術の森、札幌コンサートホールKitara及び札幌ドームが相次いで整備されたほか、PMF（パシフィック・ミュージック・フェスティバル）などの文化芸術イベントや、サッカー・野球などのプロスポーツが根付くなど、市民が文化芸術やスポーツを身近に楽しむ環境が充実しました。さらに、近年では、サッポロ・シティ・ジャズ、札幌国際短編映画祭、さっぽろアートステージといった、新たな文化芸術の活動が生み出され、市民や札幌を訪れる人々の創造性⁴を育んでいます。

また、平成16年（2004年）に従来の連絡所が「まちづくりセンター⁵」に改編され、様々な地域⁶のまちづくり⁷活動の拠点としての機能が強化されることにより、まちづくりに市民が盛んに参加するようになってきました。これを契機に、平成19年（2007年）には札幌市自治基本条例が、平成20年（2008年）には札幌市市民まちづくり活動促進条例が相次いで制定され、市民がまちづくりの主役であるという考え方が明確に位置付けられました。

さらに、同年、札幌市子どもの最善の利益を実現するための権利条例が制定され、幅広い世代がまちづくりに参加できる環境が整ってきました。

こうした取組を通じて、市民の間に、市民自治の意識が着実に根付き始めています。

■ 新たな創成期～未来へ～ ■

そして今、札幌は、大きな転換期を迎えようとしています。

増加の一途をたどっていた札幌市の人口は、近い将来、少子高齢化を背景として、市制施行後、初めて減少に転じることが見込まれており、また、かつて経験したことのない超高齢社会⁸を迎えつつあります。さらに、生産年齢人口⁹の減少により、経済規模の縮小が懸念されています。

そして、地球規模で環境・エネルギー問題が深刻化する中、平成23年（2011年）3月11日に、東日本大震災¹⁰という未曾有の災害が発生しました。この大震災は、被災地だけでなく、日本全体に防災に対する心構えや、地域における支え合いなどの重要性を改めて認識させることとなりました。

加えて、東日本大震災に伴う福島第一原子力発電所の事故の発生によって、原子力が決して安全で安定的なエネルギーではないことが明らかになりました。

こうした社会情勢の変化の中、私たちは今までの価値観を転換し、先人の培ってきた財産と、一人一人の創造性を生かして、「新たな創成期」を切り開いていくことが求められています。

⁴ 【創造性】 新たなもの・ことをつくりだす力・性質。

⁵ 【まちづくりセンター】 住民組織の振興、地域の要望などの収集、市政の周知などに加え、様々なまちづくり活動を支援する地域の拠点として市内に87カ所設置（平成24年10月31日現在）。

⁶ 【地域】 この場合の「地域」とは、行政区より小さい、生活に身近な空間的広がりを目指す。第4章第1節「地域～つながりと支え合い～」参照。

⁷ 【まちづくり】 ここでは、快適な生活環境の確保、地域社会における安全及び安心の推進など、暮らしやすい街を実現するための公共的な活動の総体をいう。

⁸ 【超高齢社会】 総人口に占める65歳以上人口の割合が21%を超える社会のこと。なお、7%以上14%未満を「高齢化社会」、14%以上21%未満を「高齢社会」と呼ぶ。

⁹ 【生産年齢人口】 15歳以上65歳未満の人口。

¹⁰ 【東日本大震災】 平成23年3月11日午後2時46分、三陸沖で発生したマグニチュード9.0の東北地方太平洋沖地震により引き起こされた大災害。最大震度7の強い揺れと国内観測史上最大の津波を伴い、東北・関東地方を中心とする広い範囲に甚大な被害をもたらした。また、福島第一原子力発電所が被災し、放射性物質が漏れ出す深刻な事態になった。

2 策定の趣旨

札幌市では、平成32年（2020年）を目標年次とする札幌市基本構想（平成10年（1998年）議決）と第4次札幌市長期総合計画（平成12年（2000年）策定）に基づき、計画的にまちづくりを進めてきました。

しかし、少子高齢化や人口減少、札幌・北海道経済の長期にわたる低迷、福島第一原子力発電所の事故をきっかけとしたエネルギー政策の見直しなど、札幌を取り巻く社会経済情勢が、計画策定時の想定を超えて、大きく変化しています。

このような状況の中で、国は、中央集権による画一的な地域づくりから脱却し、地域のことは地域の住民が責任を持って決める「地域主権型社会」の実現に取り組んでいます。

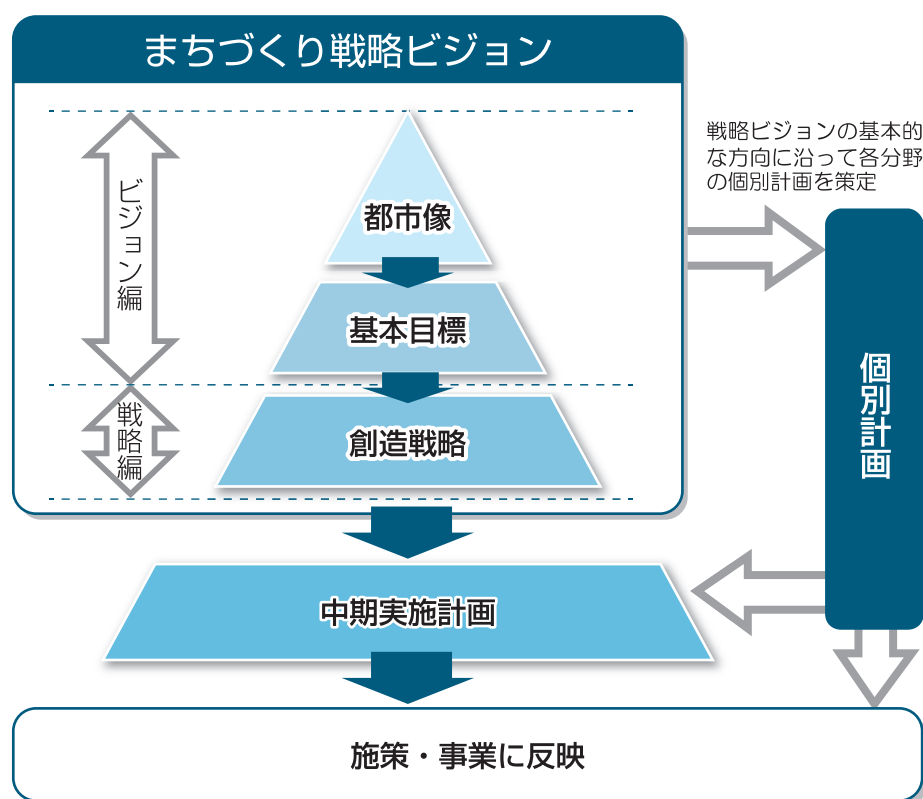
札幌市でも、札幌市自治基本条例を制定し、「自分たちの地域のことは、自分たちで考え、決め、そして行動する」という理念の下、「市民が主役のまちづくり」を進めるなど、まちづくりの基本的な考え方が大きく変わっています。

こうした状況の中、私たちが、目指すべきまちの姿とまちづくりの方向性を共有し、共に取り組んでいくために、札幌市まちづくり戦略ビジョン（以下「戦略ビジョン」という。）を策定するものです。

3 位置付け

戦略ビジョンは、これまでの札幌市基本構想と第4次札幌市長期総合計画に替わる新たなまちづくりの基本的な指針として、札幌市自治基本条例第17条の規定に基づき策定するものであり、札幌市のまちづくりの計画体系では、幅広い分野にわたる総合計画として最上位に位置付けられます。それぞれの分野には、法令に基づくものや札幌市が独自に策定するものなど、様々な個別計画がありますが、これらは、いずれも戦略ビジョンの基本的な方向に沿って策定し、推進していきます。

また、札幌市は、戦略ビジョンにおける基本的な考え方に基づく個々の施策・事業の展開に当たって、中期の実施計画¹¹を策定し、効果的で着実な実行を図っていきます。



4 計画期間と目標年次

平成25年度（2013年度）から平成34年度（2022年度）までの10年間を計画期間とし、平成35年（2023年）を目標年次と設定します。

¹¹ 【実施計画】 戦略ビジョンに示すまちづくりの基本的な方向に沿った施策を計画的、効果的に推進していくため、短中期間で取り組む具体的な事業について定めるとともに、各年度の予算編成や事業執行の指針として策定する計画。

5 特 色

■ 市民と共有できるビジョン ■

市民自治によるまちづくりを目指し、市民と共有するための「市民計画」として位置付けるとともに、広く市民の参加を得ながら共につくり上げることで、「市民と共有できるビジョン」にすることを基本的な考え方としています。

■ ビジョン編と戦略編 ■

戦略ビジョンは、私たちが一体となってまちづくりを進めるために、目指すべき将来のまちの姿を描いた「ビジョン編」と、主に行政が優先的・集中的に実施することを記載した「戦略編」で構成しています。

■ 実施型から未来実現型への転換 ■

これまでの長期総合計画では、行政が実施することを記載していましたが、戦略ビジョンでは、10年後に実現を目指すまちの姿を示し、市民と行政が一体となって取り組むまちづくりの方向性を示します。

■ 役割分担の明確化 ■

戦略ビジョンでは、私たちが一体となってまちづくりに取り組み、目指すべきまちの姿を実現するため、市民、企業、行政など、様々な主体の役割分担を明確にしています。

第2章

社会経済情勢の変化と札幌

第1節 札幌を取り巻く社会経済情勢の変化

- 1 人口の将来見通し
- 2 人口減少・超高齢社会を迎える札幌
- 3 グローバル化の進展
- 4 地球規模の環境・エネルギー問題の深刻化

第2節 札幌・北海道の魅力と資源

- 1 札幌の魅力と強み
- 2 郷土意識と外から見た評価
- 3 未来を切り開くために活用すべき北海道の資源

これから迎える人口減少・超高齢社会は、私たちの暮らしに様々な影響を及ぼすことが予想されています。また、グローバル化¹²の進展は、ヒトやモノが容易に国境を越えることを可能にし、世界の経済動向が、地方の経済や雇用に与える影響をより大きなものとしています。加えて、地球規模で深刻化する環境・エネルギー問題では、福島第一原子力発電所の事故が、私たちのエネルギーに対する考え方を変えるきっかけとなり、暮らしにも大きな影響を与えています。

今後のまちづくりでは、このような変化を的確に捉え、札幌の強みを生かしながら、目指すべき都市像の実現に向け、道筋を定めていく必要があります。

この章では、札幌を取り巻くこれらの変化から生じる課題を踏まえた上で、今後の取組の方向性と、その中で生かしていくべき札幌・北海道の魅力や資源を示します。

第1節

札幌を取り巻く社会経済情勢の変化

1 人口の将来見通し

(1) 札幌市の人口

札幌市の人口は、これまで一貫して増加傾向にありましたが、平成27年（2015年）前後をピークに減少傾向に転じることが予測されており、同年からの10年間で見ると、193万7千人から191万1千人へと1.3%減少する見込みです。

また、平均寿命の延びや出生率の低下により、少子高齢化が急速に進行し、高齢化率¹³は、平成27年（2015年）からの10年間で25.1%から30.5%へと上昇する見込みです。

(2) 北海道の人口

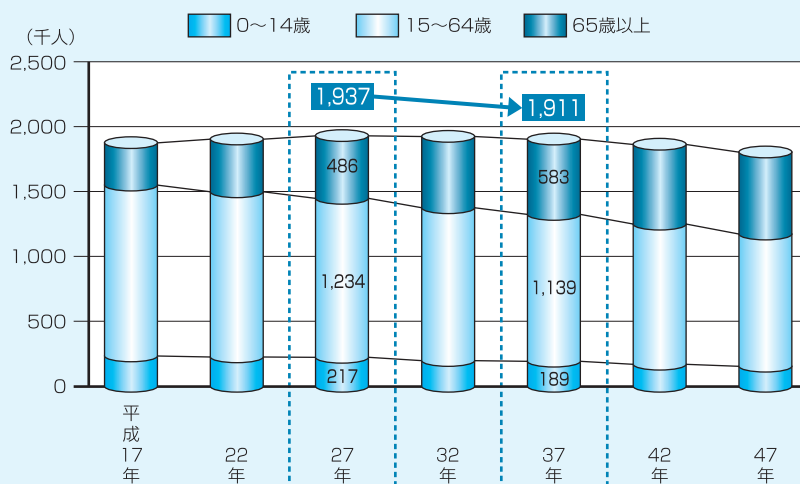
北海道の人口は、既に減少傾向にあり、平成27年（2015年）からの10年間では、536万人から493万7千人へと7.9%減少する見込みです。そのうち札幌市を除く道内市町村の人口は、344万5千人から306万9千人へと、10.9%減少する見込みです。

また、高齢化率は、同じく10年間で29.0%から34.0%（札幌市を除く道内市町村の場合、31.3%から36.5%）へと上昇する見込みです。

¹² 【グローバル化】 ヒト、モノ、カネ、情報の国境を越えた移動が地球規模で盛んになり、政治や経済など様々な分野での境界線がなくなることで、相互依存の関係が深まっていく現象。

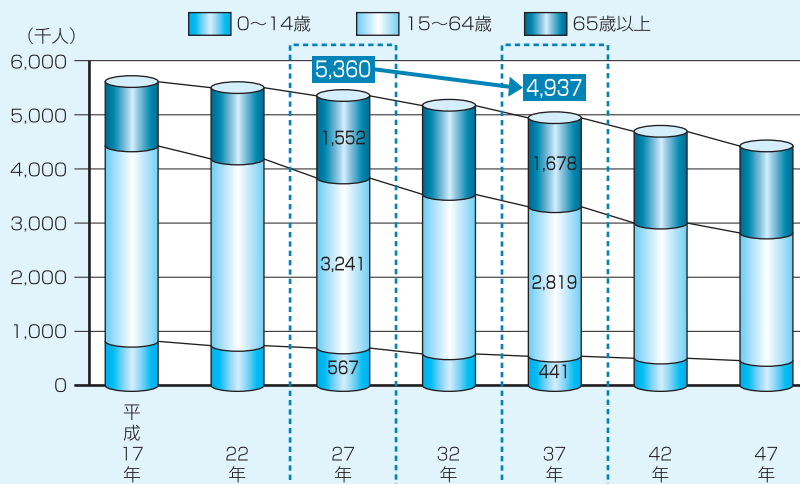
¹³ 【高齢化率】 総人口に占める65歳以上人口の割合。

図2-1 札幌市の人口の将来見通し



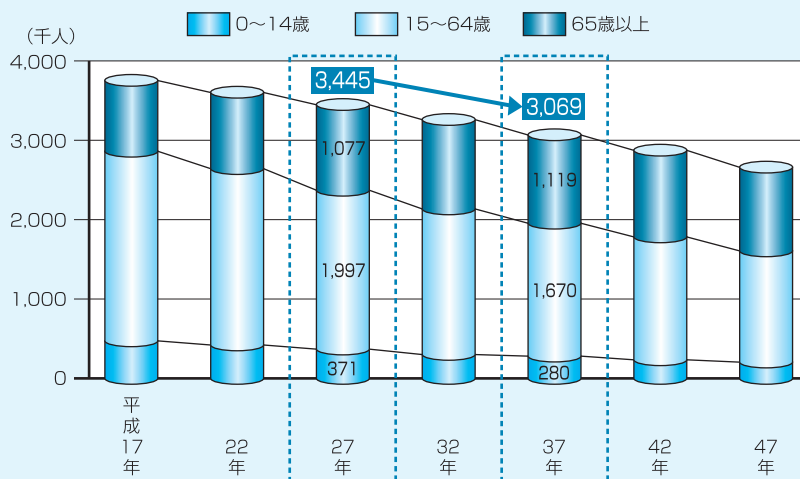
<資料> 札幌市、総務省「国勢調査」

図2-2 北海道の人口の将来見通し



<資料> 総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所

図2-3 道内他市町村の人口の将来見通し



<資料> 総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所

2 人口減少・超高齢社会を迎える札幌

(1) 地域・暮らしへの影響

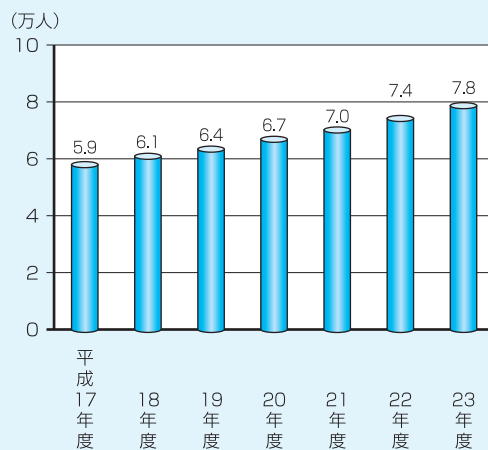
① 超高齢化

■ 現状・課題 ■

札幌市の人口が減少する局面に入っても、高齢者は大幅に増加することが見込まれています。また、少子高齢化の進行を背景として、支援や見守りが必要な要介護者¹⁴や障がいのある方が増加傾向にあります。

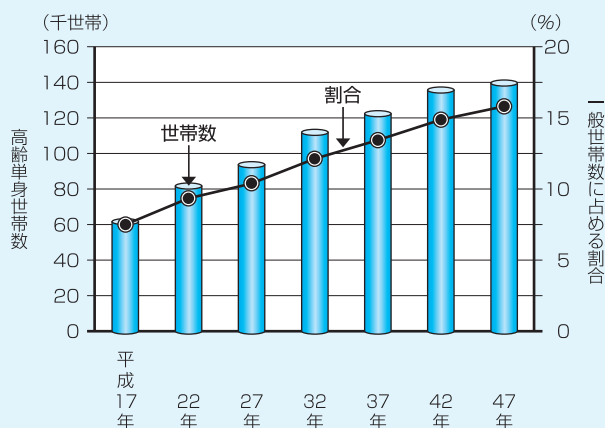
加えて、高齢単身世帯¹⁵数は、今後も増加傾向が続き、平成37年（2025年）には、おおむね8世帯に1世帯が高齢単身世帯となる見込みです。

図2-4 要介護（要支援）認定者数の推移（各年度末現在）



<資料> 札幌市

図2-5 高齢単身世帯数及び一般世帯数に占める割合の将来見通し



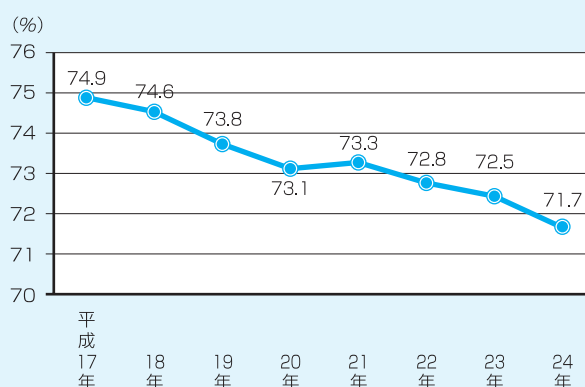
<資料> 札幌市、総務省「国勢調査」

¹⁴ 【要介護者】 介護が必要な状態にある65歳以上の人または政令で定められた特定疾病が原因で介護が必要な状態にある40歳から64歳までの人。

¹⁵ 【高齢単身世帯】 65歳以上の人一人のみの世帯。

また、今後、支援や見守りが必要な高齢単身世帯が増えることが予測される中、地域コミュニティ¹⁶の中核を担っている町内会の加入率は、年々低下しています。

図2-6 町内会・自治会の加入率の推移（平成17年～24年）



<資料> 札幌市

一方、国において、平成24年（2012年）に新たな高齢社会対策大綱¹⁷が策定され、これまでの「人生65年時代」から「人生90年時代」への転換など、今後の高齢社会対策の方向性が大きく見直されようとしています。

この中では、「65歳以上は支えが必要な人」という年齢一律による概念を変えていくことや、社会保障制度における、自助・共助・公助¹⁸のバランスの最適化などについて、基本的な考え方が示されています。

■ 取組の方向性 ■

高齢者の社会的孤立や孤立死¹⁹を未然に防ぐため、身近な住民同士のつながりを維持・強化することが必要です。

特に、町内会を始めとした地域の団体の更なる活性化とともに、新たなつながりを生み出すコミュニティの形成が重要です。

また、年齢などによる画一的な基準ではなく、個々の状況に応じたサービスを受けられるようにする必要があり、元気な高齢者は、地域社会を支える重要な一員として、健康を保ちながら、活躍していくことが期待されます。

さらに、少子化に歯止めをかけるためには、子どもを生み育てやすい環境づくりが求められます。

¹⁶ 【地域コミュニティ】ここでは、コミュニティとは、地縁、血縁、文化的背景、価値観などに基づく共同体をいい、そのうち、地縁的な要素の大きいものを地域コミュニティという。

¹⁷ 【高齢社会対策大綱】高齢社会対策基本法に基づき、政府が推進すべき基本的かつ総合的な高齢社会対策の指針として定められたもの。平成24年9月閣議決定。

¹⁸ 【自助・共助・公助】自助は、自分や家族の身を自ら守ること。共助は、地域における多様な生活ニーズへの的確な対応を図るため、自立した個人が主体的に関わり、支え合うこと。公助は、行政が個人や地域の取組を支援したり、個人や地域レベルでは解決できない問題に取り組むこと。

¹⁹ 【孤立死】ここでは、周囲との交流がなく、地域から孤立している状況の中で、自宅などで誰にも看取られず一人で亡くなり、発見までに時間を要した死をいう。

② 地域によって異なる人口推移

■ 現状・課題 ■

これまで札幌市の人口は、緩やかに増加を続けてきましたが、早くから開発された郊外の大規模な住宅団地では、人口減少が始まっている地域が既によく見受けられるほか、地下鉄やＪＲ沿線においても、一部の地域で人口の減少が見られます。特に、郊外の大規模な住宅団地では、開発当時、同じような年齢層や家族構成の世帯が一斉に移り住んでいましたが、それから30年以上経った現在、当時の子どもたちが成長して団地を出ていくことにより、人口の減少や高齢化の進行、空き家の増加といった問題が生じています。

一方で、マンションの立地が活発な地域や新しく開発された郊外の住宅地などでは、若い世代の流入が比較的多く、人口が増加するとともに、高齢化率が低い地域も見られます。

このように、札幌市内の人口動態²⁰や年齢構成は、地域によって大きく異なっている状況にあります。

■ 取組の方向性 ■

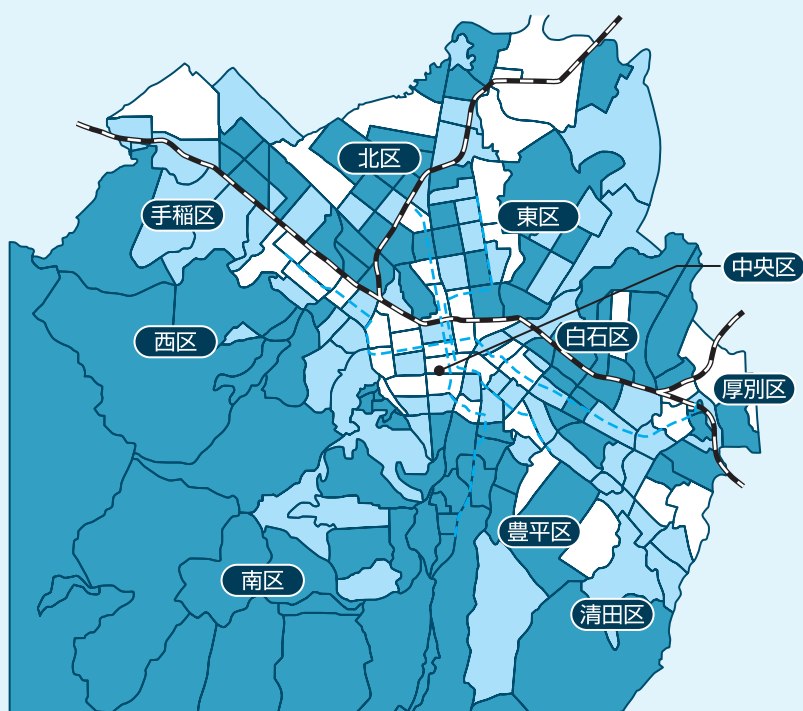
今後も、地域の状況や特性に合わせたまちづくりを進めることが重要です。このためには、町内会を始めとした地域の団体の活性化を図るとともに、近年、増加しているNPO²¹など、多様な活動主体が連携してまちづくりに取り組むことが求められます。また、自動車を持たない高齢者なども安心・快適に暮らせるまちづくりを進めることも重要です。

²⁰ 【人口動態】 出生・死亡、転入・転出などを合わせた人口の動き。

²¹ 【NPO】 ノンプロフィット・オーガナイゼーション（Non- Profit Organization）の略。民間の非営利組織のことをいう広い概念。一般的には、継続的、自発的に社会貢献活動を行う、営利を目的としない団体の総称。

図2-7 札幌市の統計区²²別人口増加数（平成12年～22年）

□ 1,000人以上増加 □ 0人～999人増加 ■ 減少

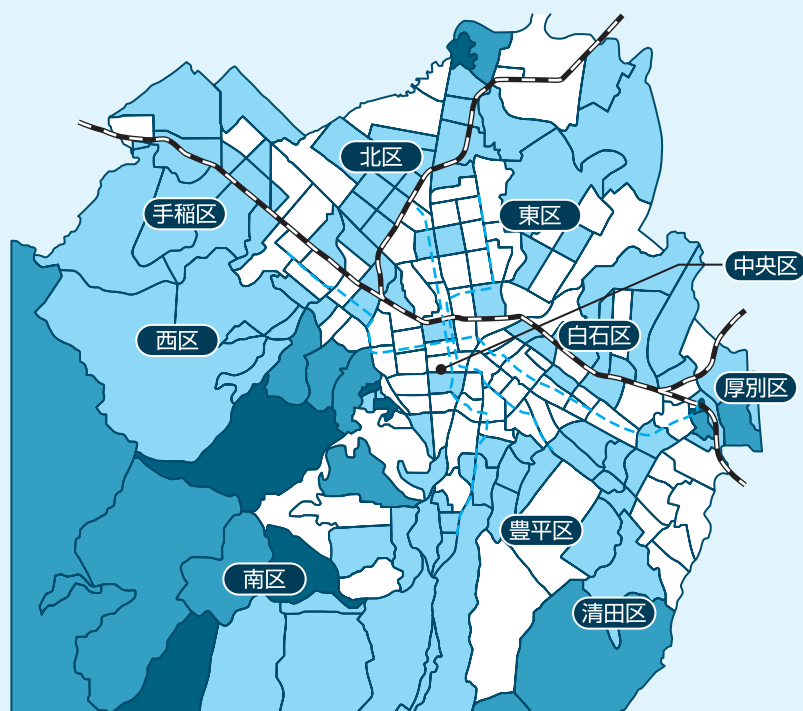


注：「国勢調査」の結果による。

<資料> 札幌市

図2-8 札幌市の統計区別高齢化率（平成22年10月1日現在）

■ 40%以上 ■ 30%以上40%未満 ■ 20%以上30%未満 □ 20%未満



注：「国勢調査」の結果による。65歳以上の人口の割合

<資料> 札幌市

²² 【統計区】区よりも小さな地域の統計情報を集計するため、札幌市が独自に設定している地理的区域で、市内を206に分割している（平成24年10月31日現在）。長期間にわたって集計結果を比較できるように、区域の境界線は、幹線道路や大きな河川、字界（あざかい）など、一般的に変動要素が少ないものとしている。

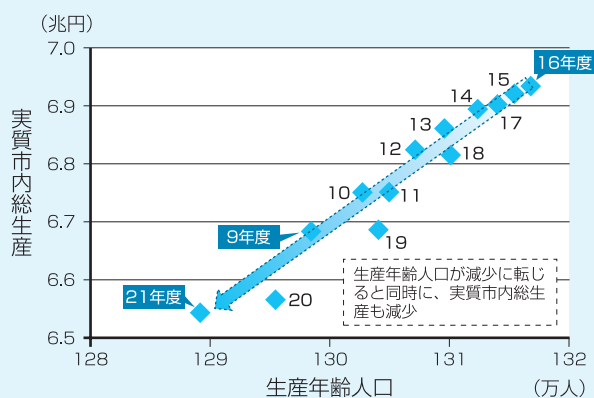
(2) 生産年齢人口の減少による経済規模の縮小

■ 現状・課題 ■

札幌市においては、経済活動を主に支える生産年齢人口と実質市内総生産²³に強い相関関係が見られ、生産年齢人口が減少に転じた平成17年度（2005年度）以降は、実質市内総生産も減少を続けています。

また、今後も、生産年齢人口の減少が予測されるとともに、道外へ転出する若者²⁴が多いという傾向もあることから、更なる経済規模の縮小が懸念されます。

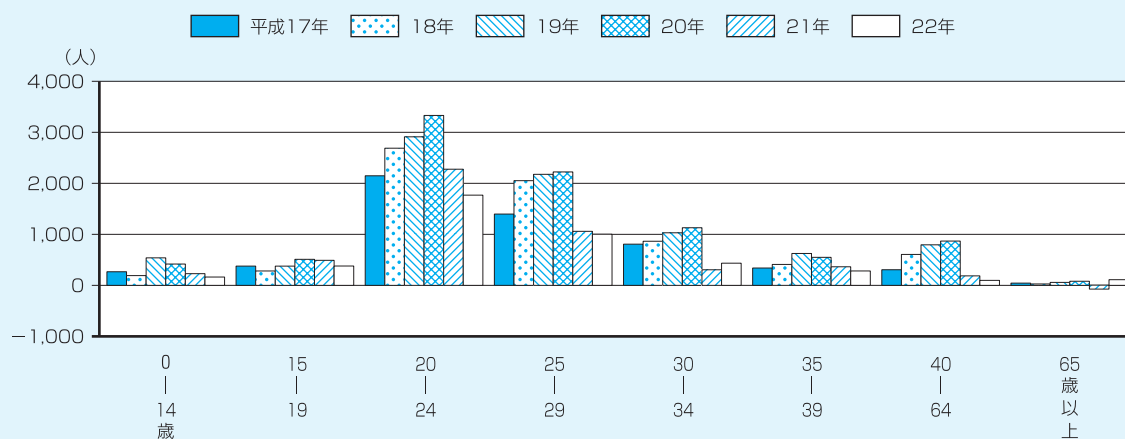
図2-9 生産年齢人口と実質市内総生産（平成9年度～21年度）



注：グラフ内の数字は、各年度を表す。生産年齢人口は、各年10月1日現在の住民基本台帳人口による。

<資料> 札幌市

図2-10 道外への転出超過数（平成17年～22年）



注：住民基本台帳による。

<資料> 札幌市

²³ 【実質市内総生産】市内総生産とは、一定期間内に新しく生み出された物やサービスの金額の合計。この市内総生産から物価変動による影響を取り除いたものを実質市内総生産という。

²⁴ 【若者】主に18歳から34歳の人をいう（札幌市若者支援基本構想による）。

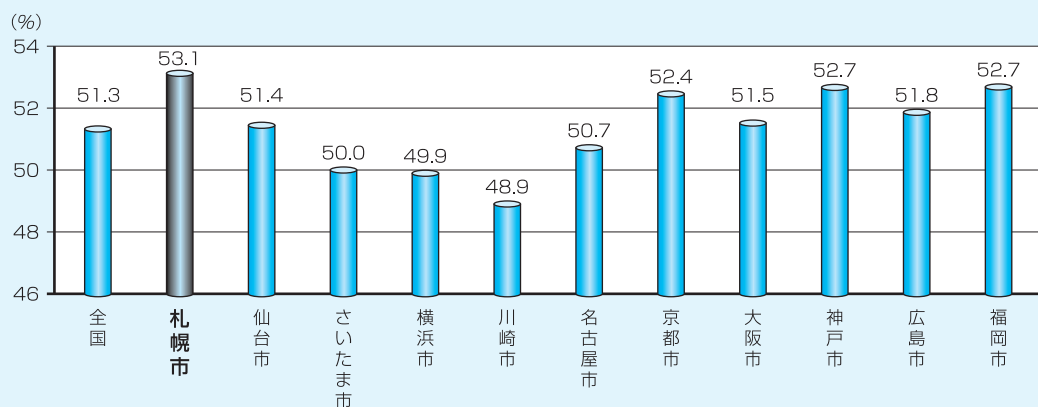
札幌市は、人口に占める女性の割合が高い特徴がありますが、女性の有業率²⁵は、他の政令指定都市と比較して、やや低位にあることから、経済を支える力が潜在しているといえます。

■ 取組の方向性 ■

企業の誘致や起業²⁶への支援などを通じて市民の就業の場を確保し、若者の道外への流出を防ぐことで、生産年齢人口の減少幅を縮小させるとともに、地場産業²⁷の付加価値の向上を図ることなどにより、市民一人当たりの所得を高めることが求められます。

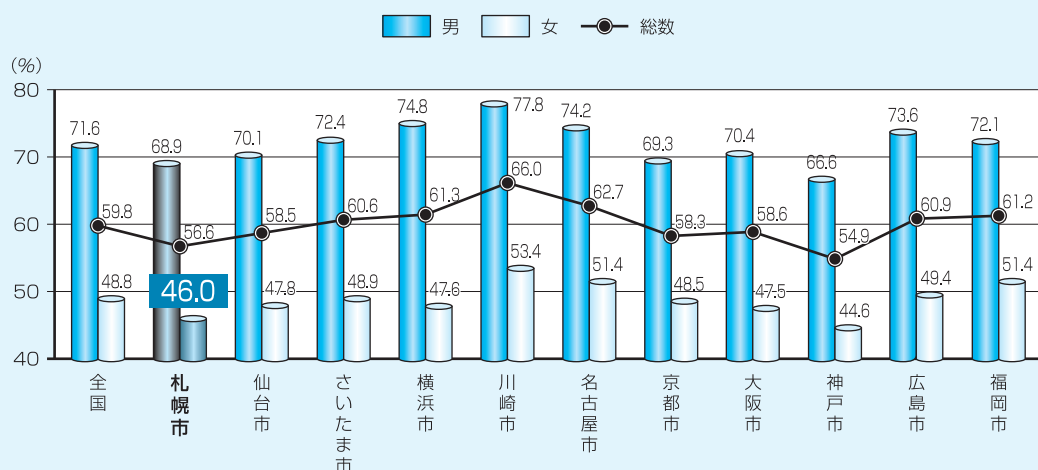
また、女性ならではの視点を取り入れて、付加価値の向上を図り、新たな市場を開拓するとともに、働く意欲のある女性や元気な高齢者世代の就業・起業の促進、働きやすい環境づくりなどにより、札幌の潜在的な力を経済の活性化に結び付けることも必要になります。

図2-11 総人口に占める女性の割合（平成22年10月1日現在）



<資料> 総務省「国勢調査」

図2-12 男女別有業率（平成19年10月1日現在）



<資料> 総務省「就業構造基本調査」

²⁵ 【有業率】 15歳以上人口に占める有業者の割合。

²⁶ 【起業】 新しく事業を始めること。

²⁷ 【地場産業】 ここでは、地域の素材・資源を利用して特産品を製造したり、サービスを提供したりする産業をいう。

3 グローバル化の進展

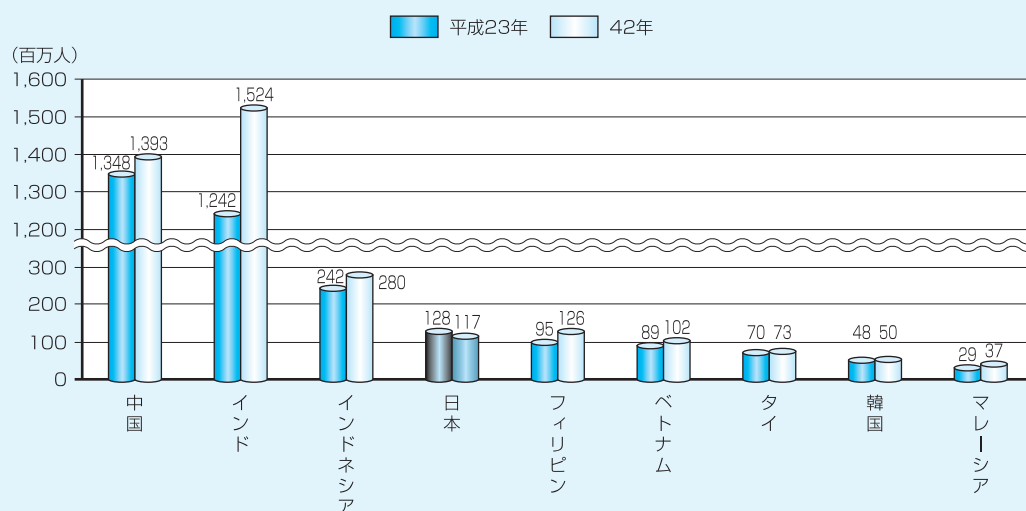
■ 現状・課題 ■

道内・国内の人口は減少傾向にあります。海外に目を向けると、経済成長が著しいアジア諸国では、人口の増加が続いています。中でも中国、インド、インドネシアなどでは、引き続き人口の増加やこれに伴う経済成長も見込まれており、今後も有望な市場として期待されます。

こうしたアジア諸国の経済成長を背景に、日本の貿易相手国は大きく変化しており、輸出全体に占めるアジア諸国の割合が上昇しています。

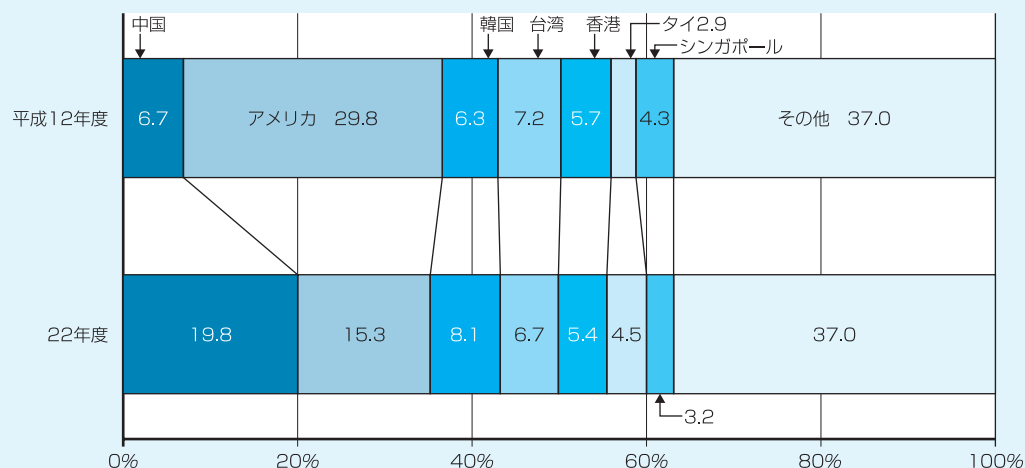
また、札幌市を訪れる外国人観光客は、近年増加しています。外国人宿泊者数は、平成13年度（2001年度）から平成22年度（2010年度）までの10年間で約3倍となっており、特に、アジア諸国からの宿泊者が9割近くを占めています。

図2-13 アジアの人口（平成23年、42年）



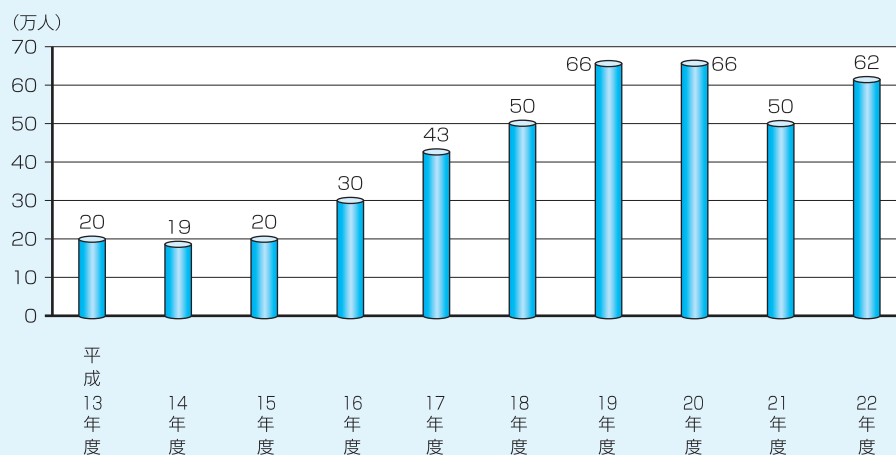
<資料> 総務省「世界の統計」

図2-14 日本の輸出額における国・地域別割合（平成12年度、22年度）



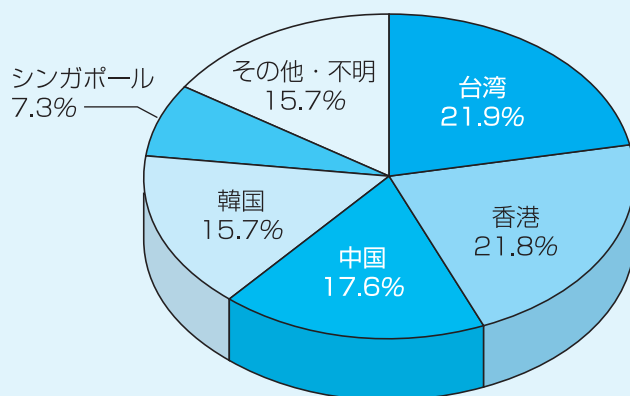
<資料> 財務省「貿易統計」

図2-15 来札外国人の宿泊施設利用者数（各年度中）



<資料> 札幌市

図2-16 外国人宿泊者数の国・地域別割合（平成22年度）



<資料> 札幌市

■ 取組の方向性 ■

グローバル化が進む中で、人口減少に伴い、縮小が見込まれる札幌の経済規模を補うためには、成長著しいアジアの活力を最大限に取り込む必要があります。

そのためには、戦略的に相手先の国・地域を定め、需要を取り込んでいくことが求められます。

4 地球規模の環境・エネルギー問題の深刻化

■ 現状・課題 ■

【温室効果ガス²⁸⁾】

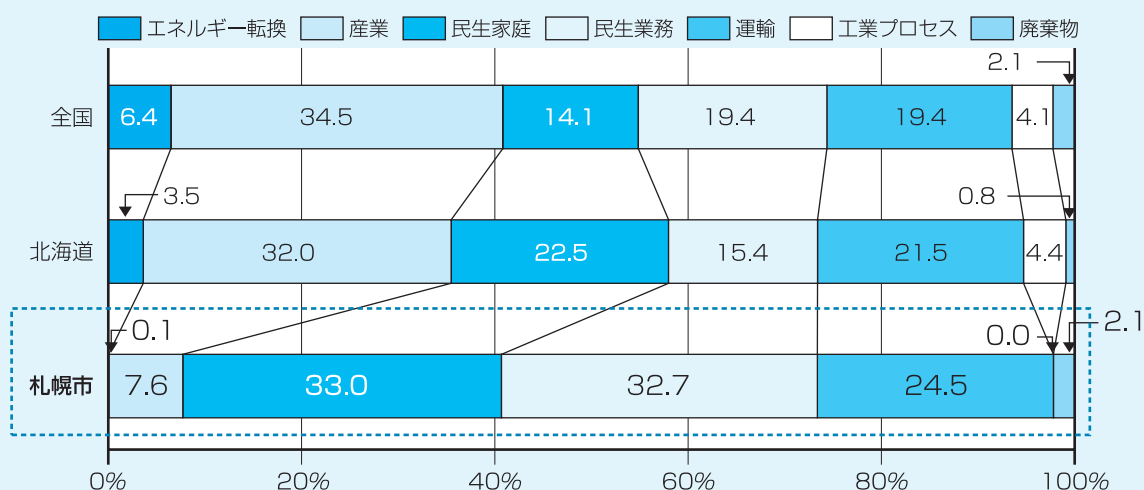
平成21年（2009年）に開催された主要国首脳会議（G8サミット）²⁹⁾では、先進国は平成62年（2050年）までに温室効果ガスの排出量を平成2年（1990年）比で80%以上削減することを支持する宣言がなされるなど、地球規模での温室効果ガス排出量の削減が求められています。

札幌市においては、二酸化炭素の排出量を部門別の割合で見ると、民生家庭部門³⁰⁾が33.0%、民生業務部門³¹⁾が32.7%、運輸部門³²⁾が24.5%と、この3部門で約9割を占めており、全国や北海道と比べて割合が高くなっていることが特徴です（3部門の合計は、全国で52.9%、北海道で59.4%）。

また、札幌市の二酸化炭素の排出量は、政令指定都市の中では7番目ですが、民生家庭部門における一世帯当たりの排出量は最も多く、冬期の暖房による影響が大きいと考えられます。^{※1}

※1 図2-23 月別電力使用量（21ページ）、図2-24 家庭用エネルギー用途別消費原単位（21ページ）参照

図2-17 部門別二酸化炭素排出量割合（平成20年度）



<資料> 札幌市、環境省、北海道

²⁸⁾ 【温室効果ガス】 地表面から宇宙空間に放出される熱の一部を吸収し、大気温の上昇を引き起こすガス。主なものにCO₂、フロン、メタンなどがある。

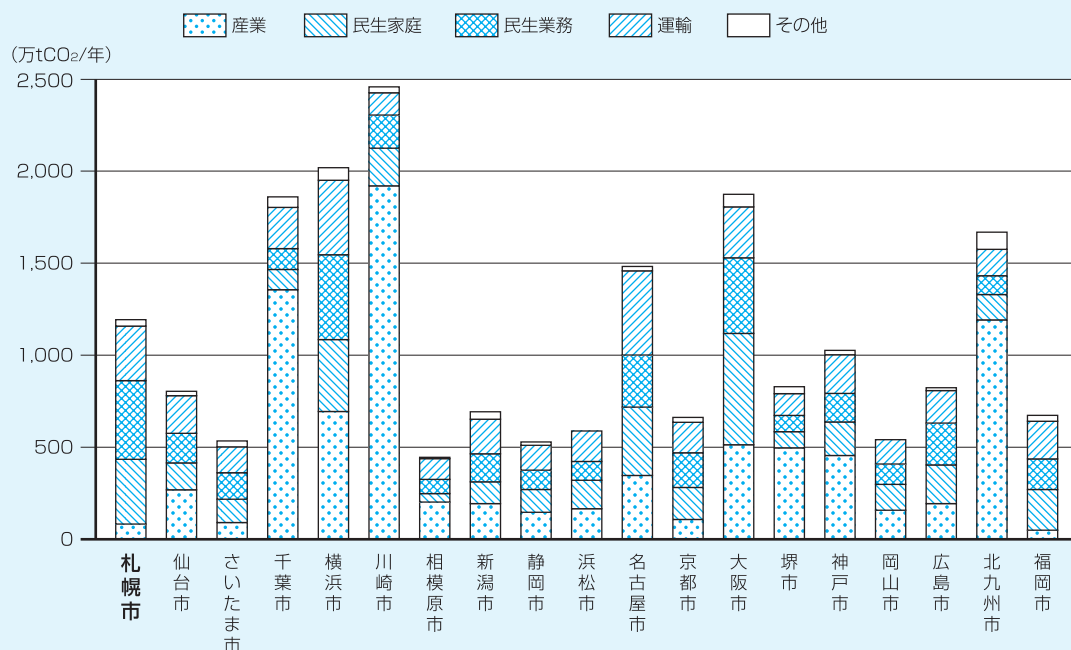
²⁹⁾ 【主要国首脳会議（G8サミット）】 国際的な首脳会議の一つ。G8（ジーエイト、"Group of Eight"の略）。アメリカ、イギリス、フランス、ドイツ、イタリア、カナダ、ロシア、日本の8か国首脳が参加。

³⁰⁾ 【民生家庭部門】 エネルギー消費量や温室効果ガス排出量のうち、自家用自動車などの運輸関係を除く家庭からのものを示す際に使用する表現。

³¹⁾ 【民生業務部門】 エネルギー消費量や温室効果ガス排出量のうち、企業の管理部門などの事務所・ビル、ホテルや百貨店、サービス業などの第三次産業などによるものを示す際に使用する表現。

³²⁾ 【運輸部門】 エネルギー消費量や温室効果ガス排出量のうち、自動車、航空、船舶、鉄道などの利用によるものを示す際に使用する表現。

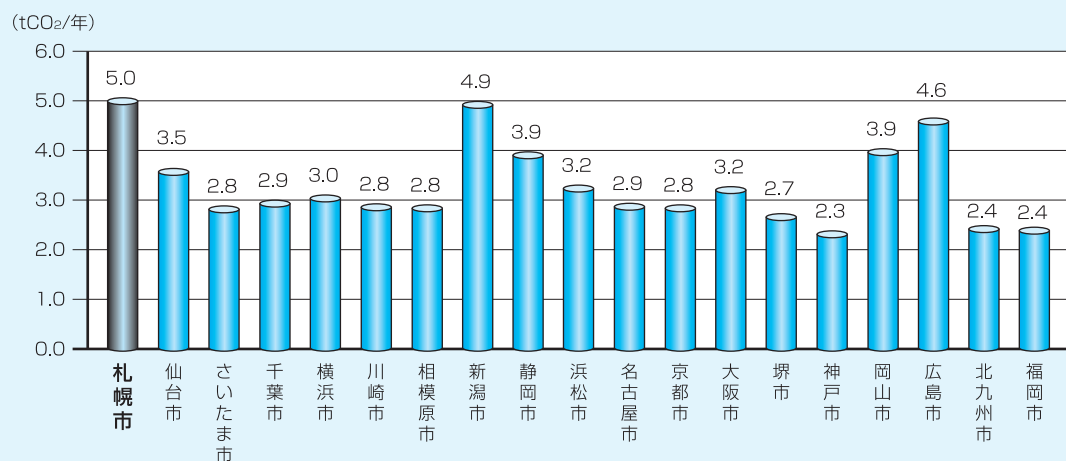
図2-18 部門別二酸化炭素排出量



注：相模原市及び岡山市は平成18年度中、札幌市、仙台市、千葉市、横浜市、新潟市、広島市及び北九州市は19年度中、さいたま市、川崎市、静岡市、浜松市、京都市、大阪市、堺市、神戸市及び福岡市は20年度中、名古屋市は20年中の数値であり、川崎市は速報値である。

<資料> 指定都市市長会

図2-19 一世帯当たりの二酸化炭素排出量（民生家庭部門）



注：二酸化炭素排出量は、相模原市及び岡山市は平成18年度中、札幌市、仙台市、千葉市、横浜市、新潟市、広島市及び北九州市は19年度中、さいたま市、川崎市、静岡市、浜松市、京都市、大阪市、堺市、神戸市及び福岡市は20年度中、名古屋市は20年中であり、川崎市は速報値である。世帯数は、各年10月1日現在の推計世帯数を使用した。ただし、岡山市は住民基本台帳による世帯数を使用した。

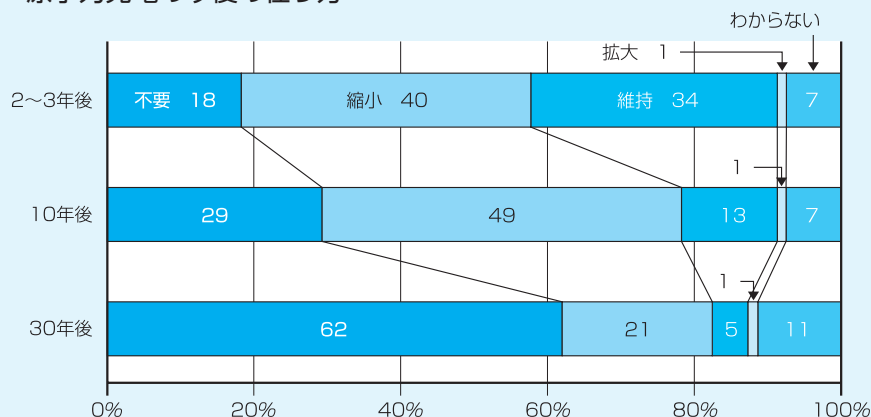
<資料> 札幌市、各政令指定都市、大都市統計協議会

【エネルギー】

これまでの日本のエネルギー政策では、原子力を主要なエネルギー源と位置付け、将来にわたって、その役割を担うものと考えていましたが、福島第一原子力発電所の事故は、日本のエネルギー政策の在り方を根底から見直すきっかけとなりました。

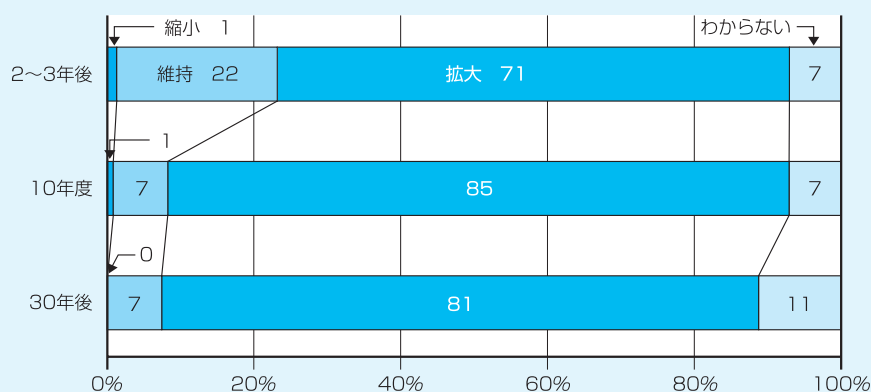
こうした中、原子力発電に対する市民の意識も大きく変わってきています。「平成23年度（2011年度）エネルギーに関する市民意識調査」でも、今後のエネルギーの在り方について、脱原発依存と再生可能エネルギー³³の拡大を望んでいることがうかがわれます。札幌市議会においても、平成23年（2011年）6月に「原発に頼らないエネルギー政策への転換を求める意見書」を全会一致で可決するなど、脱原発依存社会の実現や再生可能エネルギーへの移行に向けた気運が高まっています。

図2-20 原子力発電の今後の在り方



<資料> 札幌市「平成23年度エネルギーに関する市民意識調査」

図2-21 再生エネルギーによる発電の今後の在り方



<資料> 札幌市「平成23年度エネルギーに関する市民意識調査」

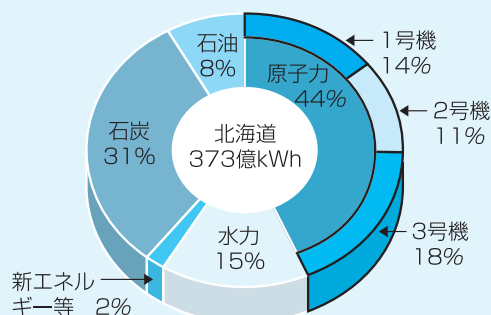
なお、平成22年度（2010年度）の泊原子力発電所が停止する前の時点では、北海道で消費される年間電力量のうち、約44%が泊原子力発電所で発電されています。

また、積雪寒冷地である札幌では、暖房に代表される冬期の電力使用量が比較的多い傾向があります。また、エネルギー需要全体に占める熱需要³⁴の割合が高いという特徴があり、これに対応した効率的なエネルギー利用が求められています。

³³ 【再生可能エネルギー】 太陽光、地熱、風力など、エネルギー源として永続的に利用することができるものの総称。

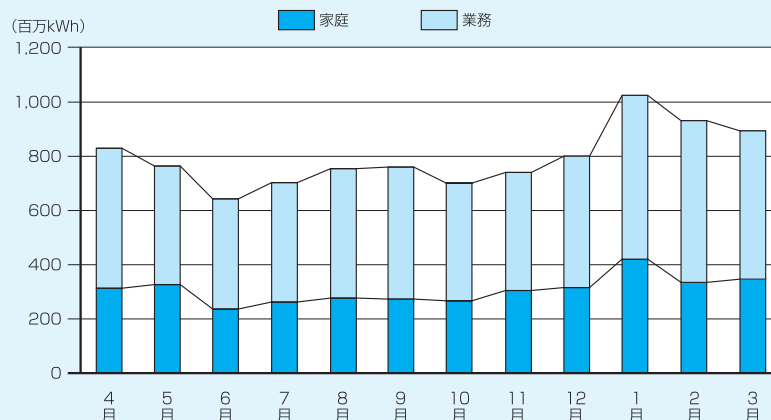
³⁴ 【熱需要】 市民生活、企業活動などにおいて必要とされる冷暖房、給湯といった熱エネルギーに対する需要。

図2-22 北海道の電源別発電電力量（平成22年度）



<資料> 北海道電力株式会社

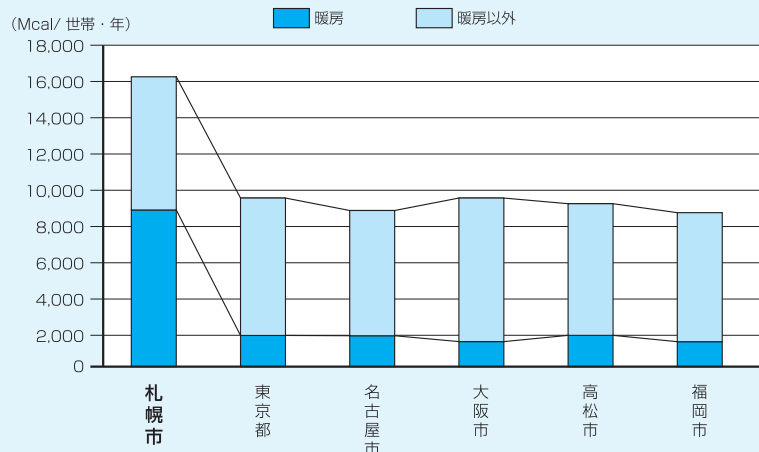
図2-23 月別電力使用量（平成22年度）



注：札幌市内の数値である

<資料> 北海道電力株式会社

図2-24 家庭用エネルギー用途別消費原単位



<資料> 経済産業省「平成14年度民生部門エネルギー消費実態調査」

■ 取組の方向性 ■

低炭素社会³⁵と脱原発依存社会の実現に向け、限りある資源を有効に活用し、さらには、自分たちでエネルギーをつくり出していく取組が求められています。

また、市民一人一人が環境に配慮したライフスタイルへ転換することも求められます。

³⁵ 【低炭素社会】 ここでは、地球温暖化の原因となるCO₂などの排出量を最小化した社会をいう。

1 札幌の魅力と強み

(1) 豊かな自然環境

① みどり豊かな自然

石狩平野の南西部に位置する札幌には、豊平川を始めとする多くの河川が流れ、市街地の周囲には、みどり豊かな自然環境が広がっています。

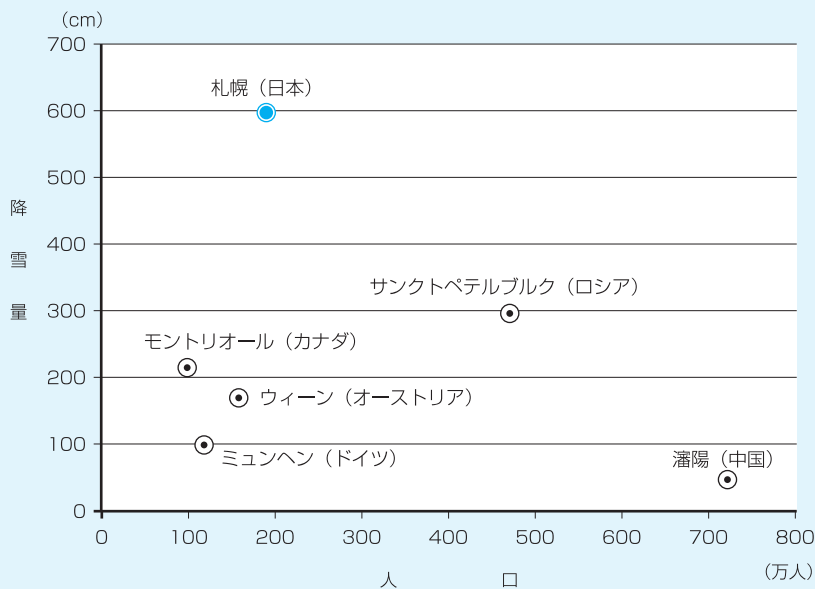
また、森林が市域の約6割を占め、南西部は支笏洞爺国立公園に指定されているほか、天然記念物の指定を受けている藻岩山原始林と円山原始林があり、約450種の豊かな植生³⁶が広がっています。

② 変化に富んだ気候

札幌は、亜寒帯³⁷に属し、本州とは異なる植生が、独特な景観をつくり出しています。

気候は、夏は爽やかで過ごしやすく、冬は積雪寒冷であるのが特徴で、四季の変化が鮮明です。100万人以上の人口を擁する世界の大都市の中で、年間6mもの降雪量がある都市は他にありません。

図2-25 世界の都市の人口と降雪量



注：札幌の降雪量は昭和56年から平成22年までの平均。他の都市は昭和60年から平成2年までの平均

<資料> 札幌市

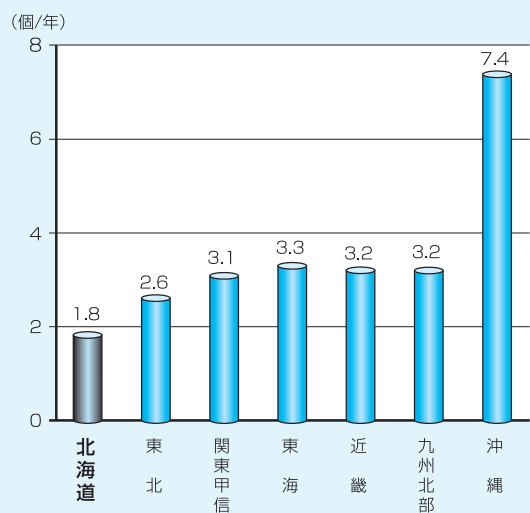
³⁶ 【植生】ある場所に生育している植物の集団の総称。植物群落。

³⁷ 【亜寒帯】温帯と寒帯の中間域を指し、気温によって区分した場合の気候帯の一つ。

(2) 少ない自然災害

札幌は、全国的に見ても台風の接近回数が少なく、地震の発生回数も少ないなど、自然災害の影響が比較的少ない都市です。

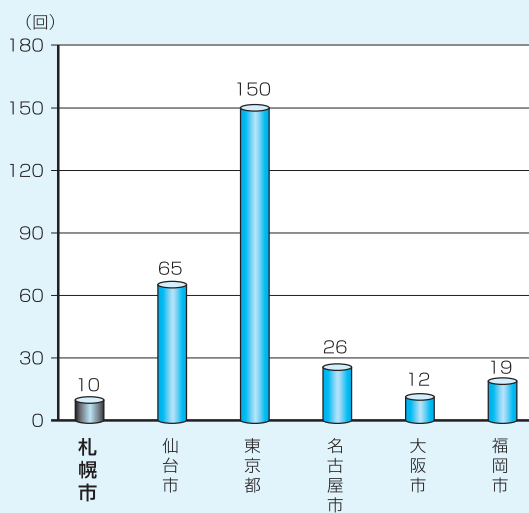
図2-26 地域別台風接近数（平年値）



注：昭和56年から平成22年までの平均値

<資料> 気象庁

図2-27 過去30年間の震度3以上の地震回数（昭和56年～平成22年）



<資料> 気象庁

(3) 札幌に集積する都市機能³⁸

札幌には、北海道庁や国の出先機関などの行政機関が集積しているほか、北海道内の約3割の事業所があり、企業の本社や支社も多数立地しています。また、金融機関、テレビ・ラジオ局、新聞・雑誌社などが集積し、北海道の中心的な役割を果たしています。

このような機能集積によって、ヒト、モノ、情報が集まり、札幌・北海道の魅力を発信しています。

(4) 札幌らしい文化・ライフスタイル

【冬の暮らし】

札幌では、市民が雪や寒さを活用しながら冬の生活を楽しむことができます。

また、冬季オリンピックが開催されたこともあり、札幌には、ジャンプ競技場を始めとするウィンタースポーツ施設が充実しており、オリンピック選手を多く輩出しています。さらには、小中学校の授業でスキーが行われるなど、子どもから大人までウィンタースポーツに親しむ文化が定着しています。

³⁸ 【都市機能】ここでは、業務、商業、居住、工業、交通、政治、行政、教育などの諸活動によって担われる都市の持つ種々の動きのことをいう。

【四季折々のイベント】

札幌では、年間を通じて多彩なイベントが開催されています。初夏の訪れを告げる「YOSAKOIソーラン祭り」、開放的な雰囲気です夏を楽しむ「さっぽろ大通ビアガーデン」、北海道の食を一度に楽しめる「さっぽろオータムフェスト」、幻想的な雰囲気に包まれる「さっぽろホワイトイルミネーション」、そして、世界中から多くの観光客が集まる「さっぽろ雪まつり」など、四季折々のイベントが市民や観光客を楽しませています。

表2-1 イベント来場者数

(単位 万人)

イベント	平成18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
さっぽろライラックまつり	35	36	37	38	41	42
YOSAKOIソーラン祭り	186	216	202	179	218	200
さっぽろ夏まつり	233	199	221	215	179	201
さっぽろオータムフェスト	—	—	72	130	112	131
さっぽろ雪まつり	210	216	208	243	242	205

<資料> 札幌市

【文化芸術・スポーツ】

札幌芸術の森や札幌コンサートホールKitara、モエレ沼公園を始めとした文化芸術施設が整備され、国際的な文化芸術に触れることができるほか、札幌ドームなどの大規模なスポーツ施設も集積し、野球やサッカーなど、様々なプロスポーツを観戦することができます。また、市民が身近に文化芸術・スポーツに親しめる環境も整っています。

(5) 札幌人の気質

札幌は、先人が北海道の厳しい自然環境の中、海外の文化などを積極的に取り入れ、幾多の困難を乗り越えてつくり上げてきたまちです。

こうした背景が、多様な文化を受け入れる寛容な気質と、既存の価値観にとらわれず、常に新しいモノを取り入れ、新しいコトに挑戦していく進取の気風を育んだといわれています。

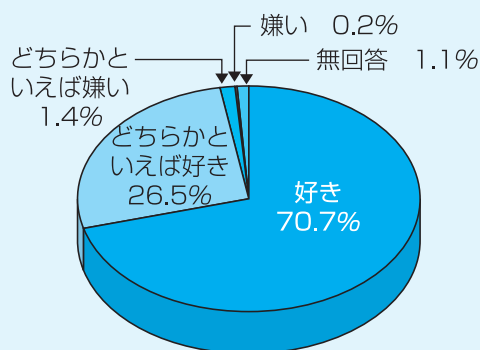
2 郷土意識と外から見た評価

(1) 市民の愛着

「平成23年度（2011年度）市政世論調査³⁹」の結果によると、市民の「札幌の街に対する愛着度」は、97.2%（「好き」と「どちらかといえば好き」の合計）と極めて高くなっています。その理由としては、「豊かな自然」、「はっきりした四季の変化」が多く挙げられ、「整備された公共交通機関」、「便利な都市施設」、「美しい街並み」が続いています。

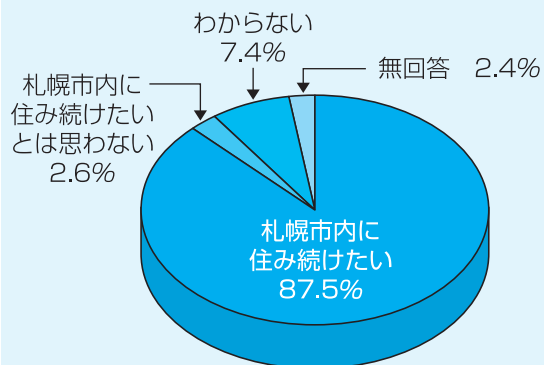
また、定住意向も87.5%と高く、市民の札幌に対する愛着度の高さがうかがえます。

図2-28 札幌の街に対する愛着度



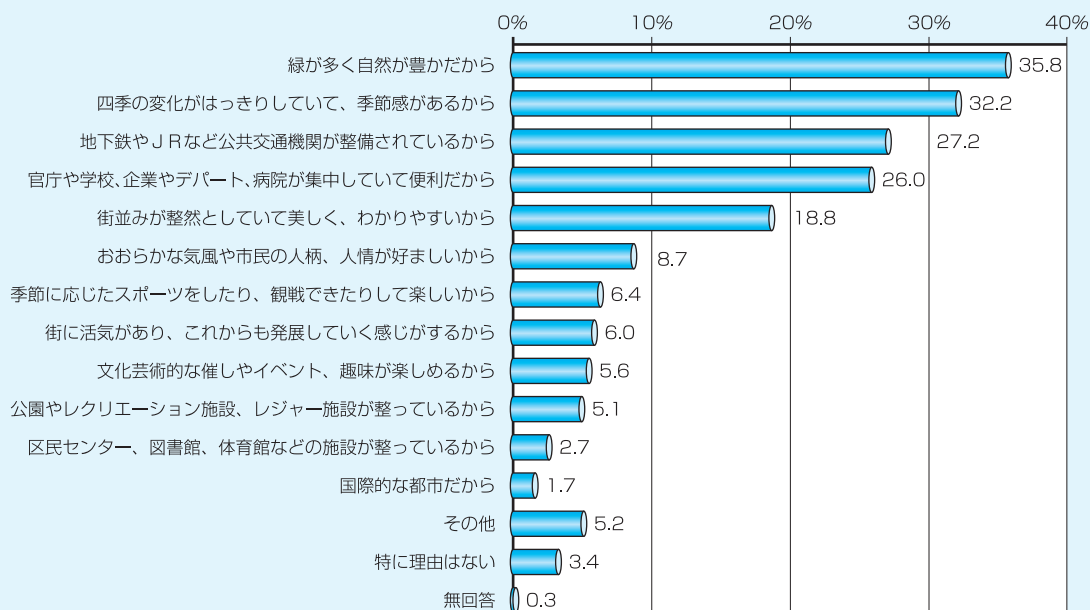
<資料> 札幌市「平成23年度市政世論調査」

図2-29 札幌の街に対する定住意向



<資料> 札幌市「平成23年度市政世論調査」

図2-30 札幌が好きな理由



<資料> 札幌市「平成23年度市政世論調査」

³⁹ 【市政世論調査】札幌市政や市民生活に関して、市民の意識、関心要望の傾向などを推定し、市政執行の参考とするための意識調査。昭和43年度から年1回、1,500人の市民の協力を得て実施。

(2) 外から見た札幌のブランドイメージ⁴⁰

都市のブランドイメージについても、民間調査機関による魅力度ランキングで1位になるなど、全国的に高い評価を得ています。特に、観光意欲や食品購入意欲に関する魅力度が高くなっています。

表2-2 地域ブランド調査2012の結果

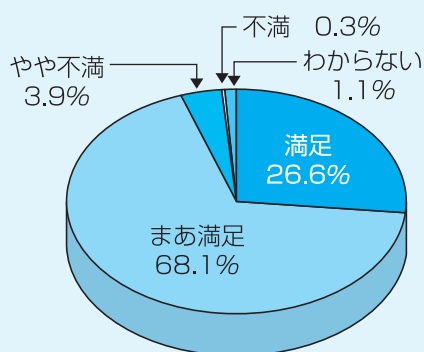
項 目	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
魅力度	札幌市	京都市	函館市	横浜市	神戸市
認知度	京都市	名古屋市	新宿区	大阪市	横浜市
情報接触度	気仙沼市	札幌市	大阪市	陸前高田市	石巻市
居留意欲度	神戸市	横浜市	札幌市	京都市	鎌倉市
観光意欲度	札幌市	京都市	函館市	石垣市	小樽市
訪問率	新宿区	品川区	横浜市	渋谷区	京都市
食品購入意欲度	札幌市	夕張市	名古屋市	函館市	仙台市
魅力度(都道府県)	北海道	京都府	沖縄県	東京都	奈良県
観光意欲度(都道府県)	北海道	京都府	沖縄県	奈良県	東京都

<資料> 株式会社ブランド総合研究所

また、「平成23年（2011年）来札幌観光客満足度調査⁴¹」によると、札幌を訪れた観光客の総合満足度は94.7%（「満足」と「まあ満足」の合計）と高く、「食」に関する満足度が高いという結果が出ています。札幌のイメージについては、「観光スポット」、「食」が特に高く、「祭り・イベント」が続いています。

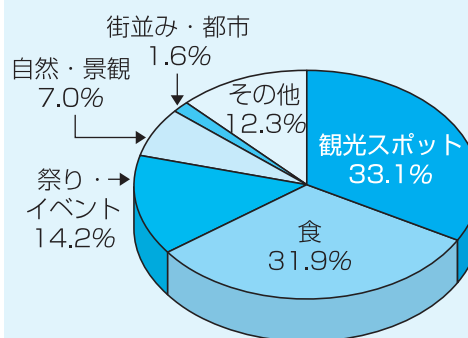
札幌は、市民に愛され、国内外の人たちが憧れる、魅力にあふれた都市といえます。

図2-31 観光地としての総合満足度



<資料> 札幌市「平成23年来札幌観光客満足度調査」

図2-32 札幌のイメージ



<資料> 札幌市「平成23年来札幌観光客満足度調査」

⁴⁰ 【ブランドイメージ】 ある商品銘柄などに対して社会や消費者が抱いている印象。ここでは、都市や地域、さらには、そこで創出される産品やサービスなどに対する印象をいう。

⁴¹ 【来札幌観光客満足度調査】 札幌市が来札幌者の受入体制の現状と課題を把握するために毎年実施している意識調査。

3 未来を切り開くために活用すべき北海道の資源

札幌の魅力は、豊かな自然や食など、その多くが北海道の魅力そのものであり、また、札幌と北海道の経済は密接不可分であることから、北海道の発展なくして札幌の発展もないといえます。

北海道には世界に誇る優れた資源や特性があり、これらを生かして国家的課題、地球規模の課題に対応し得る優位性を持っています。こうした北海道の資源を強みとして再認識し、札幌のまちづくりにも生かしていく視点が必要です。

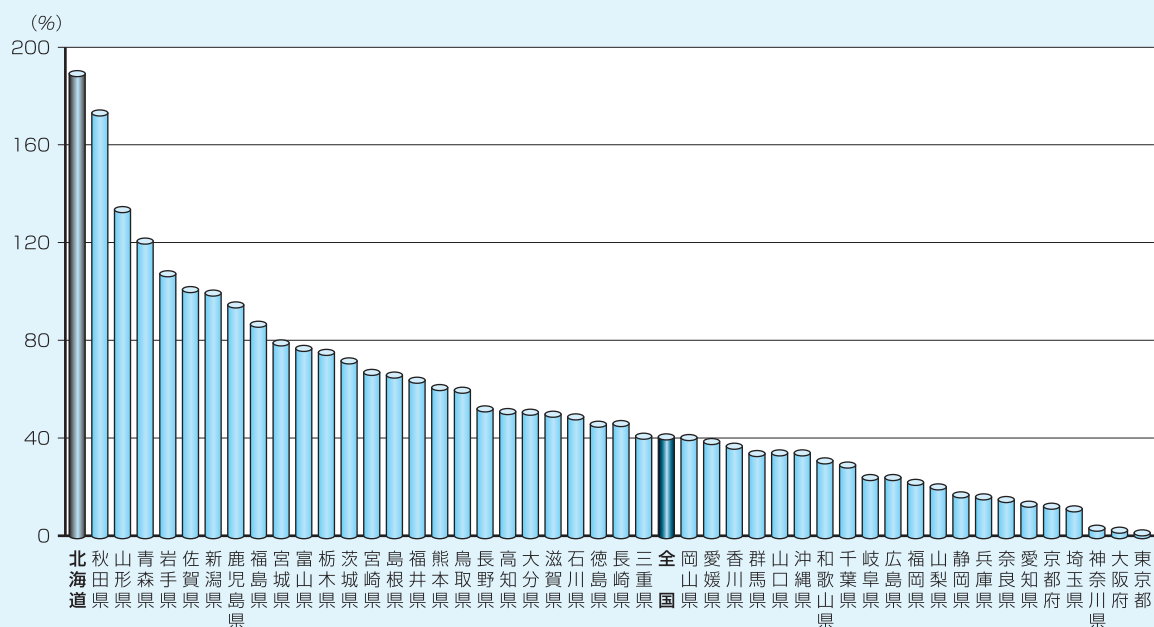
(1) 北海道の食

平成62年（2050年）には、世界の人口が91億人に達することが見込まれ、この人口を賄うためには、現在の食糧生産を飛躍的に増大させることが必要なことから、食糧需給のひっ迫は、地球規模の課題です。

また、アジア諸国の経済成長による所得の上昇に伴い、消費の成熟化が進み、安全・健康志向が高まる中、高付加価値の食品や加工品の需要が拡大しています。

今後、食が国際的にも戦略的資源になる可能性がある中、北海道は、食糧自給率⁴²約200%を誇る、国内最大の食糧生産基地であるという強みを生かし、札幌においても、その付加価値を高める役割を担うことが求められています。

図2-33 都道府県別食料自給率（カロリーベース）（平成21年度）



<資料> 農林水産省

⁴² 【食糧自給率】 特定地域の食糧消費が、同一地域の農業生産でどの程度賄えているかを示す指標。

(2) 北海道の自然

北海道は、森林、火山、温泉、湿原など豊富な自然環境に恵まれています。この自然環境と明瞭な四季の変化が織りなす特徴的な景観や純白の雪などは、海外、特にアジアの人々の憧れとなっており、観光客を引き付けています。

また、北海道の豊富で質の高い水資源は、北海道民の暮らしや産業を支える貴重な財産です。今後も、道民の安全・安心な暮らしの確保や、産業の活性化、環境の保全のためにも、その重要性は高まっていくものと考えられます。

表2-3 外国人観光客の北海道での主な旅行内容

(単位 %)

項 目	全体	中国	香港	台湾	韓国	オーストラリア	その他
都市見物（観光名所めぐり）	61.8	52.5	70.8	68.1	57.0	28.6	57.3
温泉・保養	58.5	61.6	60.5	64.4	58.0	27.1	42.7
自然鑑賞	51.2	76.8	58.9	52.4	48.5	8.6	38.7
ショッピング	45.0	43.4	63.2	52.8	23.5	17.1	37.3
特産品の買物・飲食	42.8	35.4	53.5	52.8	31.0	10.0	26.7
花の名所めぐり	27.1	24.2	41.1	35.8	10.5	0.0	12.0
動物園・水族館	21.6	10.1	34.6	30.0	4.0	1.4	18.7
スキー・スノーボード	14.0	11.1	7.0	8.0	4.0	90.0	28.0
イベント参加・見学	14.0	16.2	13.5	15.7	6.5	15.7	20.0
道の駅めぐり	10.2	9.1	7.6	15.7	6.5	1.4	2.7

<資料> 北海道「平成23年度観光客動態・満足度調査」

(3) 北海道に豊富に賦存する再生可能エネルギー

北海道には、広大な土地や自然資源を背景に、太陽光、風力、地熱、小水力⁴³など、様々な再生可能エネルギーが賦存しています。また、森林の間伐材⁴⁴や農業生産過程で発生する廃棄物など、バイオマスエネルギー⁴⁵活用の可能性が多くあります。

今後、低炭素社会と脱原発依存社会を実現していくために、エネルギーの一大消費地である札幌は、こうした北海道全域でのエネルギー活用の可能性を生かし、効果的に活用していく視点が必要です。

なお、北海道の年間消費電力量は、平成22年度（2010年度）で323億kWhであり、北海道が持つ風力発電のポテンシャル⁴⁶の1割を利用した場合、道内の電力消費量のほぼ全量を賄うことができます。

⁴³ 【小水力】 中小河川、用水路など、様々な水流を利用して発電する発電手法の一つ。

⁴⁴ 【間伐材】 森林の樹木同士の競合を緩和し、成長の促進や木材としての利用価値の向上、森林の公益的機能の維持推進のために、森林の成長過程で密度を下げるために行う間引きによって発生した木材。

⁴⁵ 【バイオマスエネルギー】 動植物に由来する有機物（原油、石油ガス、可燃性天然ガス及び石炭並びにこれらから製造される製品を除く。）を原材料としたエネルギーのこと。

⁴⁶ 【ポテンシャル】 潜在的な力。可能性としての力。

表2-4 再生可能エネルギーのポテンシャル

	発電量（億kWh）		設備容量（万kW）	
	平成22年度現在 1)	北海道全体のポテンシャル	平成22年度現在	北海道全体のポテンシャル
太陽光発電	0.5 (0.69%)	a) 72.1	4.3	685.9
風力発電	5.6 (0.17%)	b) 3,319.3	27.6	17,223.4
小水力発電	0.4 (1.63%)	c) 24.5	0.5	45.2
地熱発電	1.0 (0.51%)	d) 197.4	5.0	281.7
合 計	7.5 (0.21%)	3,613.3	37.4	18,236.2

注：1) ()内は北海道全体のポテンシャルに対する平成22年度現在の発電量の割合

a) 道内の全ての住宅及び事業所（ビル、店舗）に太陽光発電設備を設置した場合の年間発電量

b) 道内の風力発電可能地（風速5.5m/s以上）の全ての範囲に発電機を設置した場合の年間発電量

c) 道内河川の水力発電可能地（出力 1,000kW以下）の全ての範囲に発電機を設置した場合の年間発電量

d) 道内の地熱発電可能地の全ての範囲に発電機を設置した場合の年間発電量

<資料> 札幌市

トピック ー今後、意識すべき視点

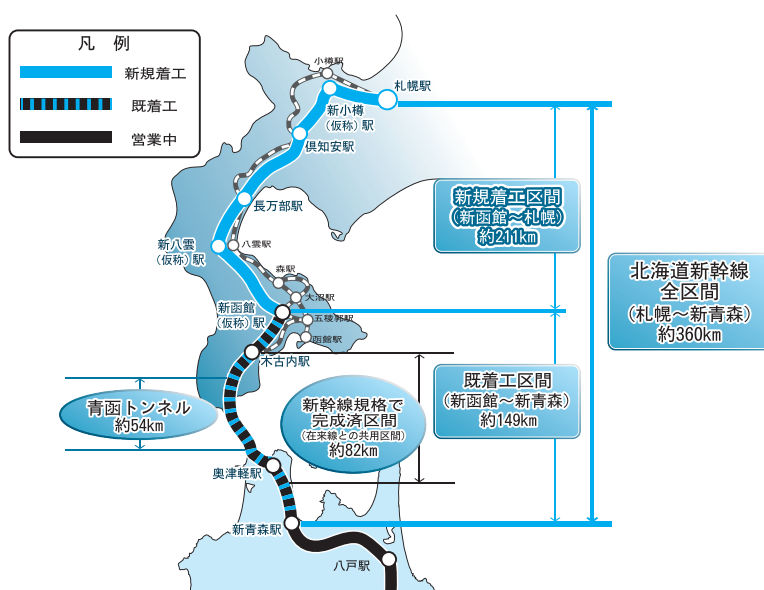
【北海道新幹線の札幌延伸～北海道の発展を支える未来の資源～】

私たちの長年の夢であった北海道新幹線の札幌延伸が、平成24年（2012年）に工事実施計画の認可を受け、平成47年度（2035年度）までに実現されることになりました。

この札幌延伸によって、国土の北から南までを一貫してつなぐ「背骨」ともいべき高速鉄道ネットワークが形成され、特に、北海道と東北・北関東との交流が盛んになり、ヒトやモノの流れが活発化することなどにより、道内全体に様々な効果がもたらされることが期待されています。

そこで、その起点となる札幌は、新たな経済交流圏との連携強化や末端駅としての強みを生かした企業集積、さらには、道内各地のハブの役割を果たすための交通機能の強化などについて、今から積極的に進めていく必要があります。

したがって、今後、私たちは、様々なまちづくりの取組を展開していくに当たり、北海道新幹線を北海道・札幌の発展を支える重要な資源として捉え、その整備効果を最大限に発揮させ、道内全域に波及させていく視点を持つことが重要です。



<北海道新幹線計画概要>

■区間 新青森～札幌 ■延長 約360Km ■建設費 新青森～新函館(仮称) 4,670億円(平成15年 国土交通省試算)
新函館(仮称)～札幌 1兆6700億円(平成23年 国土交通省試算)

第3章

私たちが目指す札幌市の将来

これまでの札幌市は、人口の増加や市域の広がりなど、量的な拡大を背景に、社会基盤整備を基軸としたまちづくりを進め、身近に感じられる豊かな自然と高度な都市機能が調和した魅力的な都市として、国内外から高い評価を受けてきました。

しかし、今後、人口減少社会の到来や、生産年齢人口の減少に伴う経済規模の縮小が見込まれる中、これまでの右肩上がりの社会構造を前提とした価値観は大きく変わりつつあり、いわゆるパラダイム⁴⁷の転換が求められています。

このような中であって、私たちは一丸となって、今後見込まれる人口減少の緩和に努めるとともに、都市の活力と生活の質を高めながら、先人が知恵と努力で築き上げてきたこのまちを、次世代に良好な形で引き継いでいかなければなりません。

そのためには、市民、企業、行政などが、それぞれの立場でまちづくりへの役割を果たしていくことが重要であることから、この戦略ビジョンは、「市民計画」として位置付けるとともに、市民と共有するビジョンであることを基本的な考え方としています。

そこで、この章では、私たちそれぞれが、今後のまちづくりに当たって共有できる将来のまちの姿を、目指すべき都市像として以下に掲げます。

■目指すべき都市像

北海道の未来を創造し、世界が憧れるまち

札幌・北海道の様々な魅力資源を、一人一人の創造性によって、より磨き上げながら、それを国内及び世界に発信することで、世界との結び付きを強め、投資や人材を呼び込むなど、世界が憧れ、活力と躍動感にあふれる、心ときめくまちを実現します。

新たな価値を生み出す創造とチャレンジ

札幌・北海道が持つ豊かな自然や文化と、先人たちがこれまで育んできた北方圏ならではの知識や技術などの貴重な資産に、今後、創造性から湧き出るアイデアによって更に磨きをかけるとともに、若者を始めとする様々な人々が、先駆的な取組にチャレンジできる環境を整えることによって、絶えず新たな価値が生み出されていくまちを目指します。

⁴⁷ 【パラダイム】 ここでは、ある時代や分野において支配的規範となる「物の見方や捉え方」のことをいう。

札幌型ライフスタイルの追求

芸術の薫り漂う、札幌ならではの個性と楽しさにあふれる都市文化と、うるおいのある豊富な自然環境の中で、多様な文化や新しいモノを取り入れ、新しいコトに挑戦していくなど、創造的に暮らす、世界が憧れる札幌型のライフスタイルを追求し、その魅力を発信します。

世界に誇る環境首都の実現

先人たちが築き上げた北方圏ならではの都市機能と、北海道の豊富な自然エネルギーを生かしながら、環境負荷の少ない暮らしを追求するなど、低炭素社会と脱原発依存社会を目指した持続可能⁴⁸なまちづくりを進め、世界に誇れる先進的な環境首都を実現します。

互いに手を携え、心豊かにつながる共生のまち

誰もが生きがいと誇りを持ちながら、互いにつながり、支え合うことで、生きる喜びと幸せを感じられる、心豊かで笑顔になれるまちを実現します。

つながりと支え合いのまちづくり

誰もがその能力を十分に発揮し、自らのできる範囲で社会的な役割を果たすとともに、互いの個性や多様性を認め合う寛容さと相互の信頼感の下でつながる共生のまちづくりを進めます。

道内市町村との連携と魅力創造

「北海道の発展なくして、札幌の発展はない」との考え方の下、私たちは北海道全体の発展を常に意識し、道内の魅力資源と札幌の都市機能を融合させながら、他の都市や地域と手を携え、北海道の魅力を更に高めます。

世界の中での都市の共生

国際平和や人権擁護はもとより、環境・エネルギーなどの地球規模の課題への取組が求められている中、世界の都市の一員としての責任と役割を果たすことにより、世界と共生していくことを目指します。

⁴⁸ 【持続可能】ここでは、人間活動、特に文明の利器を用いた活動が、将来にわたって持続できるかどうかを表す概念をいう。

第4章

まちづくりの基本目標

第1節 地域 ～つながりと支え合い～

第2節 経済 ～暮らしと雇用を支える～

第3節 子ども・若者 ～健やかに育む～

第4節 安全・安心 ～人に優しいまち～

第5節 環境 ～次世代へ引き継ぐ～

第6節 文化 ～創造性を育む～

第7節 都市空間 ～魅力と活力のある都市の形成～

「目指すべき都市像」を実現するためには、私たちが具体的な目標を共有し、その目標に向かって連携しながら課題に取り組んでいく必要があります。

そこで、この章では、まちづくりの分野を7つに分け、その分野ごとに「現状と課題」を整理し、今後の取組を展開する際の「重要な視点」を掲げた上で、まちづくりに関する「基本目標」を設定します。

また、私たちが、今後のまちづくりの方向性を具体的にイメージできるようにするため、基本目標ごとに「将来のまちの姿」を示すとともに、その実現に向けて同じ方向で取り組んでいけるよう、「実現に向けて私たちが取り組むこと」を明記しています。この取組の記載に当たっては、市民や企業などが、それぞれの立場で取り組むべきことを表しており、行政については、札幌市が他の行政機関などを含めた各主体と連携を図りながら取り組むべきことを表しています。

なお、まちづくりの実践に当たっては、市民、企業、行政などの様々な主体が、取組の決定過程に参画し、相互に補完し合いながら責任を持って進めることが重要です。

目指すべき都市像

北海道の未来を創造し、世界が憧れるまち

互いに手を携え、心豊かにつながる共生のまち

まちづくりの分野を7つに分け、各分野ごとに、今後の取組を展開する際の「重要な視点」を掲げた上で、「基本目標」を設定

7つの分野	重要な視点	24の基本目標
地域	地域での支え合いとつながりづくり	1 共生と交流により人と人がつながるまちにします 2 様々な担い手が地域のまちづくり活動に参加するまちにします 3 多様な地域課題を解決できるまちにします
経済	暮らしと雇用を支える経済の発展	4 強みを生かした産業が経済をけん引するまちにします 5 様々な連携により産業が高度化するまちにします 6 市民の雇用が安定的に確保されるまちにします 7 強みを生かし世界とつながるまちにします 8 地域コミュニティを支える産業を大切にするまちにします
子ども・若者	将来を担う子ども・若者の健やかな育み	9 安心して子どもを生み育てられるまちにします 10 将来を担う子どもの成長と自立を支えるまちにします 11 若者が社会的に自立し活躍できるまちにします
安全・安心	安心して暮らせる「人に優しい」まちづくり	12 誰もが健康的で安心して暮らせるまちにします 13 地域防災力が高く災害に強いまちにします 14 安全な日常生活が送れるまちにします
環境	次世代へつなげる持続可能なまちづくり	15 豊かな自然と共生するまちにします 16 資源やエネルギーを有効活用するまちにします 17 市民が環境について学び行動するまちにします
文化	文化芸術・スポーツによる創造性の育み	18 創造的な活動により活力あふれるまちにします 19 文化芸術やスポーツの魅力によりにぎわいが生まれるまちにします 20 市民一人一人が魅力を再認識し発信するまちにします
都市空間	魅力と活力を持続的に高める集約型のまちづくり	21 公共交通を中心とした集約型のまちにします 22 札幌の顔となる魅力と活力あふれる都心にします 23 都市の価値を高めるみどりを生かしたまちにします 24 都市基盤が適切に維持・保全されるまちにします

第1節 地域 ～つながりと支え合い～

現状と課題

市民の意識や生活様式の変化、価値観の多様化などにより、地域⁴⁹における課題が複雑・多様化しており、これまでの取組だけでは解決が難しくなっています。

今後は、住民同士の支え合いや助け合いが地域課題の解決に重要な役割を担うことが期待されており、そのためには地域のつながりを深め、町内会などの地域コミュニティを活性化していく必要があります。

また、ボランティアやNPO、企業などによる社会貢献活動も広がってきており、これらの多様な活動の担い手の連携による地域課題の解決が求められます。

現状と課題を踏まえた重要な視点

— 地域での支え合いとつながりづくり —

地域での支え合いを実現するためには、世代や性別、国籍、文化の違い、障がいの有無などにかかわらず、地域の人々がお互いを認め合いながら、社会参加や交流を通じてつながりを深めていくことが重要となります。また、市民一人一人や、町内会、NPO、企業などが、地域課題を自らの問題と考えて主体的に活動し、お互いに連携しながらネットワークを構築していく必要があります。

このような取組により、地域自らが様々な地域課題を解決していける力を向上させるとともに、住民同士が支え合いながら暮らしていけるまちづくりを進める必要があります。

基本目標の設定

基本目標

- 1 共生と交流により人と人がつながるまちにします
- 2 様々な担い手が地域のまちづくり活動に参加するまちにします
- 3 多様な地域課題を解決できるまちにします

⁴⁹ 【地域】 この場合の地域は、行政区より小さい、生活に身近な空間的広がりを指す。

将来のまちの姿

- ▶ 地域では、世代を超えた様々な交流などを通じて住民同士のつながりが深まり、世代の違いや障がいの有無にかかわらず、支え合いにより自立した生活を送っています。また、誰もが持てる能力を十分に発揮して、積極的に社会参加しています。
- ▶ 地域を越えた市民同士や市民と団体などとのつながりも広がっており、重層的で多様なまちづくりのネットワークが広がっています。
- ▶ 男女がお互いを尊重し、責任を分かち合う男女共同参画社会⁵⁰が実現され、様々な分野で協力しながら活動しています。
- ▶ 地域における多文化共生⁵¹の意識が醸成され、様々な国籍や民族の人々が、国や文化の違いにかかわらず、お互いを認め合い、地域の一員として生活しています。
- ▶ 子どもを始めとした住民が集える居場所や交流の場が身近にあり、そこで生まれたつながりを通じて地域コミュニティが活性化しています。

実現に向けて私たちが取り組むこと

市 民

- 住民同士の交流や支え合い活動への積極的な参加
- 高齢者及び障がい児・者への理解
- 外国人や多様な歴史・文化への理解
- 平和や人権に対する理解

町内会・NPO・企業等

- 住民同士による交流や支え合い活動の推進
- 地域における多文化共生の推進
- 市民の居場所づくり
- 子どもが主役の交流の場づくり



行 政

- 多世代交流などの推進
- 障がい児・者への市民理解の促進
- 男女共同参画社会に対する市民理解の促進
- 国際理解を深める取組の推進
- 平和への取組の推進
- 多様な価値観に対応する人権教育の充実
- アイヌ民族の歴史・文化への市民理解の促進
- 市民の居場所づくりへの支援
- 子どもが主役の交流の場づくりの支援

⁵⁰ 【男女共同参画社会】 男性と女性が社会の対等な構成員として、自らの意思であらゆる分野の活動に参画する機会を確保されることにより、政治的、経済的、社会的及び文化的利益を等しく享受することができるとともに、等しく責任を担う社会。

⁵¹ 【多文化共生】 国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと。

将来のまちの姿

- ▶子どもから高齢者まで、全ての市民が、様々な学びの機会を活用しながら、それぞれが持つ能力や経験を生かし、自分に合った形で主体的に地域のまちづくり活動に参加し、活躍しています。
- ▶地域のまちづくり活動の中核を担っている町内会への加入が進み、地域コミュニティが活性化しています。
- ▶町内会を始め、NPO、商店街、企業など、多様な活動主体が様々な地域のまちづくり活動に取り組んでいます。

実現に向けて私たちが取り組むこと

市 民

- 町内会活動を始めた地域のまちづくり活動への積極的な参加
- 生涯学習⁵²などを通じた自己啓発

町内会・NPO等

- 地域のまちづくり活動の推進
- 地域のまちづくり活動を通じた担い手の育成

企 業 等

- CSR⁵³活動などを通じた地域のまちづくり活動への積極的な参加



行 政

- 市民が地域のまちづくり活動に参加できる環境づくり
- 市民の自発的な生涯学習の促進
- 学びと地域のまちづくり活動の実践が繰り返される仕組みづくり
- 多様な活動主体が地域のまちづくり活動に取り組める環境づくり
- 市民や企業による地域のまちづくり活動を支える寄附文化の醸成

⁵² 【生涯学習】 学校での教育や学習のみならず、生涯にわたって、あらゆる機会や場所において、各人の興味・関心や社会的な課題などに応じ、自発的な意思と選択に基づき行われる様々な学習活動のこと。

⁵³ 【CSR】 コーポレート・ソーシャル・レスポンシビリティ（Corporate Social Responsibility）の略。企業の社会的責任。法令順守や社会貢献など、一般に企業が社会に対して果たすべき責任。

将来のまちの姿

- ▶ 地域ごとに年齢や世帯構成、居住形態などの違いが顕著になり、地域課題が複雑・多様化している中、これらの課題は、住民や地域の団体、企業などによる自主的な活動や行政による支援を通じて解決されています。
- ▶ 地域のまちづくり活動を実践する様々な主体が、お互いに連携し、相乗効果を生みながら活発に活動しています。
- ▶ ソーシャルビジネス⁵⁴やコミュニティビジネス⁵⁵など、ビジネスの手法を活用して地域課題を解決する活動も活発に行われています。

実現に向けて私たちが取り組むこと

市 民

- 地域のまちづくり活動への積極的な参加

町 内 会

- 地域課題の解決に向けた取組の推進
- 地域課題の解決に向けた多様な活動主体との積極的な連携

企業・NPO等

- 地域課題の解決に向けた多様な活動主体との積極的な連携
- ビジネスの手法を活用した地域課題の解決に向けた取組の推進



行 政

- 福祉や防災、防火、防犯など、地域ごとの課題を踏まえた施策の展開
- 町内会など地域のまちづくり活動団体の活性化の支援
- 地域のまちづくりに関する情報提供
- 区役所・まちづくりセンターにおける地域課題の的確な把握及び迅速な支援体制づくり
- 活動主体間の連携を促進するためのネットワークづくり及び調整機能の強化
- ソーシャルビジネス・コミュニティビジネスの振興

⁵⁴ 【ソーシャルビジネス】 環境、医療、福祉など地域の様々な社会的課題を、ビジネスの手法を用いて解決しようとする事業。

⁵⁵ 【コミュニティビジネス】 地域の課題を住民、NPO、企業などが連携して、ビジネスの手法を用いて解決しようとする事業。

現状と課題

産業の活性化は、都市の活力を高めるとともに、安定的な雇用を創出し、社会の持続可能な発展を支える重要な役割を担っており、市民の安心な暮らしを実現する上で欠かすことのできないものです。

このため、人口減少や少子高齢化の進行、グローバル化の進展など、札幌を取り巻く社会経済情勢の変化に対応できる足腰の強い経済基盤を確立させることが必要となっています。

現状と課題を踏まえた重要な視点

— 暮らしと雇用を支える経済の発展 —

経済の発展と安定的な雇用の確保のためには、札幌の経済をけん引していく産業分野を明確に定め、積極的な振興を図ることが重要です。また、創造性や地域特性を生かした付加価値の創出やグローバル化への対応などにより、産業全体の活性化を図り、競争力を高めることが必要です。さらに、地域コミュニティを支える産業を育てていくことが求められています。

基本目標の設定

基本目標

- 4 強みを生かした産業が経済をけん引するまちにします
- 5 様々な連携により産業が高度化するまちにします
- 6 市民の雇用が安定的に確保されるまちにします
- 7 強みを生かし世界とつながるまちにします
- 8 地域コミュニティを支える産業を大切にするまちにします

基本目標

4 強みを生かした産業が経済をけん引するまちにします

将来のまちの姿

- ▶札幌・北海道の強みや時代の潮流を捉え、食、観光、環境及び健康・福祉の4つの重点産業分野やそれに関連する様々な産業が一体となって札幌の経済成長をけん引し、足腰の強い経済基盤が確立しています。
- ▶従来の製造業にバイオ産業⁵⁶、IT産業⁵⁷及びコンテンツ産業⁵⁸を加えた「札幌型ものづくり産業」が根付き、他分野との連携により新たなビジネスが生まれています。
- ▶札幌の企業の大半を構成している中小企業の活動が活性化し、裾野の広い経済基盤が確立しています。

実現に向けて私たちが取り組むこと

市 民

- 地場の中小企業の発展への協力
- 地産地消⁵⁹の実践

企業・大学・研究機関等

- 他産業との連携による付加価値の向上
- 共同研究による製品開発や付加価値の向上



行 政

- 食、観光、環境及び健康・福祉の4つの産業分野の重点的な振興
- 道産食品の付加価値を高める6次産業化⁶⁰や都市型農業⁶¹の推進などによる食関連産業の活性化に向けた取組の推進
- 広域連携による観光振興やMICE⁶²の推進、戦略的なシティプロモート⁶³活動などによる観光関連産業の活性化に向けた取組の推進
- 札幌型ものづくり産業の振興
- 中小企業の積極的な経済活動を促進するための支援

⁵⁶ 【バイオ産業】 バイオテクノロジー技術を応用して商品開発を行う産業。

⁵⁷ 【IT産業】 情報処理、情報技術に関連する産業の総称。

⁵⁸ 【コンテンツ産業】 各種メディアを通じて提供されるアニメ、漫画、映画、ゲームシナリオなどのコンテンツを制作する事業全般のこと。

⁵⁹ 【地産地消】 地域生産地域消費の略語で、地域で生産された様々な生産物や資源（主に農産物や水産物）をその地域で消費すること。

⁶⁰ 【6次産業化】 第1次産業、第2次産業、第3次産業を融合させ、新たな産業振興を行うという考え方。

⁶¹ 【都市型農業】 都市近郊の農業一般を意味し、大消費地に近い農業地域、都市の生産緑地、市民農園などにおいて営まれる農業を包含する概念。

⁶² 【MICE】 多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称で、Meeting（会議・セミナー）、Incentive Travel（Tour）（企業報奨・研修旅行）、Convention（大会・学会・国際会議）、Exhibition（イベント・展示会・見本市）の頭文字のこと。

⁶³ 【シティプロモート】 ここでは、まちの魅力を再発見し、創造することで新しい都市の輝きをつくり出すとともに、市民が誇りをもってその魅力を内外に発信することで、世界の人々と多様な関係をつくり出すための一連の活動をいう。

将来のまちの姿

- ▶時代の潮流から生み出される新たな需要を的確に捉え、産・学・官の連携や同業種・異業種間の連携などにより、創造性を発揮した様々なイノベーション⁶⁴が起きています。
- ▶道外から多くの先端技術分野の企業などが進出し、札幌圏⁶⁵に集積しています。これにより取引関係が広がるとともに、地場産業の付加価値が向上するなど、札幌圏を含めた北海道全体の産業の競争力が高まっています。
- ▶空港、港湾、高速道路、北海道新幹線などの広域的な交通ネットワークを効果的に活用し、道外や道内他市町村とのヒトやモノの流れが活発化しています。

実現に向けて私たちが取り組むこと

企業等

- 道内外の企業などとの積極的な交流
- 新たな技術や製品の開発への挑戦
- 他産業などとの連携による技術革新や新市場開拓
- 新事業や新分野への事業展開



行政

- 新たな技術や製品の開発に向けた産・学・官連携の促進
- 様々な産業における創造的なイノベーションの誘発の媒介となるIT産業やコンテンツ産業などの振興
- 女性や若者による起業への支援
- 近隣自治体と連携した先端技術分野の企業などの誘致と地場企業との連携促進
- 広域的な交通ネットワークの整備
- 道内外の自治体との広域的な連携

⁶⁴ 【イノベーション】 新しい方法、仕組み、習慣などを導入することを行い、新製品の開発や生産方法の改良、新しい資源や原料の開発、組織体制の改変などにより、新しい価値を生み出すこと。

⁶⁵ 【札幌圏】 ここでは、行政、経済、環境などの様々な分野において、札幌市と結び付きの強い近隣市町村をまとめて指す呼び名。

将来のまちの姿

- ▶雇用の受け皿となる中小企業の経営基盤の強化や、雇用創出力の高い企業の市内や近隣市町村への進出、さらには、求職者への様々な就業支援などにより、市民の雇用が安定的に確保されています。
- ▶誰もがそれぞれの能力を生かして働くことで、自立して暮らしています。その中でも、働く意欲を持つ女性が地域経済を支える担い手として活躍しています。
- ▶市民や企業の間でワーク・ライフ・バランス⁶⁶の考え方が浸透し、実践されています。これにより市民一人一人がやりがいや充実感を感じながら働いています。また、多くの企業が従業員の意欲・能力・創造性を引き出し、生産性を向上させるとともに、優秀な人材を確保することにより、社会全体が活性化しています。

実現に向けて私たちが取り組むこと

市 民

- 職業能力の向上や自己啓発
- 起業への積極的な挑戦
- ワーク・ライフ・バランスへの理解と実践

企 業 等

- 市民の能力を生かす積極的な雇用
- ワーク・ライフ・バランスの実践に向けた職場環境づくり



行 政

- 求職者の技能向上のための支援
- 雇用のミスマッチ解消や起業への支援
- 雇用創出力の高い企業の誘致
- 働く意欲のある障がいのある方、高齢者、女性などへの就業支援
- 働きながら子育てできる環境の整備
- 女性による起業への支援
- ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた市民理解の促進や企業への支援

⁶⁶ 【ワーク・ライフ・バランス】 やりがいのある仕事と充実した個人生活が調和したバランスの良い働き方。

将来のまちの姿

- ▶札幌・北海道の強みを生かし、アジアを始めとする経済成長の著しい地域からの観光客の増加やこのような地域への販路の拡大などにより、多くの外貨⁶⁷を獲得しています。
- ▶市内や近隣市町村への外国企業の進出により、新たな雇用や地場企業への様々な波及効果が生まれています。
- ▶企業では、グローバル化に対応した国際的な視野を持った人材が活躍しています。
- ▶札幌・北海道の地理的な特性などを踏まえた海外との様々な都市間交流や互恵的な国際協力が、新たなビジネスへの架け橋になっています。

実現に向けて私たちが取り組むこと

市 民

- 外国人や多様な歴史・文化への理解
- 留学などを通じた積極的な海外経験
- 外国人観光客などへのおもてなしの実践

企 業 等

- 積極的な海外事業の展開
- 国際的な視野を持った人材の育成と活用



行 政

- 流通ネットワークの強化
- コンテンツ⁶⁸などを活用した戦略的なシティプロモート活動の推進
- 外国企業の誘致のための施策の検討・推進
- 観光客の受入環境の整備
- 国際交流や国際理解教育⁶⁹などの推進
- 国際的な視野を持った人材の育成・活用の支援
- 地理的特性を生かした国際協力の促進

⁶⁷ 【外貨】 ここでは、圏域内で流通する以外の貨幣を指す。

⁶⁸ 【コンテンツ】 文章、音楽、画像、映像またはそれらを組み合わせた情報の集合のこと。

⁶⁹ 【国際理解教育】 日本の伝統と文化を大切にし、世界の人々の多様な生活や文化を理解し尊重する態度を養うとともに、世界の平和に貢献し、国際社会で信頼と尊敬を得るにふさわしい資質を育成する教育。

将来のまちの姿

- ▶ 地域の身近な利便性を確保する役割の一翼を担う商店街が活性化し、地域のにぎわいを生み出しています。
- ▶ ビジネスの手法を活用して地域課題の解決を実践するソーシャルビジネスやコミュニティビジネスが活発化し、地域コミュニティを支える産業としての役割を果たしています。

実現に向けて私たちが取り組むこと

市 民

- 地域の商店街活動への理解と協力、店舗の利用

商 店 街

- 地域課題の解決に向けた多様な活動主体との積極的な連携

企業・NPO等

- 商店街活動への積極的な参加
- 地域課題の解決に向けた多様な活動主体との積極的な連携

行 政

- 商店街活性化に向けた様々な取組に対する支援
- ソーシャルビジネス・コミュニティビジネスの振興
- 多様な活動主体とコミュニティビジネスの連携促進



第3節

子ども・若者 ～健やかに育む～

現状と課題

全国的に少子化が進む中、札幌市の合計特殊出生率⁷⁰は大都市の中でも極めて低い水準で推移しており、社会の活力に大きな影響を及ぼすことが懸念されます。

少子化の背景としては、子育て家庭の孤立化などによる子育てへの不安や負担感が増大していることが要因の一つとして考えられます。また、子どもや若者の成長過程では、いじめや虐待、不登校、引きこもりなどといった問題も生じています。

こうしたことから、社会全体で協力して子どもの成長を支え、誰もが子どもを生み育てやすい環境を整えていくとともに、困難を有する若者の自立や社会参加を支援していく必要があります。

現状と課題を踏まえた重要な視点

— 将来を担う子ども・若者の健やかな育み —

子どもを生み育てやすいまちづくりを進めるためには、子どもの権利⁷¹の尊重の下、社会全体で子育て・子育て支援⁷²を推進し、子育てへの不安や負担の軽減を図るとともに、子どもの成長過程での様々な問題に対応していく必要があります。

特に、ふるさと札幌に根差した自立した子どもを育てていくためには、全ての子どもに対して、生きる力⁷³を培い、豊かな創造力を育む充実した教育を推進することや、社会性を育む実践的な学びの機会を充実させていくことが重要です。

さらに、若者全ての社会的自立を実現するとともに、主体的に地域社会に参画する取組なども進め、将来の札幌を担う人材を育成していく必要があります。

基本目標の設定

基本目標

9 安心して子どもを生み育てられるまちにします

10 将来を担う子どもの成長と自立を支えるまちにします

11 若者が社会的に自立し活躍できるまちにします

⁷⁰ 【合計特殊出生率】 15歳～49歳の女性の年齢別出生率の合計。1人の女性が平均して一生の間に生む子どもの数に相当する。

⁷¹ 【子どもの権利】 「安心して生きる権利」、「自分らしく生きる権利」、「豊かに育つ権利」、「参加する権利」など、子どもが、毎日を安心して過ごし、健やかに成長・発達するために欠かせない基本的な権利。

⁷² 【子育て支援】 子どもが将来自立した社会性のある大人へと自ら成長していく過程を支援すること。

⁷³ 【生きる力】 基礎基本を確実に身に付け、いかに社会が変化しようと、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、より良く問題を解決する資質や能力。自らを律しつつ、他人と共に協調し、他人を思いやる心や感動する心などの豊かな人間性。たくましく生きるための健康、体力など。

将来のまちの姿

- ▶地域の団体や企業、NPO、行政などによる様々な支援を通じて、安心して子育てができる環境が整っています。
- ▶ワーク・ライフ・バランスの考え方が社会全体に浸透し、男性も女性も仕事と生活の調和を図り、働きながら子育てができる環境が整っています。
- ▶多様なニーズに対応した様々な保育サービスが提供され、子どもが小学校に入学した後も、放課後児童対策⁷⁴などの支援体制が整っています。

実現に向けて私たちが取り組むこと

市 民

- 男女の協力による子育て
- 様々な子育て支援活動への積極的な参加
- ワーク・ライフ・バランスへの理解と実践

町内会・NPO等

- 子育てサロン⁷⁵の開催など子育て支援活動の推進
- ニーズに即した子育て支援サービスの提供

企 業 等

- ワーク・ライフ・バランスの実践に向けた職場環境づくり
- ニーズに即した子育て支援サービスの提供



行 政

- 母子保健の充実など妊娠期から出産・幼児期・思春期まで、子どもの成長過程に応じた支援
- 子育て家庭の孤立防止に向けた相談・支援体制の充実
- 市民が子育て支援活動に参加しやすい仕組みづくり
- 地域の団体や企業、NPOなどとの連携・協力による子育て支援活動の推進
- ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた市民理解の促進や企業への支援
- 様々な保育サービスの提供
- 放課後の児童の居場所づくり

⁷⁴ 【放課後児童対策】 昼間保護者のいない家庭の児童の健全育成・指導を目的とする児童クラブなどにおける活動のこと。

⁷⁵ 【子育てサロン】 子育て中の親子が気軽に集い、自由に交流や情報交換ができる場。

将来のまちの姿

- ▶子どもたちは、一人一人の個性や特性を伸ばす充実した教育を受け、伸び伸びと遊ぶことを通じて、生きる力を高め、豊かな創造力を身に付けながら成長しています。
- ▶家庭・地域・学校の連携による多様な体験活動などを通じて、子どもたちは自立した社会性のある大人へと成長しています。
- ▶いじめや不登校、児童虐待などを未然に防ぐとともに、迅速かつ適切に対応する環境が整っています。
- ▶配慮や支援を要する子どもは、充実した相談・支援体制などの下、個別の状況に応じて適切な支援を受けることができます。

実現に向けて私たちが取り組むこと

企 業 等

- 体験学習などへの協力
- ボランティア活動への支援

市 民

- 子どもの権利への理解
- 様々な子育て支援活動への積極的な参加

町内会・NPO等

- 地域における体験活動などへの協力
- 学校教育との連携



行 政

- 子どもの権利の理解促進
- 一人一人の個性や特性を伸ばす教育の充実
- 子どもが伸び伸びと遊べる場の充実
- 障がいのある子どもの自立と社会参加に向けた教育的支援
- 家庭・地域・学校との連携による地域について学ぶ機会や体験活動などの充実
- 市民が子育て支援活動に参加しやすい仕組みづくり
- 配慮や支援を要する子どもへの個別の状況に応じた適切な相談・支援体制の充実
- いじめ、不登校、児童虐待などの相談・支援体制の充実及び家庭や地域、関係機関との連携強化
- 家庭での養育が難しい子どもの養育環境・自立支援体制の充実
- 少子化に伴う児童生徒数の減少に対応した学校の統合など、子どもの社会性などをより一層育むための教育環境の向上

将来のまちの姿

- ▶ 全ての若者が社会的に自立できるよう、教育機関や企業、地域、行政などの連携・協力の下、充実した相談・支援体制が整っています。
- ▶ 地域や企業等と大学などの教育機関が連携し、学生に実践的な学びの場が提供されています。
- ▶ 若者の安定的な雇用が確保され、起業を支援する制度も充実するなど、働きやすい環境が整っています。
- ▶ 多くの若者が、様々なまちづくり活動への主体的な参加や新たな取組への先駆的なチャレンジを通じて、地域課題の解決やまちの活力の向上に向けて力を発揮しています。

実現に向けて私たちが取り組むこと

市 民

- 大学と地域が連携した取組への参加
- 職業能力の向上や自己啓発
- 起業への積極的な挑戦

町内会・NPO等

- 地域における体験活動などへの協力
- 大学など教育機関との連携

企 業 等

- 職業体験などへの協力
- 大学などの教育機関との連携



行 政

- 国や北海道、支援機関との連携によるニート⁷⁶や引きこもりなどへの相談・支援体制の充実
- 大学などの教育機関や地域との連携強化
- 地域や企業との連携・協力による子どもの頃からの社会体験や職業体験などの推進
- 若者の就業や起業への支援
- 若者の地域社会への参画の促進

⁷⁶ 【ニート】 仕事に就いておらず、就職活動もしていない若者のうち、家事も通学もしていない人。

第4節 安全・安心 ～人に優しいまち～

現状と課題

高齢化の急速な進行によって、高齢単身世帯や高齢夫婦世帯⁷⁷が増え、支援や介護を必要とする市民が増加しています。また、ニーズが複雑・多様化し、ライフステージ⁷⁸に応じた一貫した支援も求められていることから、必要なサービスが適切に受けられる環境づくりのほか、住民同士の支え合いや助け合いも求められています。また、日常の防犯や交通安全など、安全な暮らしの確保も求められています。

さらに、東日本大震災の教訓から、大規模な災害が発生した際には、市民・企業・行政の役割分担による相互連携の取組の重要性が改めて認識されており、それぞれが自らの役割を意識しながら災害に備えていく必要があります。

現状と課題を踏まえた重要な視点

— 安心して暮らせる「人に優しい」まちづくり —

地域における住民同士の見守り・支え合いや、防犯活動などを通じた日常の安全の確保、市民の主体的な健康づくりなどを通じて、高齢になっても住み慣れた地域で安心して暮らせる環境づくりを進めていく必要があります。また、多様化するニーズに対応した「きれめ」や「すきま」のないサービスや、安心できる医療体制の充実などを図っていくことが重要です。

そして、万が一の災害に備え、自分の身は自分で守る「自助」、地域で互いが助け合う「共助」、行政による消防・救助活動などの「公助」の役割をそれぞれが認識し、主体的に防災活動に取り組む「防災協働社会⁷⁹」を構築していく必要があります。

基本目標の設定

基本目標

- 12 誰もが健康的で安心して暮らせるまちにします
- 13 地域防災力が高く災害に強いまちにします
- 14 安全な日常生活が送れるまちにします

⁷⁷ 【高齢夫婦世帯】 夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦1組のみの世帯。

⁷⁸ 【ライフステージ】 ここでは、人間の一生において節目となる出来事（出生、入学、卒業、就職、結婚、出産、子育て、退職など）によって区分される生活環境の段階をいう。

⁷⁹ 【防災協働社会】 ここでは、災害被害を軽減するため、地域の人々が互いに連携していく社会をいう。

将来のまちの姿

- ▶ 高齢単身世帯の増加などに対応した見守り活動や、支援を要する市民への相談・支援体制の充実などを通じて、誰もが安心して暮らしています。
- ▶ 在宅医療⁸⁰や身近なかかりつけ医⁸¹の普及促進などを通じて、地域と医療の結び付きが強まるとともに、充実した医療相談体制や救急医療体制により、市民の安心を支えています。
- ▶ 支援を要する高齢者や障がいのある方が安心して生活できるよう、適切なサービスが提供されています。
- ▶ 高齢者や障がいのある方など、様々な世帯のニーズに合った住まいが安定的に供給されています。
- ▶ 市民の主体的な健康づくり活動が活発に行われ、高齢になっても健やかに暮らしています。
- ▶ 食の安全が守られ、食に対する市民の安心と信頼が確保されており、誰もが健やかで豊かな食生活を送っています。

実現に向けて私たちが取り組むこと

市 民

- 地域福祉活動などへの積極的な参加
- 高齢者及び障がい児・者への理解
- 自主的な健康づくり活動
- 食の安全に対する意識の向上

町内会・NPO等

- 地域福祉活動の推進
- 健康づくり活動の推進



企 業 等

- ニーズに即した保健福祉サービスの提供
- 障がいのある方の雇用の推進
- 市民の自主的な健康づくり活動への支援
- 食の安全に関する取組
- 衛生管理に関する取組

行 政

- | | | |
|--|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ● 保健・医療・福祉のネットワーク強化 ● 子どもがボランティア活動に参加しやすい環境づくり ● 支援を必要とする市民への相談・支援体制強化 ● 医療相談体制や救急医療体制の充実及び地域の医療連携の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ● 介護保険施設などのサービス基盤⁸²の整備 ● 障がい児・者のニーズやライフステージに対応した支援体制の充実及びサービス基盤の整備 ● 住まいに関する情報提供の充実 ● 市民の健康づくり活動の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ● 食育⁸³環境の整備及び食育の推進 ● 心の健康づくりに向けた相談・支援体制の充実 ● 市民や企業と連携した食の安全に対する取組 ● 衛生面での市民への情報提供及び事業者の自主的な活動への支援 |
|--|---|---|

⁸⁰ 【在宅医療】 希望する市民ができる限り住み慣れた自宅などで療養し、医師などが訪ねて診療すること。

⁸¹ 【かかりつけ医】 日頃から患者の体質、病歴や健康状態を把握し、診療のほかに健康管理上の助言などもしてくれる身近な医師のこと。

⁸² 【サービス基盤】 ここでは、介護保険サービスや障がい福祉サービスを必要とする人が、住み慣れた地域で自立した生活を送ることができるよう支援する施設及び事業所をいう。

⁸³ 【食育】 「食」に関する知識と「食」を選択する力を身に付け、生涯を通じて健全な食生活を実践できる人を育てること。

将来のまちの姿

- ▶子どもの頃からの継続した防火・防災教育や、地域における自主的な防災訓練などを通じて、地震などの災害や火災の発生時に市民一人一人が主体的に行動できる準備・体制が整っており、地域の防火・防災力が高まっています。
- ▶避難場所となる公共施設や上下水道、道路のほか、民間施設も含めた都市全体の耐震化などが進んでおり、自然災害による被害を最小化させる取組が進んでいます。
- ▶高齢者、障がいのある方、子ども、外国人など、災害時に一人で避難することが難しい市民も、災害発生時には円滑に避難できるような、細かな配慮がなされています。
- ▶万が一の災害発生に備え、防災関係機関、企業、道内他市町村などの連携を通じて、大規模災害にも対応可能な防災力が確立しています。

実現に向けて私たちが取り組むこと

市 民

- 防災訓練などの自主防災活動への積極的な参加
- 自宅の防災対策・家庭内備蓄の推進

町内会等

- 自主防災組織⁸⁴の結成
- 防災訓練などの自主防災活動の推進
- 災害時要援護者⁸⁵の避難支援体制の整備

企 業 等

- 所有建築物の耐震化の促進
- 防災訓練などの自主防災活動の推進
- 企業内備蓄の推進



行 政

- 子どもの頃からの防火・防災教育の充実
- 市民、自主防災組織、学校などとの連携・協力による防災対策の推進
- 災害時におけるライフライン⁸⁶や交通ネットワークの確保
- 公共施設、上下水道、道路などの耐震化の推進
- 災害に関する積極的な情報提供
- 迅速な災害対策を行う体制の強化
- 緊急生活物資の確保などの支援体制の充実
- 災害時要援護者に対する支援の充実
- 災害時の防災関係機関及び他市町村との広域的な連携体制の充実

⁸⁴ 【自主防災組織】 災害対策基本法で規定されている、住民による任意の防災組織。主に町内会などが母体となって住民が自主的に連帯して防災活動を行う任意団体。

⁸⁵ 【災害時要援護者】 高齢者世帯、要介護者、障がい者、難病患者、妊婦、乳幼児・児童、日本語に不慣れな外国人など、災害時に自分や家族だけでは避難が難しい住民のこと。

⁸⁶ 【ライフライン】 電気、ガス、水道、下水道、電話など、日常生活を送る上で必須の諸設備、供給線をいう。

将来のまちの姿

- ▶ 犯罪や消費生活に関する問題の発生を防止する取組など、市民の安全な暮らしを守る環境が整っています。
- ▶ 交通ルールの順守や自転車マナーの理解の促進によって、交通事故の少ない安全で安心な交通環境が実現しています。
- ▶ 都市生活型公害⁸⁷といわれる、自動車排出ガスによる大気汚染や騒音、悪臭などについて、適切な対策や市民への情報提供などを通じ、市民の健康で安心な暮らしが守られています。
- ▶ 公共交通機関の駅とその周辺、多くの人が集まる施設や住宅などでは、バリアフリー化⁸⁸やユニバーサルデザイン⁸⁹の導入が進んでおり、誰もが安全で快適に移動できる空間が整備されています。
- ▶ 雪対策に関して、市民・企業・行政の連携による冬の市民生活ルールの共有や、効果的で効率的な除排雪などを通じて、安全な冬道が確保され、雪と共存した豊かな暮らしが実現しています。

実現に向けて私たちが取り組むこと

市 民

- 地域防犯活動や交通安全運動への積極的な参加
- 交通ルールなどの理解・順守
- 雪対策に関する理解・協力

町内会・NPO等

- 地域防犯活動や交通安全運動の推進
- 雪対策への協力

企 業 等

- 地域防犯活動や交通安全運動への支援
- バリアフリー化などの自主的な取組



行 政

- 地域防犯の取組の推進
- 配偶者などからの暴力(DV⁹⁰)への対策の充実
- 消費者問題への対策の充実
- 事故危険箇所の解消や自転車マナーの理解促進などの交通安全対策の推進
- 都市生活型公害などの防止に向けた事業者への指導強化及び市民への的確な情報提供
- 公共施設のバリアフリー化などの推進
- 市民や企業との連携・協力による雪対策の推進
- 通学路の安全確保に向けた取組の推進

⁸⁷ 【都市生活型公害】 都市化の進展や生活様式の変化などによって発生する公害のことであり、工場などが原因者となって発生する従来の産業公害とは異なる。自動車の排出ガスによる大気汚染や騒音、生活排水による河川などの水質汚濁、近隣騒音などがある。

⁸⁸ 【バリアフリー化】 高齢者や障がい者などが、社会生活をしていく上で障壁となるものを除去すること。道路、建物、交通手段など物理的なものだけでなく、社会的、制度的、心理的なものを含めた全ての障害を無くすことを意味している。

⁸⁹ 【ユニバーサルデザイン】 高齢者や障がい者のための特別な仕様を作るのではなく、最初から多くの人の多様なニーズを反映して作られた製品、建物、環境のデザイン。

⁹⁰ 【DV（ドメスティック・バイオレンス）】 配偶者や恋人など親密な関係にある又はあった者から振るわれる暴力。

現状と課題

地球温暖化対策や福島第一原子力発電所の事故をきっかけとしたエネルギー政策の見直しなど、近年の環境問題は複雑・多様化しており、その対応に当たっては、自然環境の保全やエネルギー利用の見直し、環境負荷⁹¹の少ないまちづくりなど多角的な取組が求められています。

また、札幌の財産である豊かなみどりは、その総量が減少傾向にあるため、市民・企業・地域・行政の連携・協力により、今あるみどりを守るとともに、新たに創出していくことが求められています。

現状と課題を踏まえた重要な視点

— 次世代へつなげる持続可能なまちづくり —

複雑・多様化する環境問題に対応するため、市民・企業・地域・行政が一丸となって、みどりの保全・創出やごみの減量・リサイクルなど、環境の保全・創造に関する取組を引き続き進める必要があります。

また、再生可能エネルギーの活用などに関する研究・開発・普及やエネルギー利用の在り方に関する市民意識の醸成を図ることにより、社会全体でエネルギー利用の在り方を考えながら、低炭素社会と脱原発依存社会を目指していく必要があります。

そして、市民が環境の保全・創造について学び、実践する環境づくりを進めることにより、札幌が持つ四季折々の美しい自然と豊かな文化を次世代に引き継ぎ、より良い環境を創造する持続可能な都市「環境首都・札幌」を推進していくことが重要です。

基本目標の設定

基本目標

- 15 豊かな自然と共生するまちにします
- 16 資源やエネルギーを有効活用するまちにします
- 17 市民が環境について学び行動するまちにします

⁹¹ 【環境負荷】 人の活動により自然環境に加えられる影響であって、環境の保全上の支障の原因となるおそれのあるものをいう。

将来のまちの姿

- ▶ まちにうるおいや安らぎを与えると同時に、地球環境にとっても大切なみどりをみんなで守り育てる取組によって、森林や農地、公園などに加え、民有地でもみどりの保全・創出が進み、みどり豊かで住み心地の良いまちが形成されています。
- ▶ 市民にうるおいと安らぎを与えるほか、全ての生物にとっても欠かすことのできない水については、その質や量だけでなく、生物と生息環境、水辺とのふれあいといった水環境全体が守られています。
- ▶ 自然環境を守り育むなど、地球環境への負荷を低減する取組によって、生物多様性⁹²が保全されています。

実現に向けて私たちが取り組むこと

市 民

- みどりを保全・創出するためのまちづくり活動への主体的な参加
- 河川周辺の環境保全の取組
- 生物多様性に関する理解

企 業 等

- みどりを保全・創出するためのまちづくり活動への主体的な参加
- 所有地やその周辺などの緑化の推進
- 生物多様性を意識した取組の実施



町内会・NPO等

- みどりを保全・創出するためのまちづくり活動の実施や情報発信、市民などへの助言

行 政

- 公有地のみどりの保全・創出
- 市民・企業・地域との連携・協力によるみどりの保全・創出
- 市民・企業・地域との連携・協力による水環境の保全や水環境への負荷を低減する取組の推進
- 生物多様性を意識した取組の推進

⁹² 【生物多様性】 地球上の多種多様な生き物全てがそれぞれ支え合い、つながり合いながら生きている状態を表した概念であり、生態系・種・遺伝子の3つの多様性からなるもの。

将来のまちの姿

- ▶ごみの減量・リサイクル・再利用が積極的に行われており、資源循環型の社会⁹³となっています。
- ▶省エネルギー技術や次世代エネルギーシステムについては、ICT⁹⁴との連携などの研究・開発が進められることにより、その利用が進んでいます。
- ▶特にエネルギー消費量の多い都心部を中心に、効率的なエネルギー利用が図られています。
- ▶積雪寒冷地であり、家庭などの二酸化炭素の排出量が多いことに対応した、エネルギー消費を抑えた市民のライフスタイルが定着しています。
- ▶環境に配慮した自動車の普及が進むとともに、公共交通機関が積極的に利用されることにより、移動にかかるエネルギー消費を抑えた社会となっています。

実現に向けて私たちが取り組むこと

市 民

- ごみの減量・分別・リサイクルの実践
- 使い捨て製品の使用抑制
- エネルギー消費を抑えたライフスタイルの実践
- 積極的な省エネ家電・新エネ機器・次世代自動車⁹⁵への買換え及び高断熱・高気密住宅への改修・建て替え
- エコドライブ⁹⁶の実践
- 公共交通機関の積極的な利用

町内会・NPO等

- 環境の保全・創造活動の推進
- 集団資源回収の実施など、ごみ減量・リサイクル活動の推進

企 業 等

- ごみの減量・分別・リサイクルの実践
- 省エネ設備などの積極的な導入や環境負荷の低減への配慮
- 環境配慮型製品の開発や製造の推進
- 環境の保全・創造に関する新技術の開発・普及

行 政

- ごみの減量・リサイクル・再利用の取組の促進
- ごみの適正な処理の推進
- 企業や研究機関などとの連携による次世代エネルギーシステム⁹⁷に関する研究・開発・普及の促進
- エネルギー消費を抑えた市民生活・企業活動の促進
- 子どもがエネルギーについて学習する機会の充実
- 環境に配慮した自動車の普及促進
- 高断熱・高気密住宅の普及促進
- 公共交通機関の利便性向上や利用の促進
- 環境関連産業⁹⁸の振興



⁹³ 【資源循環型の社会】 廃棄物の発生抑制、循環的な利用、適正処分により天然資源の消費を抑制して環境への負荷ができる限り低減される社会。

⁹⁴ 【ICT】 情報（information）や通信（communication）に関する技術の総称。

⁹⁵ 【次世代自動車】 ハイブリッド自動車・電気自動車・プラグインハイブリッド自動車・燃料電池自動車・クリーンディーゼル自動車・天然ガス自動車など、走行時における環境負荷が小さい自動車の総称。

⁹⁶ 【エコドライブ】 地球環境にやさしい自動車の運転。

⁹⁷ 【次世代エネルギーシステム】 ここでは、太陽光発電などの再生可能エネルギーシステムや電気と熱を同時に作り出すシステムなどに加え、IT技術を活用して電力供給、需要に係る課題に対応する送電システムなど、効率的なエネルギー利用を可能とするシステム全般をいう。

⁹⁸ 【環境関連産業】 廃棄物の適正処理や資源リサイクルを担う産業や、エネルギーを有効活用する上で必要となる省エネルギー技術や未利用エネルギー活用技術を生かした産業など、環境保全に寄与する産業分野を指す。

将来のまちの姿

- ▶市民や企業などは、地球温暖化⁹⁹や生物多様性などへの問題意識を持ち、環境の保全・創造のために自ら考え、行動しています。
- ▶子どもたちは、自然とのふれあいや日常生活に根差した学習活動を通じて、広く環境問題に関心を持ち、身近なことから取り組んでいます。
- ▶市民や企業などは、ふるさと札幌の美しい自然・環境を守り育て、美しい景観を維持・創出する意識を持ちながら、持続可能なまちづくりに主体的に取り組んでいます。

実現に向けて私たちが取り組むこと

市 民

- 環境の保全・創造活動への積極的な参加
- 環境学習¹⁰⁰などを通じた自己啓発
- 生物多様性に関する理解
- 子どもが自然とふれあう機会や学習する機会の積極的な提供

企 業 等

- 町内会、NPO、行政などと積極的に連携した環境の保全・創造活動の実践
- 企業内の研修などによる環境の保全・創造に関する意識の向上



町内会・NPO等

- 環境の保全・創造活動の実践を通じた市民への理解促進

行 政

- 学校・環境関連施設¹⁰¹間の連携強化などを通じた環境教育の充実
- 市民、企業などの主体的な行動につなげるための環境の保全・創造に関する理解促進と人材の育成
- 子どもが自然・環境を守り育てる意識を醸成する機会づくり・場づくりの推進

⁹⁹ 【地球温暖化】 人間の活動により、大気中の二酸化炭素などの温室効果ガスが増加し、地球全体の気温が上昇する現象。

¹⁰⁰ 【環境学習】 持続可能な社会の構築を目指して、家庭、学校、職場、地域などのあらゆる場において、環境の保全についての理解を深めるために行われる学習及び教育。

¹⁰¹ 【環境関連施設】 ここでは、円山動物園や青少年科学館など、環境教育に関連する施設をいう。

第6節 文化 ～創造性を育む～

現状と課題

社会経済情勢が大きく変化する中で、札幌・北海道の資源を有効に活用し、まちの魅力を効果的に伝えることにより、北海道全体の地域振興や産業振興などに結び付け、市民生活を豊かなものとしていく取組が求められています。

札幌には、世界的に評価の高い文化芸術・スポーツに関する施設やイベントが多数あり、市民の創造性を育む基盤が整っています。

また、文化芸術・スポーツは、人々に感動を与え、その感動は、人々を刺激し、新たな行動を起こすきっかけをつくっています。そして、その行動を新たなコト・モノを生み出す創造的な活動へとつなげていくことが求められています。

現状と課題を踏まえた重要な視点

— 文化芸術・スポーツによる創造性の育み —

札幌には市民が身近に文化芸術やスポーツに親しめる環境が整っています。文化芸術やスポーツを通じて育まれる創造性を地域の活性化や産業の発展に結び付け、まちの活力を維持し、向上させていくことが重要です。

また、年間6mもの雪が降る特徴的な風土や歴史がつくり出してきた独自の文化やライフスタイルに代表される札幌の魅力を市民一人一人が再認識し、誇りを持って発信していく必要があります。

基本目標の設定

基本目標

- 18 創造的な活動により活力あふれるまちにします
- 19 文化芸術やスポーツの魅力によりにぎわいが生まれるまちにします
- 20 市民一人一人が魅力を再認識し発信するまちにします

将来のまちの姿

- ▶文化芸術やスポーツが、市民に感動や刺激を与え、市民の感性や創造性を育むことで、生活を豊かなものになっています。
- ▶子どもから高齢者まで、障がいのある人もない人も、見るだけではなく、自ら文化芸術やスポーツを楽しむことで、充実した生活を送っています。
- ▶文化芸術やスポーツからつくり出された人と人との交流がまちづくりに発展し、まちの活性化へとつながっています。

実現に向けて私たちが取り組むこと

市 民

- 文化芸術の鑑賞及び創作・表現活動への積極的な参加を通じた交流
- スポーツ活動への参加を通じた交流

行 政

- 文化芸術やスポーツを活用したまちづくり及び交流の促進
- 高齢者や障がいのある方も文化芸術やスポーツに気軽に参加できる環境づくり

企 業 等

- 市民や地域の文化芸術やスポーツ活動への積極的な支援・協力



将来のまちの姿

- ▶多くの人が集まる文化芸術やスポーツが、札幌の魅力的な資源として、観光振興や国際交流などの様々な分野で生かされています。
- ▶文化芸術やスポーツが、食や観光など様々な産業分野と結び付くことで新たな付加価値を生み出し、まちににぎわいと活力があふれています。

実現に向けて私たちが取り組むこと

市民・企業等

- 文化芸術やスポーツ活動への積極的な支援・協力
- 各産業分野における文化芸術やスポーツの積極的な活用



行政

- 集客力のある文化芸術やスポーツの振興と戦略的な活用
- 文化芸術やスポーツの観光、食及び健康・福祉分野への活用の促進
- 国際的な芸術祭の定期的な開催
- メディアアーツ¹⁰²などを活用した創造的な産業の振興

¹⁰² 【メディアアーツ】ユネスコ創造都市ネットワークの登録分野の一つで、デジタル技術などを用いた新しい芸術表現。映像、演劇・舞踊（パフォーミングアーツ）なども含む幅広い表現であり、創造的な産業にも波及する概念。

将来のまちの姿

- ▶雄大な北海道の中であって、四季折々の豊かな自然と快適な都市機能を備えている札幌は、そこに暮らす人、そこを訪れる人を刺激し、その創造性を育んでいます。
- ▶世界の大都市の中でも降雪量が突出している札幌は、独自の冬の文化を形成しており、厳しい冬の生活環境の中でも、雪を楽しむ魅力あるイベントやウィンタースポーツなどが、まちににぎわいを与えています。
- ▶札幌型ライフスタイルの中から生み出される札幌・北海道の魅力を市民一人一人が再認識し、その魅力を高め、誇りを持って多様な手段により国内外に発信することで、世界の様々な人々が集い、交流しています。

実現に向けて私たちが取り組むこと

市民・町内会・NPO・企業

- 札幌の魅力を楽しむライフスタイルの追求
- 札幌型ライフスタイルの積極的な発信
- 札幌の魅力である雪を楽しむイベントやウィンタースポーツへの参加



行政

- 戦略的なシティプロモートの推進
- 文化芸術やスポーツを活用した交流の促進
- 市民や札幌を訪れる人々が雪を楽しむイベントやウィンタースポーツの推進
- 歴史や文化、景観、観光など札幌の魅力に関する情報の収集・発信
- 子どもが札幌・北海道の魅力を知る機会の充実

第7節

都市空間 ～魅力と活力のある都市の形成～

現状と課題

これまでの札幌のまちづくりは、人口や産業の集中に対応するため、計画的に市街地を整備・拡大してきましたが、今後は、人口減少・超高齢社会の到来や地球環境問題の深刻化などに対応するため、大きな転換が求められます。

そのため、これからの都市空間の形成に当たっては、今ある都市の魅力と活力の向上を目指して、市民の多様なニーズを捉えるなど、きめ細やかな取組を積み重ねることが重要です。

また、急激な人口増加に対応するために整備してきた都市基盤の老朽化が進んでいることから、適切な維持・保全や、人口動態や年齢構成の変化に応じた既存施設の再配置などの見直しが必要です。

現状と課題を踏まえた重要な視点

— 魅力と活力を持続的に高める集約型のまちづくり —

自動車を持たない高齢者なども安心・快適に暮らせるとともに、市民生活や都市活動のエネルギー効率を高めるためには、公共交通を中心とした集約型のまちづくりが必要です。

国内外から多くの人々が訪れ、様々な交流や活動が活発に展開される都市となるためには、札幌の顔である都心部の魅力と活力を高めるとともに、まちにうるおいを与えるみどり豊かな都市空間の創出や、良好な都市景観の形成が重要です。

また、人口減少・超高齢社会を迎える中でも、市民生活や都市活動を支え続けるためには、上下水道などの都市基盤施設¹⁰³や市有建築物の計画的かつ効率的な維持・保全と併せて、特に市有建築物については、機能の複合化など、効果的かつ効率的な再配置が必要です。

基本目標の設定

基本目標

- 21 公共交通を中心とした集約型のまちにします
- 22 札幌の顔となる魅力と活力あふれる都心にします
- 23 都市の価値を高めるみどりを生かしたまちにします
- 24 都市基盤が適切に維持・保全されるまちにします

¹⁰³ 【都市基盤施設】 ここでは、都市基盤のうち、建築物を除く道路、上下水道、公園などをいう。

将来のまちの姿

- ▶ 都心や地下鉄駅の周辺などに、多様な都市機能が集積され、様々な交流やにぎわいが生まれています。
- ▶ 都心の周辺部や地下鉄の沿線では、生活関連サービスの充実などにより、利便性の高い暮らしの場が形成されています。一方、郊外の住宅地では、ゆとりある良好な環境を生かした暮らしをしています。
- ▶ 日用品の買い物など、日常生活に必要なことは身近な場所で行えるとともに、市内の各地域をつなぐ公共交通網により、多様な都市機能が利用できることで、自動車を運転しなくても困らない暮らしをしています。
- ▶ 市民や企業は公共交通をみんなで支える意識を持ち、更に利用者の利便性が向上することで、積極的に公共交通を利用しています。これにより、過度な自動車の利用が控えられ、移動にかかるエネルギー消費を抑えた社会となっています。
- ▶ 道路ネットワークの維持・充実が図られるとともに、駅施設やその周辺などのバリアフリー化が進むことにより、安全で快適な交通環境が実現しています。
- ▶ 高速道路と都心のアクセス性の向上や、北海道新幹線など広域的な交通ネットワークの整備が進められ、観光や物流の面で北海道経済の活性化にも貢献しています。

実現に向けて私たちが取り組むこと

市 民

- まちづくりの計画策定や活動への積極的な参画
- 公共交通機関の積極的な利用
- 自動車の適切な利用
- 環境負荷低減のための取組

企 業 等

- まちづくりの計画策定や活動への積極的な参画
- まちづくりに必要な支援や専門的知識・技術の提供
- 市街地の質の向上や良好な都市景観の創出につながる空間整備
- 環境負荷低減のための取組
- 良好な空間形成を意識した企業活動の実施



行 政

- 土地利用計画制度¹⁰⁴などの適切な運用
- 都市空間に関わる多様なまちづくり活動の支援や調整
- 地域の特性に合わせた機能の誘導や施設の配置
- 市街地の質の向上や良好な都市景観の創出につながる空間整備の誘導・支援
- 公共交通機関の利便性向上や利用の促進
- 子どもが公共交通に親しむ取組の充実
- 安全で快適に利用できる道路ネットワークの維持・充実
- 広域的な交通ネットワークの整備
- 市民、企業などとの連携による、環境負荷を低減するまちづくりの推進

¹⁰⁴ 【土地利用計画制度】 まちづくりの諸施策のうち都市計画法に基づく制度の一つであり、土地の利用に関するルールを定め、個別の建築行為などを規制・誘導することによってまちづくりの目標の実現を図るもの。

将来のまちの姿

- ▶市民を始め、国内外からも多くの人を訪れる都心には、高次な都市機能が集積しているとともに、多様な活動を支える場など、人を中心とした魅力ある空間が形成されています。
- ▶創造的な活動の発信や担い手の育成など、文化と活力を創造する取組が展開されています。
- ▶豊かなみどりが充実することにより、うるおいや風格が感じられる都心にふさわしい街並みが形成されています。
- ▶エネルギーの効率的な利用などにより、先駆的な環境低負荷型のまちづくりが展開されています。
- ▶市民や企業などが主体となった都心のまちづくりにより、それぞれの地域特性に合わせた良好な環境が形成され、地域の価値の維持・向上が図られています。
- ▶都心は北海道の中心としての役割を果たしながら、国内外に札幌・北海道の魅力を発信し続けるとともに、市民生活の豊かさを享受できる場が創出されています。

実現に向けて私たちが取り組むこと

市民・町内会・NPO等

- 都心のまちづくりに関わる計画策定や活動への積極的な参画
- 環境負荷低減のための取組

企業

- 都心のまちづくりに関わる計画策定や活動への積極的な参画
- 都心のまちづくりに必要な支援や専門的知識・技術の提供
- 市街地の質の向上や良好な都市景観の創出につながる空間整備
- 環境負荷低減のための取組
- 良好な空間形成を意識した企業活動の実施



行政

- 土地利用計画制度などの適切な運用
- 都心のまちづくりに関わる計画などの策定・推進
- 市民や企業などが主体となった都心のまちづくり活動への支援
- 市街地の質の向上や良好な都市景観の創出につながる空間整備の誘導・支援
- 市民、企業などとの連携による、環境負荷を低減する都心のまちづくりの推進

将来のまちの姿

- ▶市街地では、うるおいと安らぎを与えるみどりと、憩いや交流の場として活用されるオープンスペース¹⁰⁵が十分にあり、それらを生かした、市民に親しまれる良好な都市景観が形成されています。
- ▶市街化調整区域¹⁰⁶では、森林や農地などの保全が図られているとともに、その特質を生かした土地利用が行われています。

実現に向けて私たちが取り組むこと

市 民

- みどりを保全・創出するためのまちづくり活動への主体的な参加

町内会・NPO等

- みどりを保全・創出するためのまちづくり活動の実施や情報発信、市民などへの助言

企 業

- 市街地の質の向上や良好な都市景観の創出につながる空間整備
- 所有地やその周辺などの緑化の推進
- 良好な空間形成を意識した企業活動の実施

行 政

- 公有地のみどりの保全・創出
- 市民・企業・地域との連携・協力によるみどりの保全・創出
- 市街地の質の向上や良好な都市景観の創出につながる空間整備の誘導・支援



¹⁰⁵ 【オープンスペース】 ここでは、公園、広場、河川、農地、建築物の敷地内の空地など、建築物などによって覆われていない空間をいう。

¹⁰⁶ 【市街化調整区域】 都市計画法（第7条）により、都市計画に定める区域区分の一つであり、無秩序な市街化を防止するために、市街化を抑制すべき区域をいう。

将来のまちの姿

- ▶市民の生活や都市活動を支え続けるために、老朽化が進んでいく上下水道などの都市基盤施設や市有建築物のライフサイクルコスト¹⁰⁷の縮減につながる計画的かつ効率的な維持・保全が進められています。
- ▶市有建築物については、機能の複合化など、効果的かつ効率的な再配置が進められています。

実現に向けて私たちが取り組むこと

企業

- 地域ニーズに合わせた公共的サービスの提供を目的とした所有施設の活用



行政

- 都市基盤の計画的かつ効率的な維持・保全
- 市有建築物の集約化・複合化や、民間施設との連携などによる効果的かつ効率的な市有建築物の配置の推進
- 市民、企業などへの都市基盤の現状や将来の課題に関する情報の提供

¹⁰⁷ 【ライフサイクルコスト】 製品や構造物などの調達・製造から使用、廃棄までの全般的な費用。

第5章

ビジョンの推進に当たって

第1節 基本理念

第2節 基本姿勢

- 1 市民が主役のまちづくり
- 2 まちの活力を高める人づくり
- 3 北海道と共に発展する札幌
- 4 限りある資源の有効活用と共創

第3節 戦略ビジョンの効果的推進

この章では、戦略ビジョンの推進に当たっての「基本理念」と、私たちが一体となってまちづくりに取り組むための共通の「基本姿勢」を示すとともに、私たちの生活や価値観が複雑・多様化する中で、経営資源¹⁰⁸の有効活用を図りながら、この戦略ビジョンを戦略的に推進するために必要となる「選択と集中」の考え方を示します。



第1節 基本理念

私たちは、先人たちが幾多の苦難を乗り越え、築き上げてきた世界に誇る魅力的なこのまちを受け継いでいます。今後、社会経済情勢が大きく変化しても、未来に向けてこのまちを良好な形で次世代に引き継いでいく責任を果たしていかなければなりません。

そこで、戦略ビジョンの推進に当たっての基本理念を、以下のとおり掲げます。

～ 札幌の未来をつなぐ子どもたちのために ～

私たちは、一人一人の暮らしや地域・企業活動など、あらゆる場面において、常に札幌の明日をつくる子どもたちが、笑顔で生き生きと幸せに暮らす姿を思い描きながら、持続可能なまちづくりを進めていかなければなりません。

また、子どもたちを、ふるさと札幌・北海道の魅力を語り、更に磨き上げることのできる大人に育てていく使命があります。

そして、札幌に誇りを持ち、積極的かつ主体的なまちづくりの担い手に成長した子どもたちが、また次の世代に、このまちの魅力を引き継いでいくことにより、世代間の良好な循環を実現します。

¹⁰⁸ 【経営資源】ここでは、まちづくりを支える各主体の、いわゆる「ヒト」、「モノ」、「カネ」及び「情報」（知的財産）などの無形資産の総称をいう。

第2節

基本姿勢

私たちが一体となってまちづくりに取り組んでいくために、4つの共通の基本姿勢を掲げます。

1 市民が主役のまちづくり

地域主権型社会を実現するためには、まちづくりの主役である市民自らが、主体的に参加することが求められます。

そこで、私たちは、自分たちの地域のことは、自分たちで考え、自分たちの力で解決する市民自治のまちづくりを進めます。

(1) 市民一人一人の参画

私たちの行動が、深くまちづくりにつながっていることを認識し、まちづくりや市政について関心を持ち、話し合い、積極的かつ主体的に参画します。

(2) 多様な主体によるネットワークの推進

様々なまちづくりの主体が相互に連携し、ネットワークを広げ、複雑・多様化する地域課題に対応します。

2 まちの活力を高める人づくり

札幌が今後とも魅力的なまちであり続けるためには、「人」がまちづくりの資源であり、新たな時代を担う推進力であると位置付け、それぞれの個性と能力を伸ばしていくことが必要です。

そこで、私たちは、様々な場面において、市民一人一人が社会で活躍する力を養う人づくりを進めていきます。

(1) 札幌人の育成

変化の早い時代に対応した進取性¹⁰⁹を備え、コミュニケーション力¹¹⁰や行動力を併せ持ち、地域や世界で活躍する未来の札幌人をみんなで育てます。

(2) 市民が活躍できる環境づくり

誰もが生きがいと役割を持ち、社会に参加できるようにするため、様々な立場の人たちの能力を引き出し、活躍できる環境をつくります。

(3) 未来を担う子どもたちへのまなざし

常に子どもたちに温かなまなざしを向け、健やかな成長を願うとともに、子どもたちが札幌の未来について主体的に考え、学び、行動するための機会を提供します。

¹⁰⁹ 【進取性】 従来の慣習にこだわらず、進んで新しいことをしようとする性質。

¹¹⁰ 【コミュニケーション力】 他者と協働したり、働いたりするために必要な能力の一部であり、「意思疎通」、「協調性」、「自己表現能力」で構成される。

3 北海道と共に発展する札幌

札幌と北海道の発展は、一体の関係にあります。

そこで、私たちは、札幌の魅力や経済活動が、北海道の人々、自然、資源などに支えられたものであり、札幌の発展は北海道と共にあることを常に意識しながら、北海道の中心都市としての役割を果たしていきます。

(1) 北海道の資源との連携

近隣市町村や道内中核都市¹¹¹など、道内の他市町村との広域的な連携を深めながら、北海道が持つ豊かな資源と札幌が持つ都市機能やブランド力を結び付け、札幌や北海道の魅力を相乗的に高めます。

(2) 北海道内の経済循環の促進

札幌の市民や企業などが、北海道の魅力や価値を改めて認識し、道産品の消費や道内観光、道内企業との取引などを積極的に行い、道内の経済循環を高めていきます。

(3) 北海道の魅力の発信

札幌が持つ情報発信機能を活用し、北海道全体の魅力を札幌から国内外へ発信します。

4 限りある資源の有効活用と共創¹¹²

地球規模の環境問題への対応や高齢化の進行、都市基盤の維持・保全などにより、社会的な費用が増大していくことが予想される中、行政と民間の役割分担や連携を十分考慮しながら、社会経済情勢の変化に対応し、効果的なまちづくりを進めていくことが重要です。

そこで、私たちは、市民・企業・行政が一体となって、それぞれの知恵と工夫により、限りある資源を有効に活用し、相乗効果を発揮します。

(1) 官民の持つ力による共創の推進

市民・企業・行政がそれぞれの持てる力を発揮しながら、共創によって魅力と活力のあるまちづくりを進めていきます。

(2) 世代間の公平性に配慮した資源活用

未来を担う子どもたちに過度な負担を残さないため、世代間の負担の公平性を考慮し、将来を見据えた効率的な資源の活用に努めます。

¹¹¹ 【中核都市】 新・北海道総合計画において、人口規模が一定以上で、行政を始め経済、医療、教育、文化などの面で高度な都市機能を持つ、函館市、旭川市、釧路市、帯広市、北見市及び札幌市を中核都市と定めている。

¹¹² 【共創】 ここでは、まちづくりの取組の中で、それぞれの主体が目標を共有し、それぞれの持つ知識やノウハウを始めとする資源を最大限活用していくことをいう。

第3節

戦略ビジョンの効果的推進

札幌市を取り巻く社会経済情勢の変化は、様々な分野において、かつて経験したことのないような影響を与え、これまでと同様の考え方や取組では、解決することが困難な課題が、ますます顕在化していくと予測されます。

このような時代にあって、戦略ビジョンを効果的に推進していくためには、こうした課題を的確に見定めた上で、資源を集中的に投下するなど、「選択と集中」により戦略的にまちづくりを進めていくことが重要です。

■ 今後、戦略的に取り組むべきテーマ ■

第4章の基本目標の実現に向けた取組を進めるに当たり、第2章における社会経済情勢の変化を踏まえ、今後10年間で最も大きなパラダイムの転換が必要となる以下の3つのテーマを選択し、集中的に施策を展開します。

【暮らし・コミュニティ】

高齢化の急速な進行による高齢単身世帯の増加や様々な要因による社会的孤立¹¹³の顕在化が懸念されることなどを踏まえ、地域でのつながりや支え合いによる共助の意識を広く醸成し、さらに、それらを補完する仕組みづくりに取り組むことによって、いかに安心して暮らせる地域をつくり出していくかというテーマ

【産業・活力】

今後想定される人口減少は、地域消費型¹¹⁴の経済構造となっている札幌・北海道に深刻な影響を与えることが懸念されることから、北海道経済全体の活性化を見据えた上で、札幌・北海道の魅力や強みを生かしつつ、新たな付加価値を創造することによって、いかに足腰の強い経済基盤を確立させていくかというテーマ

【低炭素社会・エネルギー転換】

地球温暖化や東日本大震災による福島第一原子力発電所の事故を踏まえ、今後は低炭素社会と脱原発依存社会を実現していくことが、先人が築き上げてきた札幌の財産を未来に引き継ぐためには重要であることから、このために環境エネルギー政策をまちづくりの中核に位置付け、いかにエネルギーの大消費地としての責務を果たしていくかというテーマ

これらのテーマに沿った施策の方向性は、「戦略編」で設定します。

なお、課題認識と戦略設定は、時代の変化に迅速に対応する必要があることから、適宜中間点検し、戦略の追加・補正を行うなど柔軟に対応します。

¹¹³ 【社会的孤立】 社会の中で居場所、社会的な安定性を持たない社会的集団または個人を指す。

¹¹⁴ 【地域消費型】 ここでは、ある圏域において生産されるものや提供されるサービスを圏域内で消費する行動形態をいう。

ビジョン編

第2章 社会経済情勢の変化と札幌

◆札幌市を取り巻く様々な社会的課題が顕在化◆

- ①「人口減少・少子高齢化」～社会的孤立の顕在化、郊外住宅地などにおける人口減少・高齢化
- ②「産業基盤の脆弱性」～生産年齢人口と経済規模の相関性、グローバル化への対応
- ③「東日本大震災、原子力発電所事故」～脱原発依存の意識の高まり、二酸化炭素排出量の特徴

第3章 私たちが目指す札幌市の将来

◆目指すべき都市像◆

「北海道の未来を創造し、世界が憧れるまち」
「互いに手を携え、心豊かにつながる共生のまち」

第4章 まちづくりの基本目標

◆まちづくりの分野を7つに分け、各分野において「まちづくりの基本目標」を設定◆

- | | |
|-------------------|------------------------|
| ①「地域」～つながりと支え合い～ | ④「安全・安心」～人に優しいまち～ |
| ②「経済」～暮らしと雇用を支える～ | ⑤「環境」～次世代へ引き継ぐ～ |
| ③「子ども・若者」～健やかに育む～ | ⑥「文化」～創造性を育む～ |
| | ⑦「都市空間」～魅力と活力のある都市の形成～ |

「目指すべき都市像」を実現するための様々な分野からなる「基本目標」に対し、「社会経済情勢の変化」で明らかにした札幌が直面する課題を克服し、札幌の持つ魅力や資源を生かし、伸ばす観点から、パラダイムの転換が必要となる3つのテーマを「選択」

戦略編

暮らし コミュニティ

様々な地域課題を克服し、
コミュニティでの暮らしを
豊かにしていく必要性

産業 活力

厳しい経済状況を克服し、
活力ある産業の創造により、
都市を豊かにする必要性

低炭素社会 エネルギー転換

低炭素社会の実現や
エネルギー政策の転換に
都市として対応する必要性

資料編

I 審議会及び市議会における審議経過	76
II 市民参加事業	82
1 市民アンケート、道外アンケート	84
2 将来の札幌を考える市民会議	86
3 さっぽろ1000人ワールドカフェ	90
4 みんなでつくる「さっぽろ未来カフェ」プロジェクト	92
5 テーマ別ワークショップ	94
6 まち「つながる」ワークショップ	96
7 さっぽろ未来カフェin 東京	98
8 国際都市さっぽろワールドカフェ	99
9 こどものまち「ミニさっぽろ2011」	100
10 国際交流ワールドカフェ	101
11 子ども議会	102
12 「児童会館・ミニ児童会館」における子どもの意見聴取	104
13 市民参加事業で出された意見と まちづくり戦略ビジョン<ビジョン編>の対応状況	106
III パブリックコメント手続	116
1 意見募集実施の概要	116
2 パブリックコメント（大人の意見）の内訳	116
3 キッズコメント（子どもの意見）の内訳	117
4 意見に基づく当初案からの変更点	118

I 審議会及び市議会における審議経過

札幌市は、「札幌市まちづくり戦略ビジョン審議会条例」に基づき、戦略ビジョンの策定に当たり、福祉、経済、都市計画などの各分野に精通した学識経験者、公募委員等で構成する審議会を設置し、札幌市長の諮問の下、専門的な見地から検討を行いました。

また、重点戦略等の具体的な検討に当たっては、よりコンパクトな体制で議論を深めるため、審議会内に「地域・コミュニティ」、「経済・雇用」、「都市構造」の3つの専門部会を設けました。

また、札幌市議会においても、総務委員会を中心に審議を行いました。

開催日	審議項目等		
	審議会	専門部会	札幌市議会
平成 23. 5.26			総務委員会 ○戦略ビジョン策定方針
6.30			平成23年第2回定例会 ○「札幌市長期総合計画審議会条例」を「札幌市まちづくり戦略ビジョン審議会条例」に改正
7.27			総務委員会 ○市民参加の取組状況 ○テーマ別ワークショップと市民評価との連携
8. 8	第1回審議会 ○戦略ビジョンの策定について市長から諮問 ○策定方針 ○社会経済情勢と札幌市の課題認識		
9.13	第2回審議会 ○戦略ビジョンの構成 ○まちづくりの基本目標		
11.30	第3回審議会 ○市民会議等での検討結果 ○まちづくりの基本目標、基本的視点 ○目指すべき都市像 ○専門部会の設置		
平成 24. 1.19		第1回都市構造部会 ○札幌市の都市づくりの理念・原則と基本目標の関係 ○「第7章 都市空間」の役割と必要な視点 ○戦略ビジョンと都市計画マスタープランの役割分担	

開催日	審議項目等		
	審議会	専門部会	札幌市議会
1.23	第4回審議会 ○まちづくりの基本目標、基本的視点 ○重点戦略 ○目指すべき都市像		
3.7		第1回経済・雇用部会 ○重点戦略	
3.12		第2回都市構造部会 ○重点戦略 ○将来の都市空間像	
3.14		第1回地域・コミュニティ部会 ○重点戦略	
4.16		第3回都市構造部会 ○重点戦略 ○「第7章 都市空間」の構成案	
4.24		三部会長会議 ○重点戦略	
4.26		第2回経済・雇用部会 ○札幌商工会議所からの意見聴取 ○重点戦略	
4.27		第2回地域・コミュニティ部会 ○重点戦略	
7.17		第4回都市構造部会 ○戦略ビジョンの構成 ○重点戦略（案） ○「第7章 都市空間」	
7.27		第3回地域・コミュニティ部会 ○重点戦略（案）	
7.30		第3回経済・雇用部会 ○重点戦略（案）	

開催日	審議項目等		
	審議会	専門部会	札幌市議会
8.10			総務委員会 ○策定状況の中間報告
9.27		第5回都市構造部会 ○重点戦略（案） ○「第7章 都市空間」	
10.4		三部会長会議 ○目指すべき都市像	
10.9	第5回審議会 ○戦略ビジョン＜ビジョン編＞（骨子版） ○目指すべき都市像の設定		
10.22			総務委員会 ○策定状況の中間報告
10.29	第6回審議会 ○戦略ビジョン＜ビジョン編＞の策定に関する答申書原案について最終審議し、決定		
11.9	○戦略ビジョン＜ビジョン編＞の策定に関する答申		
11.29			総務委員会 ○審議会からの戦略ビジョン＜ビジョン編＞答申案 ○パブリックコメントの実施
12.13			平成24年第4回定例会 本会議 ○「札幌市議会の議決すべき事件に関する条例」の改正 「総合計画（本市における総合的かつ計画的な行政運営を図るため、市政全般にわたる政策の基本的な方向性を定めるものをいう。）の策定、変更又は廃止」を議決すべき事件とした。

開催日	審議項目等		
	審議会	専門部会	札幌市議会
平成 25. 1.25			総務委員会 ○パブリックコメントの実施結果 ○当初案からの変更点
2.22			平成25年第1回定例会 総務委員会 ○議案第38号「札幌市まちづくり戦略ビジョン（ビジョン編）策定の件」
2.26			平成25年第1回定例会 本会議 ○戦略ビジョン＜ビジョン編＞を議決



○札幌市まちづくり戦略ビジョン審議会

(五十音順、敬称略、平成24年11月9日<ビジョン編>答申日現在)

氏 名		所 属 等	所属部会 ◎は部会長
会 長	内田 和男	北海道武蔵女子短期大学学長	◎経済・雇用
副会長	小林 英嗣	(社)都市・地域共創研究所代表理事	◎都市構造
委 員	浅香 博文	(社)札幌市身体障害者福祉協会会長	地域・コミュニティ
委 員	五十嵐智嘉子	(社)北海道総合研究調査会理事長	地域・コミュニティ
委 員	池田 光司	池田食品(株)代表取締役	経済・雇用
委 員	石森 秀三	北海道大学観光学高等研究センター センター長・教授	経済・雇用
委 員	梶井 祥子	札幌大谷大学社会学部地域社会学科教授	地域・コミュニティ
委 員	金子 勇	北海道大学大学院文学研究科教授	地域・コミュニティ
委 員	川崎 阿久里	(株)世界文化社第5編集本部企画部参与	経済・雇用
委 員	志済 聡子	日本アイ・ビー・エム(株)執行役員	都市構造
委 員	杉岡 直人	北星学園大学社会福祉学部教授	◎地域・コミュニティ
委 員	高木 晴光	NPO法人ねおす理事長	地域・コミュニティ
委 員	田村 亨	北海道大学大学院工学研究院教授	都市構造
委 員	為定 明雄	日本経済新聞社教育事業本部長	経済・雇用
委 員	近久 武美	北海道大学大学院工学研究院教授	都市構造
委 員	中嶋 圭	公募委員	経済・雇用
委 員	服部 彰治	札幌大通まちづくり(株)取締役統括部長	地域・コミュニティ
委 員	早川 渉	映画監督	経済・雇用
委 員	福士 昭夫	石山地区町内会連合会会長	地域・コミュニティ
委 員	星野 朱音	公募委員	地域・コミュニティ
委 員	丸山 博子	丸山環境教育事務所代表	都市構造

○札幌市総合企画調査専門委員

氏 名	所 属 等	所属部会
木下 武徳	北星学園大学社会福祉学部准教授	地域・コミュニティ
中島 岳志	北海道大学公共政策大学院准教授	地域・コミュニティ
平本 健太	北海道大学大学院経済学研究科教授	経済・雇用
村木 美貴	千葉大学大学院工学研究科准教授	都市構造
山田 良	札幌市立大学デザイン学部講師	経済・雇用

○札幌市まちづくり戦略ビジョン審議会条例

昭和44年6月28日条例第30号
(最終改正) 平成23年6月30日条例第10号

(設置目的)

第1条 市長の諮問に応じ、本市の長期的なまちづくりの指針である札幌市まちづくり戦略ビジョンについて調査審議するため、札幌市まちづくり戦略ビジョン審議会（以下「審議会」という。）を設置する。

(組織)

第2条 審議会は、委員25人以内をもつて組織する。

2 委員は、学識経験者その他市長が適当と認める者のうちから、市長が委嘱する。

3 委員は、諮問された事項に係る調査審議が終了したときは、委嘱を解かれたものとみなす。

(会長及び副会長)

第3条 審議会に会長及び副会長各1人を置き、委員の互選により選出する。

2 会長は、会議の議長となり、会務を総括する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

4 会長、副会長ともに事故があるときは、あらかじめ会長の指名する委員が、その職務を代理する。

(会議)

第4条 審議会は、必要の都度会長が招集する。

2 審議会は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開くことができない。

(専門部会)

第5条 審議会はその定めるところにより、専門部会を置くことができる。

2 専門部会に属すべき委員は、会長が指名する。

(庶務)

第6条 審議会の庶務は、市長政策室において行う。

(委任)

第7条 この条例に定めるもののほか、審議会の運営について必要な事項は、会長が審議会に諮って定める。

附 則

この条例は、公布の日から施行する。

附 則 (昭和46年条例第45号)

1 この条例は、昭和47年4月1日（以下「施行日」という。）から施行する。〔以下ただし書省略〕

2～6 省略

附 則 (昭和49年条例第27号)

この条例は、公布の日から施行する。

附 則 (平成11年条例第39号)

1 この条例は、公布の日から施行する。

2～4 省略

附 則 (平成12年条例第7号)

(施行期日)

1 この条例は、平成12年4月1日から施行する。〔以下ただし書省略〕

(経過措置)

2 この条例の施行の際現に第2条の規定による改正前の札幌市長期総合計画審議会条例の規定による審議会の委員である者の任期は、第2条の規定による改正後の札幌市長期総合計画審議会条例第2条第3項の規定にかかわらず、なお従前の例による。

3、4 省略

附 則 (平成17年条例第11号抄)

(施行期日)

1 この条例は、平成17年4月1日から施行する。

附 則 (平成21年条例第12号抄)

1 この条例は、平成21年4月1日から施行する。

附 則 (平成23年条例第10号抄)

1 この条例は、公布の日から施行する。

Ⅱ 市民参加事業

平成23年3月に公表した「戦略ビジョン策定の基本的考え方」において、従来の行政計画から、市民と共有できる札幌市の将来ビジョンへの質的な転換を図ることを目的とし、策定過程においては、有識者や専門家等で構成された審議会での議論に加え、市民会議をはじめとする重層的な市民参加のステージを設け、幅広い世代・属性の市民参加を目指すなど、「市民とともに作る」という策定プロセスを重視することとしました。

策定に当たっては、市民アンケートなどで札幌の魅力と課題についての調査を実施したほか、様々な手法を用いた各種ワークショップの開催、将来の札幌市の目指すべき姿やまちづくりの目標などについて検討を行う市民会議の実施など、市民参加の取組を積極的に進めてきました。

これらの取組を通していただいたご意見は、札幌市まちづくり戦略ビジョン＜ビジョン編＞に反映させています。

市民参加事業の概要

	事業	参加者数	概要
1	市民アンケート【H23. 6月】	2,723 件	札幌の魅力や、社会経済情勢の変化に伴う課題への取組などに関するアンケートを実施
	道外アンケート【H23. 6月】	1,087 件	「外から見た札幌」の視点をビジョンに反映させるため、市民アンケートと同様の設問により、インターネットアンケートを実施
2	将来の札幌を考える市民会議【H23.7～9月(計6回)】	市民会議委員 29 人	将来の札幌市の目指すべき姿やまちづくりの目標などについて、ワークショップ形式で検討し、会議の成果は、審議会および市長へ報告
3	さっぽろ 1000 人ワールドカフェ【H23. 7月】	440 人	「ワールドカフェ」という話し合いの手法を用いて、札幌の魅力や将来像について、楽しく気軽に語り合う大規模ワークショップを開催
4	みんなでつくる「さっぽろ未来カフェ」プロジェクト【H23. 9月～】	10 団体 (12 回) 443 人	市民の皆さんが、仲間やグループなど様々な集まりで自発的に「札幌の未来を語る場(ワールドカフェ)」を開催し、そこで話し合った内容を札幌市に報告してもらうことにより、市民意見をビジョン策定の議論に反映
5	テーマ別ワークショップ【H23.10 月】	68 人	「市民アンケート」で重要度の高かった4テーマ（高齢化社会、防災、子ども、環境）について、札幌市の取組に対する成果と課題について議論した上で、今後重点を置くべき取組を提案 ※行政評価制度への市民参加の促進を目的とした「市民評価」の取組と一体的に実施

	事業	参加者数	概要
6	まち「つながる」ワークショップ 【H24. 3月】	228 人	市民一人一人と地域やまちのつながり、これからの時代に合った「つながり」の形について考えるワークショップを市内10区で開催
7	さっぽろ未来カフェ in 東京 【H24. 1月】	36 人	「外から見た札幌の魅力」や、札幌が今後どのようなまちを目指すべきかについて、ワールドカフェ形式で意見交換
8	国際都市さっぽろ ワールドカフェ 【H24. 6月】	100 人 (外国籍市民 36 人を含む)	国際都市とはどのような都市か、札幌が国際都市を目指す上でのヒントなどについて、外国籍市民と日本人市民と一緒にワールドカフェ形式で意見交換 ※「さっぽろ国際戦略プラン」策定の市民参加事業と一体的に実施
9	こどものまち 「ミニさっぽろ 2011」 【H23.10月】	315 人	「ミニさっぽろまちづくりセンター」としてブース出展し、子どもたちが「さっぽろプロデューサー」として、現在のさっぽろのプロフィールシートと、10年後の札幌がどんなまちになってほしいかのフレーズを作成
10	国際交流ワールドカフェ 【H24. 2月】	59 人	海外のまちと札幌の比較などを踏まえ、国際都市札幌の未来について意見交換 ※同時期に札幌市内でホームステイしていた、アメリカ・ポートランド市グラント高校の生徒 5 人も参加
11	子ども議会 【H24. 1月】	55 人	「10年後の理想の札幌」についてキャッチフレーズを発表し、市長等と今後のまちづくりなどについて意見交換
12	「児童会館・ミニ児童会館」における子どもの意見聴取 【H24. 3～5月】	1,757 人	「10年後の理想の札幌」について、「こうあってほしい」と思うまちの姿を話し合い、みんなで考えた「理想のまち」に向けて自分たちで出来ることを検討 ※市内全児童会館・ミニ児童会館（173 館）で実施

1 市民アンケート、道外アンケート

戦略ビジョン策定に当たっての検討材料として、主に「札幌の魅力」と「札幌の課題」について、①札幌市民、②道外在住の札幌居住経験者の評価・意見を得ることを目的としたアンケート調査を実施しました。

(1) 対象・回答数

項 目	対 象	手 法	回答数
札幌市民アンケート調査	無作為抽出による 18 歳以上の男女 10,000 人	郵送アンケート	2,723 人
道外の札幌居住経験者アンケート調査	道外在住で、札幌居住経験のある 16 歳以上の男女 1,515 人	インターネットアンケート	1,087 人

(2) 実施概要

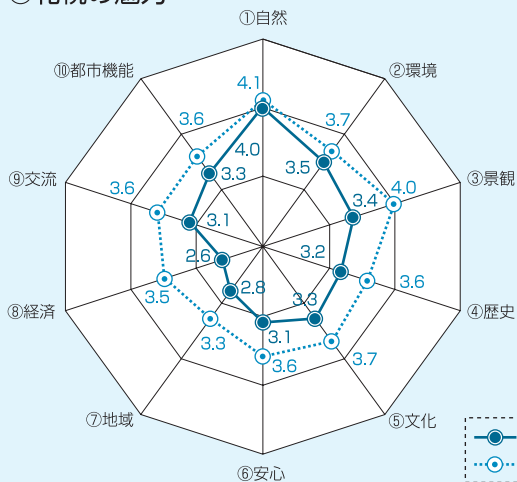
調査項目	内 容
札幌の魅力	下記10分類ごとに5つの評価項目（詳細項目）を設け、それぞれの魅力度を5段階で聞いた。 ＜魅力10分類＞ ①自然 ②環境 ③景観 ④歴史 ⑤文化 ⑥安心 ⑦地域 ⑧経済 ⑨交流 ⑩都市機能
札幌の課題	下記10分類ごとに5つの評価項目（詳細項目）を設け、それぞれの重要度を5段階で聞いた。 ＜課題10分類＞ ①少子高齢化 ②市民自治 ③保健・医療・福祉 ④経済・雇用 ⑤グローバル化 ⑥地球環境問題 ⑦都市機能 ⑧文化・スポーツ ⑨防災 ⑩北海道活性化
その他	「札幌のイメージ（良いところ）」、「理想の札幌（キーワードなど）」について自由記述式の設問を設けた。

(3) 調査結果の概要

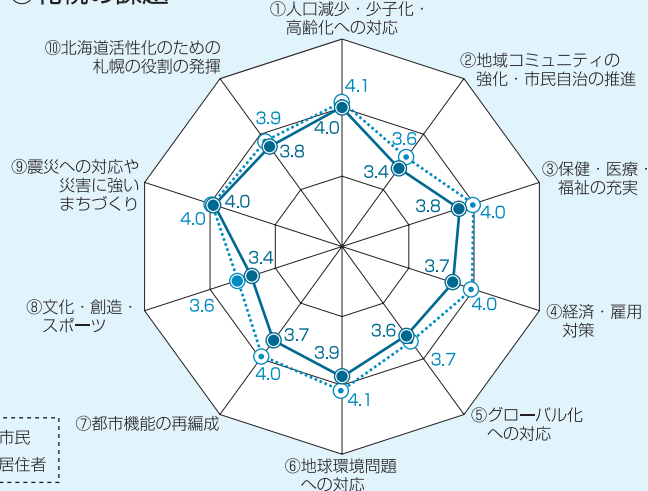
ア 札幌の魅力と課題

10 分類すべてにおいて、市民よりも道外在住者の評価や課題認識が上回った。

○札幌の魅力



○札幌の課題

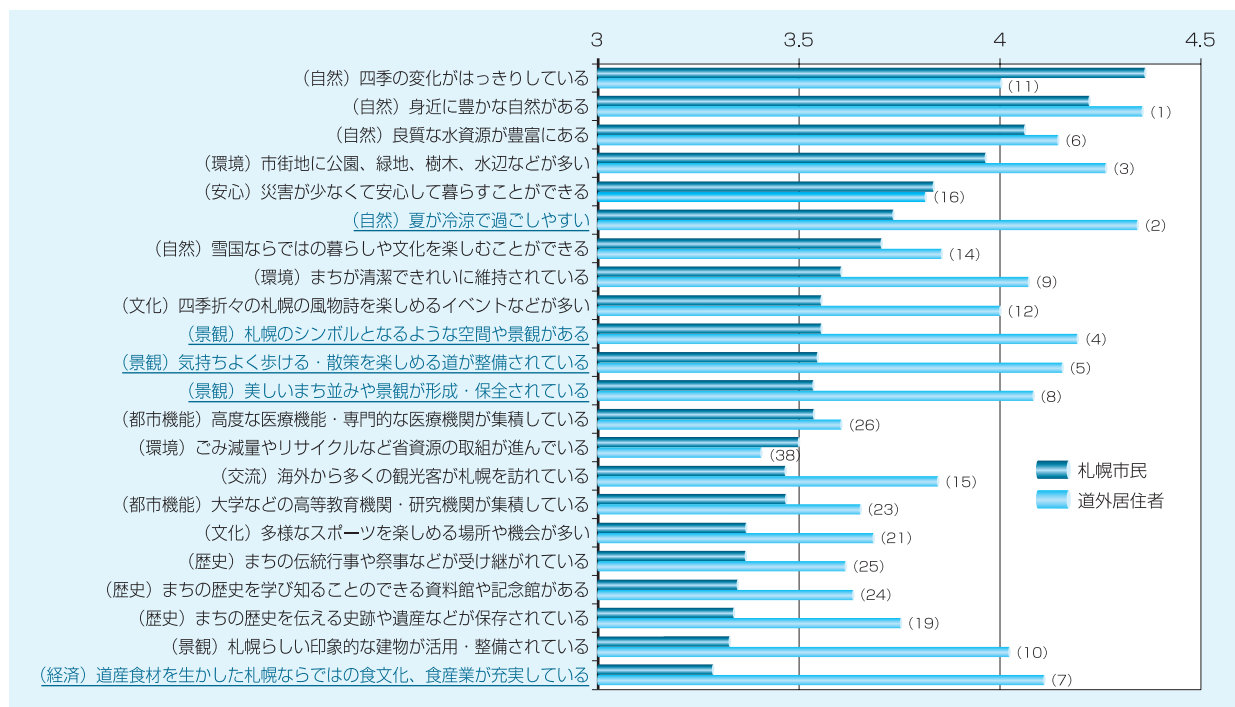


イ 札幌の魅力ランキング

◆市民、道外在住者共に認める札幌の魅力

「自然」：身近に豊かな自然がある、良質な水資源が豊富にある

「環境」：市街地に公園、緑地、樹木、水辺などが多い



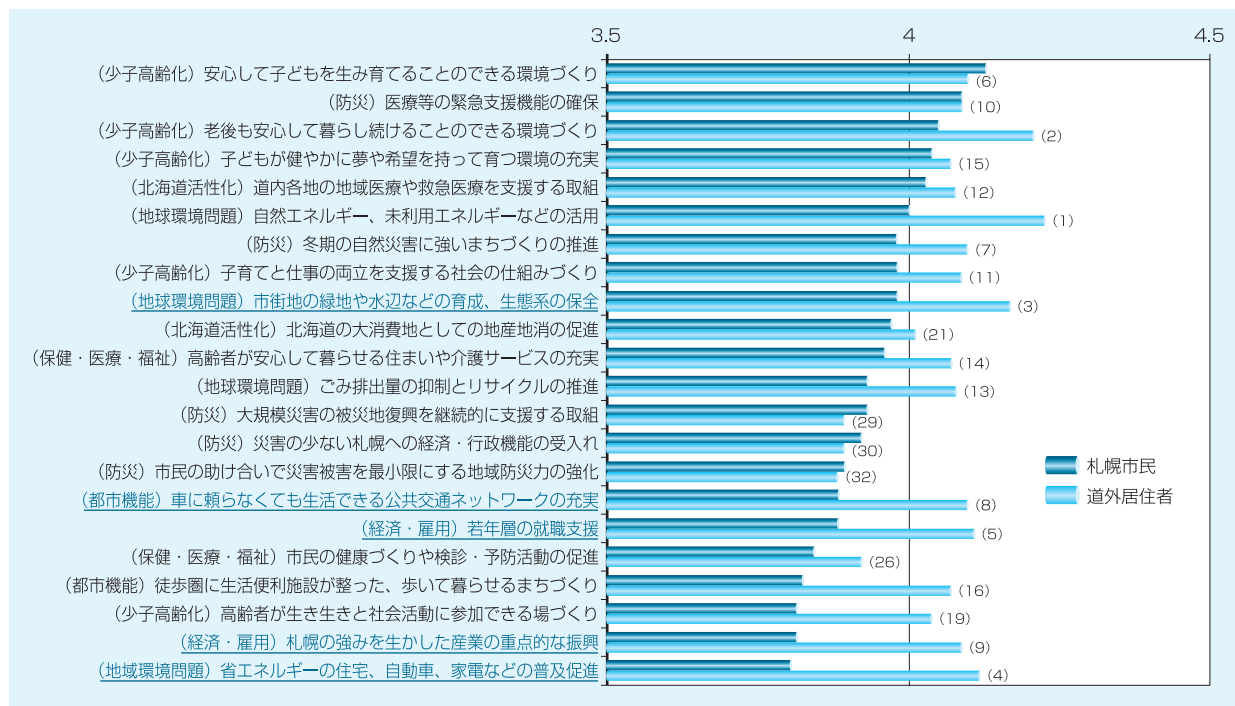
ウ 札幌の課題ランキング

◆市民、道外在住者共に認める重要課題

「少子高齢化」：安心して子どもを生み育てることのできる環境づくり

老後も安心して暮らし続けることのできる環境づくり

「地球環境問題」：自然エネルギー、未利用エネルギーなどの活用



※下線のある項目は、市民より道外在住者の評価や認識が高い主な項目。グラフ内のかっこ書きは道外在住者における順位。

2 将来の札幌を考える市民会議

市民の皆さんの目線で、将来の札幌市の目指すべき姿やまちづくりの目標などについて、3か月間、延べ6回にわたってワークショップ形式で検討を行い、平成23年10月24日に検討結果を市長に報告しました。

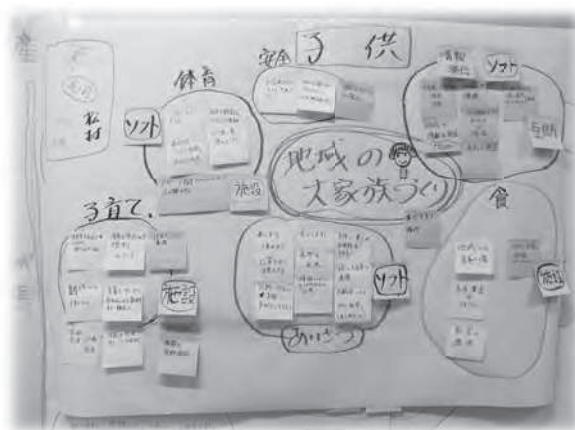
(1) 委員の構成

前述の市民アンケートにおいて、市民会議への参加を希望された264人の中から、性別、年代、住所のバランスを考慮して選出した29人で構成

(2) 開催期間と実施概要

回	日時・会場	内 容
第 1 回	平成23年 7月10日（日） 13:00～16:30 札幌すみれホテル 3階ヴィオレ	◆札幌市からの情報提供 ○戦略ビジョンとは何か、市民会議の役割と進め方 ○札幌の現状と課題、これからのまちづくりの視点 ◆グループディスカッション「札幌の強み（魅力）と弱み（課題）」 ○日頃、札幌で暮らして感じている、今後伸ばすべき魅力と札幌の課題や改善点について議論
第 2 回	7月23日（土） 10:00～15:30 STV北2条ビル 6階会議室	■午前の部 ～札幌の中期的なまちづくり～ ◆札幌市からの情報提供 ○札幌市の中期的なまちづくりの計画である「第3次新まちづくり計画」について、計画の位置づけや戦略ビジョンとの関係性、政策目標や重点課題など ◆グループディスカッション「テーマ別の課題と取組」 ○「第3次新まちづくり計画」の【暮らし】、【子ども】、【活力】、【環境】、【自治と文化】の5つの視点について、現状の課題と問題解決に向けたまちづくりのアイデアについて議論 ■午後の部 ～市民自治を進める上での市民と市役所の役割～ ◆札幌市からの情報提供 ○市民自治を進める上での市民と市役所の役割分担の考え方や、市役所が進めてきた取組について、さらに「新しい公共」の取組としてまちづくりセンターの役割など ◆グループディスカッション「よりよい札幌のまちづくり・住環境づくりのためにできること」 ○午前の部で議論したアイデアに対し、「市民・地域・企業に出来ること」、「市民、地域、企業の取組に対して行政に必要とされる役割や機能」について議論

回	日時・会場	内 容
第3回	8月6日(土) 13:00~16:00 ホテルニューオー タニイン札幌2階 北斗の間	◆札幌市からの情報提供 ○アンケート(市民・道外居住者)の結果 ◆グループディスカッション「これからのまちづくりのテーマ」 ○札幌の今後10年間のまちづくりを支える「柱」づくりに向けたテーマとキーワードについて議論
第4回	8月20日(土) 13:00~16:00 STV北2条ビル 6階会議室	◆グループディスカッション「札幌の今後の10年間の取組を支えるまちづくりの『柱』立て」 ○前回までの議論に基づき整理された5つのテーマ「暮らし・コミュニティ」、「経済・人材」、「自然・環境」、「文化・創造性」、「発信力・独自性」について、まちづくりの考え方と取組の方針となる視点、具体的な取組のアイデアについて議論
第5回	9月10日(土) 13:00~16:00 STV北2条ビル 6階会議室	◆グループディスカッション「市民会議による検討報告案の内容検証」 ○前回までの検討内容を踏まえ、事務局が作成した報告案について内容を検証し、最終的な取りまとめの方向性を確認
第6回	9月23日(金・祝) 13:00~16:00 STV北2条ビル 6階会議室	◆報告案の最終確認 ○5つのまちづくりの柱と取組方針、まちを育てるための取組の内容を精査し、「市民会議からの報告」最終案を取りまとめ ◆グループディスカッション「札幌の将来像を考える」 ○前回までの検討内容を踏まえ、これからの札幌が目指すまちづくりの方向性を示す「将来像」について議論
市長 報告会	10月24日(月) 16:30~17:00	「将来の札幌を考える市民会議」における成果を市長へ報告



(3) 市民会議意見取りまとめ

札幌のまちの将来像

いっしょ!一緒に ~支え愛のまちさっぽろ~

1 <暮らし・コミュニティ> 全ての市民が見守り支え合う、暮らし・地域づくり

安全・安心な暮らしを守る生活環境づくり

- 危機管理の出来るコミュニティづくり
- 私たちが考え、行動する安全・安心なまち
- 快適・安心な生活を支えるコンパクトなまち

高齢者、子どもが元気に暮らせる環境づくり

- 高齢者が元気に働ける・活躍できる福祉の充実
- 女性が積極的に社会に参加し活動できる子育て支援の強化
- 誰もが安全安心に暮らせるユニバーサルデザインのまちづくり

多様な世代が交流し、共生する地域の大家族づくり

- 子どもと高齢者の交流による多世代が共生する地域コミュニティづくり
- 地域の誰もが声を掛け合える共生の地域づくり
- 札幌に住み続ける環境を支える施設や地縁、コミュニティ等のきずなづくり
- まちの情報が伝わる場としてのコミュニティサロンやカフェ、レストランづくり

全ての市民が関わる地域のまちづくり

- 住民がまちづくりセンターを知り、もっと上手に使う
- 言うべきことを言える場づくり
- 気軽に参加できる町内会づくり
- 地域の有償ボランティアによるまちづくりの推進
- 市民会議のように市民が語り合う ALL さっぽろプロジェクト

2 <経済・人材> 『食・観光・人』の素材を徹底的に活かした産業づくり

魅力的な産業基盤の育成

- 外貨を呼び込む産業育成
- 魅力的な産業を育てる
- 札幌の核となる企業の育成
- 行政による産業支援・育成・活用
- 観光客が買いたくなる加工品の魅力・付加価値の向上

北海道・札幌の豊かな資源を活かした『食』の産業強化

- まちなかの『北海道の食のショーケース』づくり（加工料理市場）
- 市内の農地増加による農業の拡大
- 一次加工産業の強化と海外への流通の強化
- 冷凍技術等を活かしたアジアへの加工品の輸出
- 自然を活かした産業・商業の創造・展開

札幌の素質を鍛える観光の育成

- 札幌の豊かな自然資源を生かした観光の推進
- ストーリーの見える観光ルートづくり（歴史など）
- 郊外の観光資源などをもっと楽しめる着地型の観光ルートづくり
- 車に頼らず楽しめるルートづくり（定期観光バスなど）
- 食と公共交通を連動し、ターゲット層ごとに発信する観光情報の充実
- リピーターを増やす活動の推進

北海道・札幌を発信し、活力を創出する人材の育成

- 北海道をPRできる人材の育成
- 若い世代が世界（外）に出て成長する仕組みづくり（地元に戻る条件の奨学金制度など）
- 起業したい人を札幌に呼び込み応援する
- 新しいことをやろうとする人を応援する「チャレンジできるまち」づくり
- 企業による、将来の札幌経済を支える人材となる学生の教育の推進

3 <自然・環境> 自然と都市が共生する『緑』と『白』のまちづくり

自然を活かすまちづくり

- 市全体として、札幌の特色を活かした自然特区の指定を目指す
- 公園管理・運営の民間委託（雇用創出・自然活用）
- 自然に触れたい整備（公園・観光資源）の推進

自然・みどりを増やすまちづくり

- 都市型自然環境づくり・河川・緑地帯の形成
- 市民による市民の森づくり「毎年1本植樹」
- 自然を大切にする環境教育・ふれあい学習の推進
- 都心縁辺のグリーンベルト帯の創出
- 人工物を活かしながら自然を再生する取組の推進

再生可能エネルギーを活かした安全安心なまちづくり

- 小河川ダム、小風力、太陽光、地熱など、自然を活かしたエネルギーの導入
- 積雪寒冷地の特性を活かした雪のエネルギー資源としての有効利用
- 原子力や化石燃料に頼らない再生可能なエネルギーを活用した省エネルギーなまちを目指す

世界に誇れる環境に配慮したまちづくり

- 世界でもいち早く CO₂ 抑制ができる街の実現
- 日本で一番住みたいまちから世界で一番住みたいまちを目指す
- 環境会議の誘致
- エコカー・公共交通の利用促進（料金の値下げ）
- 自転車道路の増設

4 <文化・創造> 市民が学び育てる『さっぽろ文化』づくり

創造性を育むきっかけづくり

- アイデアを実現・広げていく環境・機会の提供
- 資源を活かした個性の育成（近隣の自然や産物等）
- 人材の輩出（芸術・学問）
- 子どもの頃から可能性を引き出すきっかけづくり
- 子どもの市民会議を開催する

さっぽろを知る・さっぽろから学ぶ教育

- 自分の住んでいる地域（足元）を見つめ直す
- 札幌の過去・歴史を学ぶ教育機会の普及・展開
- 食育等の取組を通じた北海道・札幌を支える農業を学ぶ機会の提供

さっぽろ発のアート・カルチャーの発信

- さっぽろの木である「ライラック」をもっと前面に押し出す、活用する
- ファッションと食をテーマにした新たなさっぽろ文化づくり
- パティシエの世界大会など特色ある食文化の創造
- 食文化と芸術文化のつながりづくり
- 雪まつりと連動した地域イベント（雪灯り・キャンドル祭りなど）
- 地下道などの空間をアート発表の場にする

北海道の中心地としての札幌の食文化づくり

- 道産食材を活用した北海道・札幌の食文化づくり
- 北海道の豊かな資源の価値を再確認し、伸ばす地産地消の促進
- 道産食材を発信できる人材育成プログラムづくり
- 「おもてなし」の環境（心、お店など）を整えるプロジェクトの推進

5 <発信力・独自性> 市民の気づきを通じて内側から湧き出すまちの魅力づくり

市民が生活を通じて楽しみ、育て、発信する札幌ブランドづくり

- ムリな発信に頼らず、自然と広まる『札幌の良さ』を今ある資源から育てていく、高めていく
- 現在の札幌の資源・環境の良さ・価値への気づき・再確認を促す
- 生活の中で札幌の良さに触れ、楽しむことができる機会を生み出す
- 「札幌ブランド」など、資源・価値を再認識し、共有するきっかけとして、『地域資源認定制度』を創設する

北海道の良さが札幌から広がる資源の積極的な活用

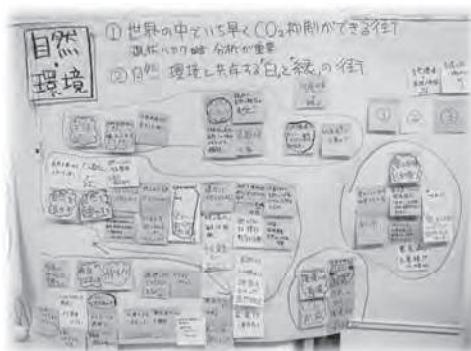
- 道産食材の活用・安価に利用できる仕組みづくり
- 資源の活用を通じた北海道全体の活性化

札幌の良さが広がる仕組みづくり

- 戦略的なPRのためのプロジェクトチームづくり
- 企業とのタイアップと市のバックアップ
- 札幌を良く知る人材が世界に札幌を発信し、もっと世界の人に札幌に来てもらう

市民が札幌を理解する教育機会の提供

- 市民が札幌をより学ぶことで発信力を高め、街の質を高める
- 市民が札幌の資源を理解する場・機会の創出
- 文化を学び、発信できる教育機関の設置
- 教育を通じて札幌市の内側を強化する



3 さっぽろ1000人ワールドカフェ

市民一人一人がまちの未来を考えるきっかけにするとともに、札幌の将来像の検討素材とするため、最近全国的にも注目を集めている「ワールドカフェ」という話し合いの手法を用いた、誰でも気軽に参加できる大規模ワークショップを開催し、札幌の魅力を探り、参加者が望む札幌の将来像について語り合いました。

(1) 日時・会場

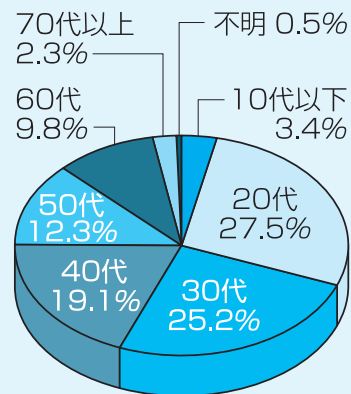
平成23年7月18日（月・祝） 13時00分～16時30分
ロイトン札幌3階 ロイトンホール

(2) 参加者数

440人

＜参加者属性＞ 小学生～70代以上の幅広い年代から参加
特に30代以下の若い世代が半数以上

＜参加者属性＞



(3) プログラム

【第1部】 13時30分～13時45分

トークセッション ＜テーマ：「そと」に誇っていききたいさっぽろ＞

ゲストスピーカーと上田文雄札幌市長により、ワールドカフェ風のトークセッションを行いました。

○ゲストスピーカー

麻生 栄一さん	(株)インデックス・コア代表取締役、札幌国際短編映画祭実行委員
小山内 美香さん	コミュニケーションデザイナー、元「札幌 100 マイル」編集長
竹本 アイラさん	主婦ネットワーク MaM-CaN 代表
ロス・フィンドレーさん	NAC ニセコアドベンチャーセンター代表取締役

○トークセッションでの主な発言抜粋

麻生 栄一さん	札幌にはいい意味で「しぼり」がないように感じるし、「まち」というより「国」というイメージな気がする。国内のどこかの街を目指すというよりも、世界中のいろんな街とお近づきになったり、比較されるべき街になっている気がする。苗字は札幌です、というくらいの勢いで独立心旺盛な市民でありたい。より多くのヒトと話せる場がいっぱいあるともっと良くなる気がする。
小山内 美香さん	すぐく都会でありながら、いい意味で「田舎」。何かやろうとか、何か頑張るとすぐにヒトに伝わるし、声をあげたら、ヒトが集まる環境がある。世界が狭いということが札幌では、他に誇れるところだと思う。
竹本 アイラさん	札幌にずっといるヒトは意外と気づいていないかもしれないが、北海道の地方都市から比べたらもう「大都会」。なのに、子どもたちにとっても非常に安全な街だと感じる。そしてヒトとヒトのつながりが近い。これは東京や大阪にはない魅力だと思う。
ロス・フィンドレーさん	リゾート地ニセコで多くの外国からの観光客がリラックスしてくれるが、札幌は～こんなに都会なのに～も関わらず、遊びも自然も身近にあってヒトをリラックスさせるポテンシャルをもった街。スキー場ひとつとってもこんなにすばらしいスキー場が近い街は世界にもそうそうない。
上田 文雄札幌市長	世界に雪が降る街はいっぱいあるが、雪まつりやウィンタースポーツで札幌は雪を克服してきた。克服する中でヒトとヒトとがつながるマインドが生まれた。「雪が降ったらあたたかい」と思えるヒトのつながりやキモチを大事にできるまちづくりを目指したい。

【第2部】 13時45分～16時30分

ワールドカフェ

4～5人のテーブルごとに、メンバーを入れ替えながらテーマに沿って話し合いを行いました。
ゲストスピーカー4人と上田市長も参加者のテーブルに交じって一緒に話し合いました。

○話し合いの流れ

①札幌に住んでいて、来てみて、良かったと思うことは何ですか？

↓（席替え）

②他にはない、さっぽろ“らしさ”とは何でしょうか？

↓（席替え）

③さっぽろ“らしさ”にどのような可能性を感じますか？

↓（最初のテーブルに戻り、各自付箋に書き出し）

④わたしたちが望む、これからの“さっぽろ”はどんなまちですか？

↓（話し合った結果をまとめ用紙に書き出し）

全体共有 テーブルごとに書き出した「わたしたちが望む、これからの“さっぽろ”」を、参加者が自由に見て回り、意見を共有しました。



(4) 主な意見「わたしたちが望む、これからの“さっぽろ”」

テーマ	意見（抜粋）
創造性、暮らし	○クリエイティブなまち ○市民が自らのやりたい事を実現できる街 ○スタイルを持って発展する街 ○東京・大阪ではなく世界を意識した街づくりへ！ ○夢がかなうまち ○失敗していいまち ○金はなくても、市民一人一人がアイデアによって解決していけるまち ○心豊かに暮らせる街
地域	○あったかい街 ○人とつながる優しい街 ○多文化共生 ○世代、障がいの有無、国籍等、関係なく共生できるまち ○地域でのコミュニケーション作りができる街 ○あいさつ、Smile、対話のある街
経済	○経済がうるおう街（観光・リゾート） ○商売上手なさっぽろ ○すすきの活性化！ ○外貨を稼ぐ街 ○企業誘致（海外も） ○観光サービスのレベルアップ ○地産地消 ○スイーツに力 ○世界中の人々が集まってきて、街を活性化させる ○優秀な人材がもどってきやすい街 ○女性がメインのまちづくり
子ども・若者	○子育てがしやすい街 ○未来や子どもたちにもよりよいまちを ○子ども目線になったまちづくり ○子どもがノビノビできるまち ○才能ある若者にチャンス・夢・希望を与える ○やる気ある大学生が残るまち ○積極的に若者が外へ（海外 etc）出ていくためのサポート
安全・安心	○障がいのある方や高齢の方に対して思いやりのあるまちづくり ○安心・安全な街（食・人・水・空気） ○犯罪などない安全な街 ○災害に備えるまちづくり ○日本の復興のNo.1の牽引役 札幌
環境	○市民が自然とふれあうまち ○自然ありながらの都市 ○生物多様性が維持される ○雪を使ったエコ都市 ○原発にたよらないまち ○クリーンエネルギー（太陽・雪・波）の先進地に ○新たな技術を開発して環境リーダー都市として世界に発信 ○スローライフ都市宣言（特区活用）
文化・発信	○音楽とビールが似合う街 ○札幌発のサブカルチャー ○Art、Fashion の街 ○スポーツを大いに押すまち ○ウィンタースポーツ ○プロの選手と交流できるまち（ファイターズ、コンサ） ○皆が観光大使 ○札幌発のエンターテインメント ○“札幌のよさ”を市民全員が言えるまち
都市空間	○大きすぎず丁度良い規模の街 ○拠点のアクセスを良くする ○人と自然の都心（市電・トランシットモール・自転車道） ○まちの景観、古き良きものは残してほしい ○絵に描きたくなるような街
市民自治・北海道	○市民どうしが活発に対話できる街 ○市民の声が通るまち ○考え、行動し、支えあう札幌市民が暮らすまち ○いつでも、どこでも札幌を語るワールドカフェのあるまち！ ○中心となって北海道全体を元気にできるまち ○北海道の index（ハブ）になれる街 ○他の地域も一緒に上げていこう

4 みんなでつくる「さっぽろ未来カフェ」プロジェクト

より多くの市民の皆さんの声を戦略ビジョン策定の議論に反映させるため、市民の皆さんが「さっぽろの未来」を語る場（ワールドカフェ）を、様々な集まりで開催してもらい、そこで話し合われたことを札幌市に報告していただきました。

平成23年10月から平成24年10月の間に、9団体により12回開催され、延べ443人が参加しました。

(1) 各プロジェクト開催概要

プロジェクト名	主催者	参加者数	テーマ
さっぽろみらいカフェ 【平成23年10月30日(日)】	さっぽろ未来カフェプロジェクト応援隊	41人	「食」「観光」「健康」「教育」「スポーツ」
さっぽろ「まちづくり」ワールドカフェ 【平成23年11月1日(火)】	RSジンジャー	10人	さっぽろの良いところ、あったら良いなあと思うもの
さっぽろ育メンワールドカフェ 【平成23年11月25日(金)】	NECO塾	11人	パパだから 子どもが大好き この街が好き
さっぽろ観光ワールドカフェ 【平成23年11月28日(月)】	きたかん. Net	52人	さっぽろの観光
ソーシャル・アントレプレナーシップ・ワールドカフェ 【平成23年12月3日(土)】	(社)北海道中小企業診断士会 ソーシャルビジネス研究会	35人	ソーシャル・アントレプレナーシップ（社会起業家）
女性がつくる「さっぽろ未来カフェ」 【平成23年12月4日(日)】	(社)分子整合医学美容食育協会	37人	さっぽろの食、食育について
ラーニング・カフェ 【平成24年1月11日(水)】	(株)札幌カフェ	36人	働くことの意義
女性がつくる「さっぽろ未来カフェ」vol.2 【平成24年3月3日(日)】	(社)分子整合医学美容食育協会	49人	食と健康
ソーシャル・アントレプレナーシップ・ワールドカフェⅡ 【平成24年3月24日(土)】	(社)北海道中小企業診断士会 ソーシャルビジネス研究会	29人	ソーシャル・アントレプレナーシップ（社会起業家）
女性がつくる「さっぽろ未来カフェ」vol.3 【平成24年6月17日(日)】	(社)分子整合医学美容食育協会	55人	女性が楽しく生き生きできる 札幌について～健康と美容～

プロジェクト名	主催者	参加者数	テーマ
English World Café in Sapporo 【平成 24 年 9 月 2 日（日）】	Team Forever （国際都市さっぽろワールドカフェ参加者有志）	50 人 （外国籍市民 12 人を含む）	もし、札幌で地震が起きたら どうしたらいいの？ （日英 2 か国語で進行）
さっぽろ未来カフェ in 東京 ×札幌 【平成 24 年 10 月 7 日（日）】	「さっぽろ未来カフェ in 東京×札幌」 実行委員会	【東京会場】 21 人 【札幌会場】 17 人	戻りたい札幌って、どんなまち だと思いますか？ （両会場を Ustream 中継で つなぎ同時開催）

(2) 主な意見

テーマ	主な意見
地域	○多様な人を受け入れる街、多様な人が住みたいと思う街 ○思いやりのある人たちが暮らす街さっぽろ ○弱者に優しい街 ○人とのつながりを普段から大切にする絆の深いまち ○さっぽろに住む人たちが、みんなの幸せに貢献（協力）する街 ○市民が主人公であることを大切にする街であって欲しい ○街に居る人たちが主体的に行動する街「さっぽろ」 ○人を活き活きさせる、その結果、自分も生かされる
経済	○雇用のある街であって欲しい ○雇用創出のための海外、本州企業誘致 ○チャレンジできる街、街の活性化のために起業を促進 ○北海道、札幌に住む私たちが食材の豊富さ美味しさ新鮮さに気付く ○札幌での私たちのライフスタイルが北海道・地域をエンパワメントするように ○北海道の他地域との連携で札幌がイキイキ出来る ○女性が活き活きすると新しい産業が生まれる ○おしゃれが景気を救う ○平穏、それでいて刺激的な誰でもあこがれるまち ○仕事と生活のバランスを自分らしく調整できるまち ○ Welcome U ターン。出るのを止めるのではなく、もどりやすくする
子ども・若者	○学校の先生もいろんな人と交流し視野を広げる ○学校を開放し地域コミュニティへ ○父親ネットワーク強化 ○子どもに農業体験を ○社会を担っている大人と、未来を担う若者が「つながり」を持つことが大切 ○若い世代にシグキを
環境	○ネイチャーコンパクトシティ ○丁度よい「さっぽろ」…都会すぎず、田舎すぎず。気候に四季が感じられる。 ○クリーン感…きれいな雪、公園、自然、女性、空気、新鮮な食べ物
文化・発信	○スポーツが街の活性化のキーポイントになる ○札幌らしさはつくるものではなく、にじみ出てくるもの ○もっと札幌について学ぶ場が欲しい ○札幌はスイスみたいな国際的リゾート地になろう ○長期間滞在しても便利で楽しめる街に ○もてなしの心が必要 ○札幌暮らしの魅力をもっと発信 ○自分のマチに誇りを持っている人がたくさんいるまち

5 テーマ別ワークショップ

「市民アンケート」で重要度の高かった4テーマ（①高齢化社会に対応したまちづくり、②防災を意識したまちづくり、③未来を担う子どもたちを育むまちづくり、④環境に配慮したまちづくり）について、札幌市の取組に対する成果と課題について議論した上で、今後重点をおくべき取組を提案してもらいました。

なお、当ワークショップは行政評価制度への市民参加の促進を目的とした「市民評価」の取組と一体的に実施しました。

(1) 日時・会場

平成23年10月1日（土）、2日（日） 9時00分～16時30分
S T V北2条ビル 6階会議室

(2) 参加者数

無作為抽出により20歳以上の市民3,000人へ参加案内を送付し、参加を希望した80人を参加者と決定し、当日の参加者は68人でした。

(3) ワークショップの流れ

1 札幌市の取組の成果と課題は？

6グループに分かれ、テーマに関連する札幌市の取組において、日常生活の中で成果を上げていると実感することや、成果を上げる上で課題だと思われることについて議論するとともに、市民・企業の取組の成果や課題について意見交換



2 今後、重点をおくべき取組は？

今後、札幌市や市民、企業が重点をおくべき取組について議論し、特に重要だと思う取組について、グループ内投票により取りまとめ

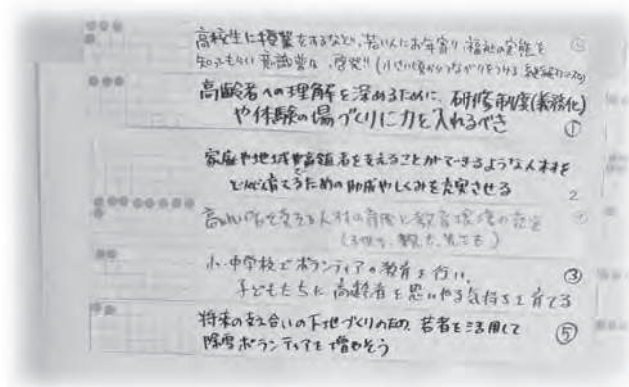


3 全体での共有、確認

各グループで取りまとめた5つ程度の提案を発表し、参加者全員で共有した上で、類似した提案を集約し、今後重点をおくべき取組としてどの提案がより重要か、参加者全員による投票を実施

(4) テーマごとの意見

テーマ	主な意見（投票による得票数の高かった意見）
①高齢化社会に対応したまちづくり	○広報の見直しやフリーペーパーにより、ボランティアの情報発信、声かけの充実 ○家庭や近隣地域で高齢者を支えるため、また、高齢者自身のボランティアも推進するため、ボランティアのポイント制度をつくる ○高齢者を支える人材の育成と教育環境の充実（子ども、親も、先生も） ○高齢者も多世代で交流できる居場所の充実（交流の工夫、共通で一緒に楽しめる仕掛けが必要）
②防災を意識したまちづくり	○正しい情報を得る手段を確保。ラジオのチャンネルごとに流す情報を役割分担 ○家族連れや若者も楽しみながら参加できる防災イベントを企画、実施していく ○災害発生時に行政内（市、交通局、警察、消防局等）で連携を明確に！
③未来を担う子どもたちを育むまちづくり	○子どもが様々な人と触れ合うボランティア体験の場づくり（企業の協賛や市の助成など） ○札幌らしい教育。プロスポーツ、自然・農業体験。大人を見て育つ（目標ヒーロー）→子どもが札幌に残る ○安心して子育ての相談ができるSNSのサービスがあるとよい ○家庭教育学級など親の学ぶ場を増やす
④環境に配慮したまちづくり ＜その1＞ エネルギー消費を抑えたライフスタイルへの転換	○家庭の目標値を共有化してCO₂削減をすすめる。「さっぽろエコ家族の4人世帯の利用はこれくらい」という具体的な指標を ○公共交通機関を安くして、車を使わない暮らしに！（利用料金が車利用より安く／定期券にインセンティブを。定期通勤への乗り換えを支援） ○市民が勉強する場を充実させる！
④環境に配慮したまちづくり ＜その2＞ 市民との協働のみどりづくり	○子どもの利用が少なくなった古い公園の遊具を取り払って緑化する「ひろっぱプロジェクト」により、緑に関心をよせてもらう ○家のまわりに花を植える「一軒一鉢運動」から始める。家庭に苗を配る補助や取組とあわせて行う ○空地を活用して市民農園をつくり、収穫体験や地産地消の直売所など、活性化にもつなげる



6 まち「つながる」ワークショップ

「人口減少」「超高齢社会」というかつてない時代を迎える札幌市。ご近所付き合いを始めとする地域での「つながり」が年々希薄化していると言われていている一方で、誰もが住み慣れた地域で暮らしつづけるために「つながり」の必要性が強く叫ばれています。

そこで、地域のあり方、これからの「つながり」のカタチを皆さんと考えるワークショップを市内10か所で開催いたしました。

(1) 日時・参加者数

日程／時間	会 場	参加者数
平成 24 年 3 月 3 日 (土) 13:30 ~ 16:00	清田区民センター	19 人
3 月 4 日 (日) 13:30 ~ 16:00	南区民センター	19 人
3 月 5 日 (月) 18:30 ~ 21:00	厚別区民センター	23 人
3 月 11 日 (日) 13:30 ~ 16:00	豊平区民センター	17 人
3 月 12 日 (月) 18:30 ~ 21:00	中央区民センター	33 人
3 月 18 日 (日) 13:30 ~ 16:00	白石区民センター	24 人
3 月 19 日 (月) 18:30 ~ 21:00	西区民センター	21 人
3 月 20 日 (祝) 13:30 ~ 16:00	手稲区民センター	34 人
3 月 21 日 (水) 18:30 ~ 21:00	東区民センター	17 人
3 月 22 日 (木) 18:30 ~ 21:00	北区民センター	21 人
合計		228 人

(2) 話し合いの流れ

前半（ワールドカフェ）

4人程度のテーブルごとに、メンバーを入れ替えながら下記のテーマに沿って話し合い

①まちや地域で私たちはどのようにつながっているのでしょうか？

↓（席替え）

②まちや地域で私たちはどのようにつながっているのでしょうか？（①と同テーマ）

↓（最初のテーブルに戻る）

③まちや地域で私たちはどうすればつながっていけるのでしょうか？



後半（テーマごとの話し合い）

前半の話し合いを踏まえ、各人がもう少し深く話してみたいテーマを出し合い、興味のあるテーマに集まったメンバーで、そのテーマについて話し合い

(3) 主な意見（キーワード）

テーマ	キーワード
人のつながり	○つながろうとする意識が必要 ○つながるためのきっかけづくりや声かけ・挨拶 ○同世代交流・異世代交流 ○役割を持つこと ○顔の見える関係
町内会	○町内会活動の重要性、若い世代の参加が必要 ○町内会に求められているものを再考 ○町内会同士の横のつながり ○回覧板の工夫でつながる ○町内会役員の若返り
きっかけ	○地域の行事、祭り等がつながるきっかけとして重要 ○子どもを通じて地域がつながる ○子ども会の役割 ○誰でも気軽に集える場づくりやサロン、コミュニティカフェ ○趣味の集まり、地域の人を講師にした講座 ○雪かきをきっかけに ○ワークショップ、しゃべり場
人材	○おせっかいおばさん ○元気高齢者の活用 ○人材（リーダー、キーマン） ○ボランティア ○学生、若者、勤労世代の参加 ○女性のパワーを活かす ○民生委員の役割
つながりのあり方	○ゆるやかなつながり、距離感 ○マンション住民のつながりのあり方 ○地縁の限界、新しいつながりの仕組みが必要 ○見守り活動における個人情報の壁
連携、発信	○NPO、大学、商店街、企業との連携 ○三位一体（家庭―地域―学校） ○情報共有、発信 ○ミクシィ等のSNSの活用



7 さっぽろ未来カフェin 東京

「外から見た札幌」の視点を取り入れるため、首都圏にお住まいの札幌居住経験者（札幌出身者等）を対象に、外から見た札幌の強みや、札幌が目指すべきまちづくりの方向性等について対話する場として、ワールドカフェを開催しました。

(1) 日時・会場

平成24年1月20日（金） 19時00分～21時00分 東京交通会館 3階 第1会議室B

(2) 参加者数 36人

(3) 話し合いの流れ

5人程度のテーブルごとに、メンバーを入れ替えながら、下記のテーマに沿って話し合い

①「離れて気づいた札幌の魅力やさっぽろらしさは何ですか？」

↓（席替え）

②「さっぽろ“らしさ”にどのような可能性を感じますか？」

↓（最初のテーブルに戻る）

③「わたしたちが期待する、これからの“さっぽろ”はどんなまちですか？」

↓（話し合った結果をまとめ用紙に書き出し）

全体共有

(4) 主な意見

○「可能性を感じるさっぽろ“らしさ”」（抜粋）

○バランスの取れた街 ○MINI東京からの脱却 ○利便性と自然を兼ね備えている点
○コンパクトで住みやすい ○サッポロはみんなの憧れ ○地下帝国
○山があり、川があり、公園等がある（誰でも入れる） ○四季がそれぞれ美しい ○冬の景色が美しい
○人がやさしい ○人との距離感が心地良い街 ○街中で祭りが好き ○外からの人を受け入れる
○札幌人の新しいものを受け入れるしなやかさ ○天然ものだけで勝負している（特に食べ物）
○食ブランド○他のモノを探す ○道民からの外への発信力が弱い
○札幌の潜在的魅力を発信していくことをもっと ○生活のクオリティが高い ○シニアに優しい
○地元雇用の創造 地場の企業 ○生活環境○雇用×
○雇用創出の一環として起業家を育てる支援をする街 ○札幌が本店の会社を多くする
○農産物の加工分野が弱い ○観光誘致のためのPRをする ○札幌らしい街並みを
○本物が少ない（文化、芸術） ○多国籍かつ安全な街にし、外国人にも活性化をしてもらう
○札幌内で完結していて若者が外に出たがらない ○イベント等を軌道に乗せやすい（熱しやすい）

○「わたたちが期待する、これからの“さっぽろ”」

テーマ	主な意見
都 市	○身近に感じられるまち ○スマートシティ ○本州からの移住（退職後）憧れの街にする ○東京的ではないもの 札幌らしさ？（北欧的なもの？） ○北半球のハブになる様
自 然	○自然が近い
発 信	○北海道独自の発信力を持っている（東京に頼らない） ○食ではない文化を発信
札幌気質	○再開拓精神
暮らし	○道内の我々も道外の皆さんも楽しめる街 ○高齢者が住み良い街 ○シニアにやさしい（特に冬の生活とか）
経 済	○地元雇用の創造 地場の企業
観 光	○別荘地として誘致 ○テーマパークがほしい
創造性	○食以外の札幌発が生み出せる街 ○クリエイティブ ○文化・技術で創造力と発信力のあるまち
その他	○変化じゃない変化を ○常に新しい風が流れこんでいてほしい ○いい意味で「かわらない」まち

8 国際都市さっぽろワールドカフェ

国際都市とはどのような都市か、また、札幌が国際都市を目指す上でのヒントについて、外国籍市民、日本人市民と一緒に、ワールドカフェの手法により、自由に語り合いました。

なお当ワールドカフェは、「札幌市国際戦略プラン」策定の市民参加事業と一体的に実施し、同プランへも意見が反映されています。



(1) 日時・会場

平成24年6月30日（土）14時00分～16時30分
アスティ45 16階 ACU（アキュ）大研修室

(2) 参加者数

100人（外国籍市民等36人、日本人市民64人）

(3) 話し合いの流れ

5人程度のグループに分かれ、下記のテーマについて、順次メンバーを入れ替えながら話し合い

①「あなたが思う国際都市とは？」

↓（席替え）

②「あなたが思う国際都市さっぽろとは？」

↓（最初のテーブルに戻る）

③「さっぽろが国際都市になることでどんな良い変化が生まれますか？」

↓（各自付箋に書き出し）

④「わたしたちが望むこれからの“国際都市さっぽろ”は〇〇なまち！」

↓（話し合った結果をまとめ用紙に書き出し）

全体共有

(4) 主な意見（わたしたちが望むこれからの“国際都市さっぽろ”）

- 人が集うまち・発信のまち
- おしゃれでいき・笑顔あふれるあいさつをする・大志をいだいてクリエイティブ（宇宙規模）・新しい歴史を作るまち
- 自然発生的なまち～国際都市という枠を与えられるのではなく内側から1人1人が～
- 堂々たる2流国際都市
- 世界中の技能者が集まり、長期滞在出来て、楽しめる街
- 北海道の大自然なまち
- 外国人が住みたい・訪れたいまち～国際感覚のある人々が集うまち・学びに行きたいまち・外国人が働き易いまち・世界とつながるまち～
- 幸せなまち→目指せブータン・外国人が集える街、テーマがある街→ストーリー性
- 住みやすいまち～人に優しいまち・ハピネスなまち～
- 心の壁がないまち～ここからはじまる～

9 こどものまち「ミニさっぽろ2011」

札幌市内の小学校3・4年生が仮想の街であるミニさっぽろ市の市民となり、働くことの楽しさや苦勞を体験してもらい、世の中の仕組みなどを学ぶとともに、将来の札幌市の市政の担い手として市民自治の意義について考えてもらうイベント。ビジョン策定における子ども参加の一環で、「ミニさっぽろまちづくりセンター」としてブースを出展し、子どもたちが「さっぽろプロデューサー」として、10年後のさっぽろがどんなまちになってほしいかについて考えました。

(1) 日時・会場

平成23年10月1日（土）～2日（日）

10時00分～16時00分 アクセスさっぽろ

(2) 参加者数

315人（小学校3・4年生）

(3) 実施内容

①5人ごとのグループに分かれ、札幌市を擬人化した「札幌ちゃん」のプロフィールシートを作成

- ・好きな食べ物（札幌の名産品など）
- ・好きな場所（観光スポットなど）
- ・特技（札幌で有名なものなど）
- ・チャームポイント（札幌の特徴、自慢できるところ、住民の気質など）
- ・ニックネーム

② ①で出された意見をもとにイメージした「札幌ちゃん」をデザインする（お絵かき）



③ 10年後のさっぽろがどんなまちになってほしいか、各グループごとに検討

(4) 主な意見

地 域	○笑顔でいられる（明るい）町 ○人口増加（子どもがいっぱい） ○優しい・親切的な町 ○仲が良い町 ○お年寄りにやさしくする町
経 済	○科学・技術が進んだ町（空飛ぶ車） ○食べ物がもっと美味くなる ○元気な町
安全・安心	○事件・事故・争いのない（平和・安全な）町 ○医療が発展している ○老人ホームが増える
環 境	○自然・緑・花がいっぱい ○ごみがなくてきれいな町 ○エコ（環境に優しい・リサイクル）の町
都市空間	○歩きやすく広い道路



10 国際交流ワールドカフェ

国際交流（姉妹都市交流など）を経験したことのある中・高生が一堂に会し、その経験を通じて得られた新たな発見や、札幌と海外の都市の違いなどを語り合ってもら从中から、国際都市さっぽろの未来を考えました。

また、この時期に札幌市内でホームステイしていたアメリカ・ポートランド市グラント高校の生徒5人も参加し、日本の中・高生との交流を図る機会となりました。

(1) 日時・会場

平成24年2月11日（土・祝） 13時00分～16時00分

S T V北2条ビル 6階1～3号会議室

(2) 参加者数

59人（アメリカ・ポートランド市グラント高校の生徒5人を含む）

(3) 話し合いの流れ

①「海外に行ってみて、おもてなしや文化の違いなど印象的なことは何でしたか？」

↓（席替え）

②「海外と交流することでどんな良い影響が生まれますか？」

↓（最初のテーブルに戻る）

③「札幌がもっと世界とつながるには何が必要ですか？」

↓（各自付箋に書き出し）

④「未来の国際都市さっぽろは〇〇なまち！」

↓（話し合った結果をまとめ用紙に書き出し）

全体共有

(4) 主な意見（未来の国際都市さっぽろは〇〇なまち）

- 留学生をたくさん受け入れる、送り出す
- 外国人も住みやすい街づくり
- 未来のさっぽろは「フレンドリー」なまち!
- 文化／日本よりも家族や友人とのかわりが深い。大切にしている
- おもてなし／家族の一員として扱ってくれた
- 色々な国の文化を知り、外国人とふれあうことで世界への関心が深まり自分の視野が広がる
- 札幌にはいっぱい外国人が来るからもっと積極的に話したり交流できるような町
- 外国の友達がたくさんできるまち
- 様々な外国語であふれるまち
- 札幌は雪がきれいで食べ物おいしい!町
- 札幌市民が海外へより関心を持つ国際的なイベントを増やす
- 壁をブチこわす（言葉・文化・法律）
- 国際交流ワールドカフェや、姉妹都市や、姉妹校での提携をもっと盛んにする
- ALTの先生を増やしたりして、国際交流の場を増やす
- 住んでいる人が札幌をよく知ること
- 札幌の良さを海外に発信する
- Facebookでたくさんの人とつながる!!



11 子ども議会

平成23年度子ども議員が、いじめの起きにくい学校づくりや円山動物園の魅力向上など、4つのテーマ別委員会に分かれて札幌のまちづくりへの提案を議論したほか、ビジョン策定における子ども参加の一環として、共通テーマ「10年後の理想の札幌」について、4つの委員会ごとにキャッチフレーズを作成し、子ども議会本会議で提案して市長等と意見交換を行いました。

(1) 日時（子ども議会本会議）

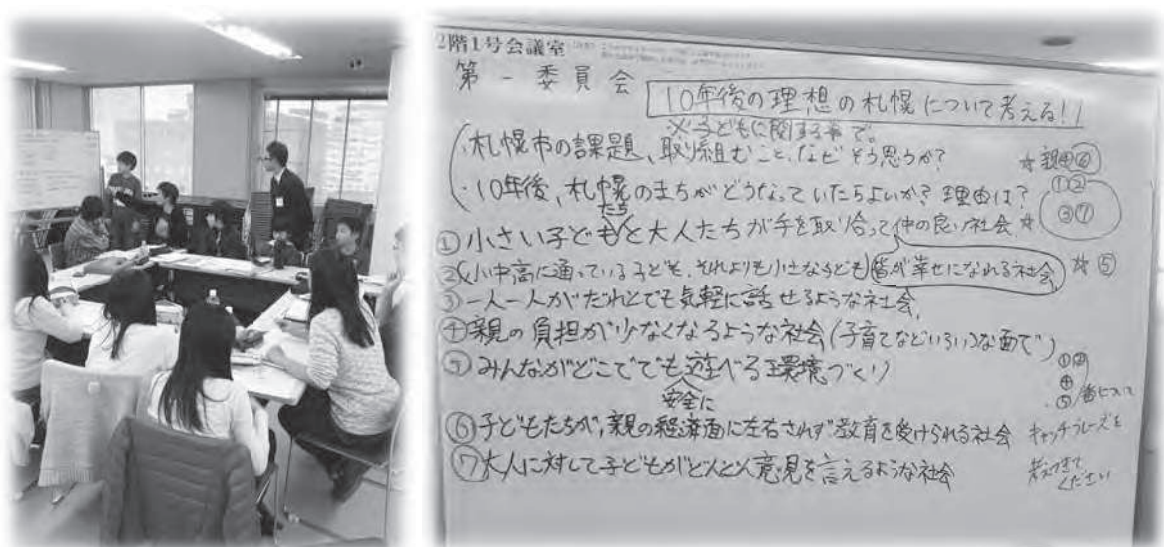
平成24年1月6日（金） 13時00分～15時30分

(2) 参加者数

子ども議員55人（小学5年生～高校生）

(3) 委員会の開催概要

委員会	テーマ	内 容
第1回委員会 【10月8日】	委員会分け	話し合う内容に応じた4つの委員会に分かれ、自己紹介。委員長など役割分担を決定。
第2回委員会 【10月16日】	質問リストの作成	提案したいテーマ（個別テーマ）を候補の中から絞り込み、調べたいことを検討。
第3回委員会 【10月29日】	個別テーマに関する勉強会	テーマに関係する市役所の職員を招いて、勉強会を実施。
第4回委員会 【11月5日】	共通テーマに関する勉強会	「10年後の札幌」について市長政策室の職員と勉強会を実施。
第5～6回委員会 【11月12日・19日】	提案・キャッチフレーズ作成	勉強会での話し合いを基に、札幌市に対する提案（個別テーマ）や「10年後の理想の札幌」についてのキャッチフレーズを検討。
第7～8回委員会 【12月4日・7日】	本会議の練習など	提案やキャッチフレーズの発表などの役割分担を決め、本会議の練習。



(4) 子ども議員の考える「10年後の理想の札幌」キャッチフレーズ（要旨）

親子でSmile つくろうピース （チェンジ☆The School委員会）

- 親子が笑顔で過ごせるような環境になり、みんなで平和をつくって幸せになろう
- 一人一人がパズルのピースのように協力し合い、1つの社会を作り上げ、みんなでVサインできるような札幌にしよう
- 理想の札幌は、次の3つの願いが実現しているまち
 - ・意見が言い合えるなど、子どもと大人が手を取り合える仲の良い社会
 - ・不審者がおらず、地域の人が見守っており、みんながどこでも安全に遊べる環境
 - ・保育園の定員を増やしたり、子どもの就学支援をしたりし、子育て・子育てがしやすい環境

Smile and Peace inさっぽろ～One for all All for one でグッバイ犯罪～

（札幌市民防災意識向上委員会）

- 市民一人一人がみんなのことを考え、人と人が支え合うことで犯罪をなくし、札幌を笑顔であふれ、平和な街にしたい
- 地域で交流を広げ、絆を深めることが、犯罪に走りそうな人を思いとどめたり、犯罪を起こしにくい環境ができる
- 自分のことだけではなく、相手を思いやる気持ちを広げていくことが必要

Shuck off エコ! Shout エコ! （Look Back!エコの話はここからでも始められる委員会）

- 自然豊かなまち、生物と共存するまち、自然エネルギーを利用するまちになってほしい
- 10年後の札幌は「自然と調和し市民が快適に暮らせる生活環境が整っているまち」が目標
- 私たち市民はごみ問題等身近で一人一人ができることを行い、札幌市は自然エネルギーの利用、環境の保護等の大きな目標の実現にむけてまちづくりを進める
- 札幌市と市民が協力して環境にやさしく、環境を利用できるまちを目指したい

great migrate ～住みたくなる街SAPPORO～ （Welcome to 円山Zoo 委員会）

- 札幌を誰もに移住したくなる素晴らしいまちにしたい
- 移住した人たちが見つけた札幌の良いところなどを発信したい
- 観光客や移住者の影響で札幌市の魅力が日本全体に知れ渡り、今よりもっと素晴らしい街になっていると良い



12 「児童会館・ミニ児童会館」における子どもの意見聴取

市内の各児童会館及びミニ児童会館における子ども運営委員会等で、10年後の理想の札幌について、テーマ例（選択制）をもとに、「こうあってほしい」と思うまちの姿を話し合い、みんなで考えた「理想のまち」に向けて自分たちができることを検討してもらいました。

(1) 実施時期

平成24年3月～5月

(2) 参加者数

1,757人（市内の児童会館・ミニ児童会館全館の利用者）

(3) 話し合いの流れ

①どのテーマで話し合うかを決める。

【テーマ例】

（環境）もっときれいなまちにするために

（環境）自然とふれあえるまちにするために

（環境）地球温暖化をふせぐには？

（防犯）安心して暮らせるまちにするために

（防災）大きな地震などが起きたときに、みんなが協力しあえるまちにするために

（子どもの権利）自由に意見が言い合えるまちにするために

（地域コミュニティ）お年寄りが安心して暮らせるまちにするために

（地域コミュニティ）障がいのある人が安心して暮らせるまちにするために

（国際）外国人となかよくできるまちにするために

（その他）自由テーマ

②選択したテーマにおいて、自分たちで考えた10年後の“理想のまち”の様子や特徴について話し合う。

③“理想のまち”に向けて自分たちで出来ることを具体的に考え、話し合う。

④話し合いの結果をまとめ用紙に記載し提出。



(4) 10年後のさっぽろはこんなまち(多かった意見)

テーマ	主な意見
地域	○人とのつながりを大切にし、助け合うまち ○色々な人(老人・大人・子ども・障がい者・偉い人)と交流できる場所・機会 ○みんなが笑顔でやさしいまち ○国際交流・外国語表記
安全・安心	○事件・事故・犯罪のない平和なまち(防犯の強化) ○十分な防災対策(避難場所・備蓄・情報伝達)で災害に強いまち ○病院・医療・福祉の充実(健康) ○老人・弱者にやさしいまち ○バリアフリー・スロープ・手すり・エレベーターの整備
環境	○自然豊かなまち(緑・花・動物・川) ○ごみ(ポイ捨て)のないきれいなまち ○公園の整備・充実(遊具・トイレ) ○エコなまち(自然エネルギーの活用) ○空気のきれいなまち(地球温暖化防止・電気自動車) ○リサイクル(ごみ減量)
都市空間	○道路・外灯(車・自転車・歩行者)の整備 ○交通の整備 ○公共施設の整備・充実(図書館・体育館・児童会館)
その他	○科学技術の発達 ○買い物が便利 ○食の安心・安全 ○世界的に誇れる大都市に ○観光PR・魅力あるまちづくり ○モラル・マナーの向上 ○シンボルタワーテーマパークの建設 ○お菓子でできた家・まち ○いじめ・虐待のないまち ○人口増加(子どもがたくさん) ○きれいな町並み(建物) ○通信の整備 ○音楽が流れているまち ○カラスがいないまち ○自然災害がないまち ○学校の休みを多く ○元気なまち

13 市民参加事業で出された意見とまちづくり戦略ビジョン<ビジョン編>の対応状況

ビ ジ ョ ン 編 構 成		
章構成	記 載 内 容	
第2章 社会経済情勢の変化と札幌	○札幌を取り巻く社会経済情勢の変化 ・人口の将来見通し ・人口減少・超高齢社会を迎える札幌 ・グローバル化の進展 ・地球規模の環境・エネルギー問題の深刻化 ○札幌・北海道の魅力と資源	◆アンケート 【札幌の魅力】 ○「自然」「環境」「景観」 【札幌の課題】 ○「人口減少・少子化・高齢化への対応」「震災への対応や災害に強いまちづくり」「地球環境問題への対応」「経済・雇用対策」 【理想の札幌】 ○安心：安心安全豊かな平和な街、札幌 一生安心して生活できる街 ○自然／自然環境：自然と都会の調和／融合 自然あふれる、笑顔の街 ○住みやすい／過ごしやすい：日本一住みやすい街札幌 ○子ども高齢者：子どもも大人も高齢者も楽しく暮らせるマチ 子どもから老人まで一生を快適に過ごせる街
第3章 私たちが目指す札幌市の将来	■目指すべき都市像 『北海道の未来を創造し、世界が憧れるまち』 ・新たな価値を生み出す創造とチャレンジ ・札幌型ライフスタイルの追求 ・世界に誇る環境首都の実現 『互いに手を携え、心豊かにつながる共生のまち』 ・つながりと支え合いのまちづくり ・道内市町村との連携と魅力創造 ・世界の中での都市の共生	◆市民会議 【支え合い・つながり】 ○いいしょ！一緒に ～支え愛のまち札幌～ (副案) ○世界一思いきりと思いやりのある街 SAPPORO！ ○おいしい自然を活力に、挑戦し続けるまち札幌 ○北の文化発信基地 SAPPORO ○自然豊かで子どもたちの笑顔あふれる環境都市 SAPPORO ○それゆけ！純白都市さっぽろ！！ ◆さっぽろ未来カフェ in 東京 【札幌らしさ】 ○クリエイティブ ○再開拓精神 ○本州からの移住(退職後) 憧れの街にする ○常に新しい風が流れこんでほしい ○大都市でも東京を見習わずオリジナルでほしい ◆国際都市さっぽろワールドカフェ 【活力】 ○世界とつながるまち ○大志をいだいてクリエイティブなまち ○活気で満ちあふれたまち ○新しい歴史をつくるまち 【暮らし】 ○笑顔あふれるまち ○人にやさしいまち ○住みやすいまち ○幸せなまち
第4章 まちづくりの基本目標	第1節 地域 基本目標1 共生と交流により人と人とのつながるまちにします 基本目標2 さまざまな担い手が地域のまちづくり活動に参加するまちにします 基本目標3 多様な地域課題を解決できるまちにします	◆市民会議 【多様な世代が交流し、共生する地域の大家族づくり】 ○子どもと高齢者の交流による多世代が共生する地域コミュニティづくり ○地域の誰もが声を掛け合える共生の地域づくり ○札幌に住み続ける環境を支える施設や地縁、コミュニティ等のきずなづくり ○まちの情報が伝わる場としてのコミュニティサロンやカフェ、レストランづくり 【全ての市民が関わる地域のまちづくり】 ○地域の有償ボランティアによるまちづくりの推進 ○住民がまちづくりセンターを知り、もっと上手に使う ○気軽に参加できる町内会づくり 【高齢者、子どもが元気に暮らせる環境づくり】 ○高齢者が元気に働ける・活躍できる福祉の充実 ◆さっぽろ1000人ワールドカフェ 【共生・つながり】 ○あったかいまち ○多文化共生 ○人とつながる優しい街 ○自立を評価するまち ○世代、障がいの有無、国籍等、関係なく共生できるまち ○いろんな顔・色がある街 【暮らし】 ○自分にあったくらしができる ○誰もが暮らせる街 【コミュニティ】 ○地域でのコミュニケーション作りができる街 【定住環境】 ○一街に定住できる(住環境・働きやすさ) ○人生の最期まで住み続けたいと思える街 ○家族で住み続けることができる快適な街 【人材育成】 ○人が集まるまち ○定年退職の人の活躍の場を ○都会で「田舎」な街(人情の街) ○Face to Face つながる街 ○あいさつ、Smile、対話のある街 →文化づくり！！ ○人がつながれる街

市民参加事業で出された意見（抜粋）

◆さっぽろ1000人ワールドカフェ

【資源・暮らし】

- 都市機能と自然が調和 ○四季がはっきり ○災害が少ない
- キレイで豊富な水 ○ストレス少なく生活できる ○食べ物が美味しい
- 楽しいイベントがたくさん ○女性の自由度が高い

【都市】

- 中心地から1時間程でどこにでも行ける
- 他にはない、独特の雰囲気(ヨーロッパぽさ)
- たくさん雪がふるのに都市機能を保っている

【札幌気質】

- フロンティアスピリット ○OPEN MIND ○合理的
- 歴史が浅くしがらみがない ○新しいもの好き
- 札幌の寛容性は人を引き付け受け入れる

◆さっぽろ未来カフェ in 東京

【札幌の都市ブランド】

- 努力して作ったイメージではない
- 人を引きつける力がある

【住みやすさ】

- コンパクトで住みやすい
- 生活のクオリティが高い
- 日本になれる可能性
- 適度に田舎 適度に都会
- バランスの取れた街
- 札幌は独自性がありそうでない

【札幌の資源】

- 素材の良さ 人・食・自然
- 自然と街が共存した場所
- こんなに近くに自然がある事に地元の人があまり気が付いていない
- 【札幌人の気質】
- 歴史が浅いが色々なものを受け入れる
- 道内の他地域や本州の寄り合い世帯でも受け入れる
- 新しいものを取り入れる精神
- 人の優しさ(ホスピタリティ)

◆さっぽろ未来カフェPJ

【人材・チャレンジ】

- 適材適所の街になる
- チャレンジできる街
- 挑戦を歓迎する場所
- 新しいことを始めるなら東京より札幌
- 様々な人が楽しく生活できる街
- さっぽろに住む人たちが、みんなの幸せに貢献(協力)する街

【札幌の個性】

- 日本になくてはならない都市「さっぽろ」
- ご近所都市さっぽろ
- 人にやさしい街
- 多様な人を受け入れる街、多様な人が住みたいと思う街

◆ミニさっぽろ

【つながり】

- 笑顔でいられる(明るい)町
- 優しい・親切な町
- 仲が良い町
- 【安全・安心】
- 事件・事故・争いのない(平和・安全な)町

【環境】

- 自然・緑・花がいっぱい
- ごみがなくてきれいな町
- エコ(環境に優しい・リサイクル)の町

◆児童会館

【自然・環境】

- 自然豊かなまち(緑・花・動物・川)
- ごみのないきれいなまち
- エコなまち(自然エネルギーの活用)
- 【安全・安心】
- 事件・事故・犯罪のない平和なまち
- 十分な防災対策で災害に強いまち

【つながり】

- 人のつながりを大切にし、助け合うまち
- 老人・弱者にやさしいまち

【文化】

- 観光PR・魅力あるまちづくり
- 音楽が流れているまち

【世界】

- 世界的に誇れる大都市に

◆さっぽろ1000人ワールドカフェ

【創造性】

- クリエイティブなまち ○市民が自らのやりたい事を実現できる街
- 無限色が創れる街 ○スタイルを持って発展する街
- 札幌の良い素材に自ら付加価値を付けて活かす

【札幌気質】

- 夢がかなうまち ○失敗していいまち
- 多様な人々が様々な楽しみが溢れたまち ○前向きでいられるまち
- 金はなくても、市民一人一人がアイデアによって解決していけるまち

【暮らし】

- 自分にあったくらしができる ○誰もが暮せる街
- 心豊かに暮らせる街 ○住みたい、住み続けたいまち
- 人生の最後まで住み続けたいと思える街 ○スローライフの街
- 家族で住み続けることができる快適な街

◆国際交流ワールドカフェ

【国際交流】

- 外国人も住みやすい街づくり ○海外に近いまち
- 未来のさっぽろは「フレンドリー」なまち! ○もっと世界とつながろう!
- 外国の友達がたくさんできるまち ○様々な国の人が自然に共存できる

◆まち「つながる」ワークショップ

【共生】

- つながろうとする意識 ○支援者と要援護者の日常的なつながり
- 小さな役割をつくる ○否定されない安心感 ○世代間交流
- 学校、老人クラブ、子育てサロンのタイアップ
- あいさつ、ごみ出しの手伝い ○マンション住民同士のつながり
- つながりを持とうとしない人への声かけ
- ゆるやかなつながり、距離感 ○地縁の限界、新しいつながりの仕組み

【担い手】

- 女性のパワーを活かす ○町内会の敷居を低く
- 若い人が町内会等に参加 ○高校生はボランティア必須科目に
- イベントのノウハウを伝授 ○NPO や大学がコミュニティの核に
- ボランティアチケット ○SNS 活用 ○学生会のネットワーク
- 町内会、社協、行政との関わりを深める

【コミュニティ活動】

- 子どもとのつながりをつくる ○町内会の法人化
- 年間行事を増やす ○MS 管理会社の活用
- 役割、メリットの明確化 ○イメージ戦略
- 町内会に何を求めているか再考

【場づくり】

- コミュニティの場：児童会館、福まちセンター
- 学校の活用 ○まちセン ○商店街の空き店舗
- コミュニティカフェ ○イベントの多目的化
- 区民まつり、地域ごとの小さなイベント
- 地域の成功例をまとめて周知 ○ワークショップ、しゃべり場
- 誰でも自由に立ち寄れる場所 ○新しい形式のサロン

◆テーマ別ワークショップ

【場づくり】

- 地域での支え合い活動を活性化させるため、多世代が交流できる場づくり
- 町内会や個人の協力などで、いろんな世代が集える場づくり
- 【高齢者】
- 高齢者が生きがいを持ち、人の役に立つ取組や場づくり
- 高齢者の方が外に出たい気持ちになるきっかけづくり
- 高齢者の自立、自律の意識改革の場づくり

◆国際都市さっぽろワールドカフェ

【多文化交流】

- 海外の文化と触れる機会を創り出すこと ○もっと交流して理解しあうことが大切
- 「盆踊り型」の交流。誰でも、途中からでも参加できる
- 外国の方を当たり前に入受け入れる姿勢が大事
- アイヌの文化をもっと世界に知ってもらえれば良いのに

◆さっぽろ未来カフェPJ

【思いやり】

- 思いやりのある人たちが暮らす街さっぽろ
- 多様な人を受け入れる街、多様な人が住みたいと思う街
- さっぽろに住む人たちがみんな幸せである街になって欲しい
- 弱者に優しい街

◆国際交流ワールドカフェ

【多文化共生】

- お互いの文化の違いを受け入れ接し、認め合う
- 他国の文化を学ぶ・理解する・興味を持つ

ビジョン編 構成		
章構成	記 載 内 容	
第2節 経 済	基本目標4 強みを生かした産業が経済をけん引するまちにします 基本目標5 さまざまな連携により産業が高度化するまちにします 基本目標6 市民の雇用が安定的に確保されるまちにします 基本目標7 強みを生かし世界とつながるまちにします 基本目標8 地域コミュニティを支える産業を大切にするまちにします	◆市民会議 【札幌の素質を鍛える観光の育成】 ○札幌の豊かな自然資源を活かした観光の推進 ○ストーリーの見える観光ルートづくり(歴史など) ○郊外の観光資源などをもっと楽しめる着地型の観光ルートづくり ○車に頼らず楽しめるルートづくり(定期観光バスなど) ○食と公共交通を連動し、ターゲット層ごとに発信する観光情報の充実 ○リピーターを増やす活動の推進 【魅力的な産業基盤の育成】 ○魅力的な産業を育てる ○札幌の核となる企業の育成 ○行政による産業支援・育成・活用 ○観光客が買いたくなる加工品の魅力・付加価値の向上 【北海道・札幌の豊かな資源を活かした「食」の産業強化】 ○自然を活かした産業・商業の創造・展開 ○一次加工産業の強化と海外への流通の強化 ○冷凍技術等を活かしたアジアへの加工品の輸出 【魅力的な産業基盤の育成】 ○外貨を呼び込む産業育成 【北海道・札幌を発信し、活力を創出する人材の育成】 ○若い世代が世界(外)に出て成長する仕組みづくり(地元に戻る条件の奨学金制度など) ◆さっぽろ未来カフェ in 東京 【観光・誘致】 ○観光誘致のためのPRをする ○別荘地としてももっと誘致しては？ 【雇用】 ○地元雇用の創造 地場の企業 ○雇用創出の一環として企業家を育てる支援する街 ○札幌が本店の会社を多くする ○札幌発の企業をもっと作れば良い ○雇用を作り出すこと 【人材】 ○外国籍かつ安全な街にし、外国人にも活性化をしてもらう
	第3節 子ども・若者 基本目標9 安心して子どもを生み育てられるまちにします 基本目標10 将来を担う子どもの成長と自立を支えるまちにします 基本目標11 若者が社会的に自立し活躍できるまちにします	◆市民会議 【高齢者、子どもが元気に暮らせる環境づくり】 ○女性が積極的に社会に参加し活動できる子育て支援の強化 【創造性を育むきっかけづくり】 ○子どもの頃から可能性を引き出すきっかけづくり 【北海道・札幌を発信し、活力を創出する人材の育成】 ○起業したい人を札幌に呼び込み応援する ○新しいことをやろうとする人を応援する「チャレンジできるまち」づくり ○企業による、将来の札幌経済を支える人材となる学生の教育の推進 ◆さっぽろ未来カフェPJ 【教育】 ○子どもから大人まで教育で街を変える ○学校でいろんな人が集まるワールドカフェ ○父親ネットワーク強化 【多主体交流・教育への参加】 ○学校を開放し地域コミュニティへ ○学校の先生もいろんな人と交流する視野を広げる ○PPTAの実現(元気な高齢者の活躍) 【若者】 ○社会を担っている大人(社会人)と、未来を担う若者(学生)が「つながり」を持つことが大切 ○Uターンして起業を目指す環境のある町、コワーキング・スペースで ○Welcome Uターン。出るのを止めるのではなく、もどりやすくする ○仕事の少なさ→起業家を増やして活性化する! ○若い世代にシゲキを ◆子ども議会 【子育て・子育て】 ○保育園の定員を増やしたり、子どもの就学支援をしたりし、子育て・子育てがしやすい環境をつくる

市民参加事業で出された意見（抜粋）

◆さっぽろ1000人ワールドカフェ

【経済の活性化】

- 経済がうるおう街(観光・リゾート)
- 商売上手なさっぽろ
- 札幌らしさ、札幌の良さをビジネスとして生かせるまちに！
- すすきの活性化！ ○IT・デジタル都市(モデル都市)
- コーディネート産業(ツアーや企画もの、技術者・資格者をつなげる育成も含・・・)
- 外貨を稼ぐ街 ○企業誘致(海外も)
- 世界中の人々が集まってきて、街を活性化させる

【人材】

- 札幌で働くことに魅力を感じさせたい！！
- 優秀な人材がもどってきやすい街
- 仕事をしやすく！特色を活かした仕事をできる環境に！
- 発信している人と何かやりたい人をつなぎ、挑戦する人々を支える交流の場を！
- 「キッカケ」をつなげられるまち

【女性】

- 女性の社会進出、子育てに優しい、理解ある街になって欲しい！
- 女性がメインのまちづくり
- 札幌は女性がはたらきやすい街 →この強みをもっと活かしては

◆さっぽろ未来カフェPJ

【食資源の活用】

- 食について考える機会をもっとふやしてほしい
- 札幌産の野菜をもっとアピールしてほしい
- 生産の場と家庭を結び取組を多くしてほしい
- 各イベントと食のコラボをしたらいい ○子どもに農業体験を
- 北海道の野菜を給食でどんどん食べさせたい

【女性】

- 女性が生き生きすると新しい産業が生まれる
- 結果を求めない、恐れず行動する女性が輝くと街が生き生きする
- おしゃれが景気を救う

【ワークライフバランス】

- 仕事とプライベートのバランスが取れていることで、意識が上を向いて行動につながる
- 仕事と生活のバランスを自分らしく調整できる街

【人材・雇用・札幌の活性化】

- 東京などでのキャリアを生かし、新しいことに挑戦できるまち
- 挑戦して失敗した場合の再チャレンジができる仕組み
- 地場産業の活性化による雇用創出
- 雇用のある街であって欲しい
- 街の活性化のために起業を促進する必要がある
- 札幌で起業したいと思わせる何かがある街
- さっぽろが元気になることで、日本の元気をリードできる輝く街に

◆国際都市さっぽろワールドカフェ

【資源の活用・ブランドの創造】

- 食を通じた国際交流
- 日本人、外国人いろんな人が住む、多様性が必要。そのなかから新しい文化やビジネスが生まれる
- 札幌をブランド化しよう ○北海道を国際特区に
- 東京集中をやめて、北海道の良さをアピールして企業にきてもらう

【雇用・人材】

- 外国人の雇用を増やす
- 外国人の企業採用を増やせば、札幌の企業も大きく成長し、札幌人の採用も増える
- 海外の人が住みやすい所にする
- 国際都市のためには仕事が増えることが大事

◆国際交流ワールドカフェ

【経済】

- 札幌から海外への行き来しやすく(直行便)
- ショップ店員が英語を話せる
- 外国語対応のお店が増えるといい

◆児童会館

【経済】

- 観光PR・魅力あるまちづくり
- 科学技術の発達
- 北海道企業の活性化
- 働く場が多くあるまち

◆ミニさっぽろ

【科学技術】

- 科学技術が進んだ町(空飛ぶ車)

【国際交流】

- 外国とふれあう町

◆テーマ別ワークショップ

【子育て支援】

- 子育てのボランティア制度の拡充
- 安心して子育ての相談ができる情報サービスの充実
- 子育ての総合センターづくりと、オープンな運営の構築
- 産科医、産院がもっと増えるような支援策
- トラブル、治療を必要とする妊婦への支援の強化
- 育児休業者を抱える企業への支援
- 社会・企業の「子育て支援」のPR
- 保育環境の支援 ○働く女性の最低賃金アップ、助成
- 家庭教育学級など親の学び場の増加 ○父親参加の親子教室

【教育環境・学校のあり方】

- 企業と連携した子どものボランティア体験の場づくり
- ふれあいサロンの充実で高齢者と交流
- 地域に開かれた学校づくり
- 小学校の空き教室を利用して、町内会・老人会との交流や保育園としての活用
- 地域の中で、子どもが安心して遊べる場所を増やす
- 財政、環境問題の教育を通じ、共同社会のリーダーを育成
- 土曜日の学校再開 ○子どもの権利の優先
- 子ども(15歳以上)のための就業体験機会の提供
- 高齢者を支える人材の育成と教育環境の充実
- 高校生への理解を深めるために、研修制度(義務化)や体験の場づくり
- 小・中学校でボランティアの教育

◆児童会館

【子ども】

- 子育てが楽しいまち ○人口増加(子どもがたくさん) ○教育の充実
- 外で遊ぶ子どもが多いまち ○いじめ・虐待のないまち

◆さっぽろ1000人ワールドカフェ

【子ども】

- 子育てがしやすい街
- 未来や子どもたちにもよりよいまちを
- 子ども目線にたったまちづくり
- 子どもがノビノビできるまち
- 特色ある教育

【若者】

- 若者が働く場や女性が輝く場をもっとつくっていきましょう
- 才能ある若者にチャンス・夢・希望を与える
- やる気ある大学生が残るまち
- 積極的に若者が外へ(海外 etc)出ていくためのサポート

◆国際交流ワールドカフェ

【国際教育・交流】

- 教育制度の改善
- 壁をプチこわす(言葉・文化・法律)
- ホームステイをすることで外国の文化を学べると同時に、自分の国の魅力にも気づくことができる
- ホームステイをすることで外国の友達がいっぱいできる
- 国際交流ワールドカフェや、姉妹都市、姉妹校での提携を盛んに
- ALTの先生を増やしたりして、国際交流の場を増やす

◆まち「つながる」ワークショップ

【多世代交流】

- 中高生が活動できる場(異世代)
- 子どもが大人とかかわる
- 三位一体で地域の子どもを見守る ○おせっかいおばさん
- 子ども会の役割

ビジョン編 構成		
章構成	記 載 内 容	
第4節 安全・安心	基本目標12 誰もが健康的で安心して暮らせるまちにします 基本目標13 地域防災力が強く災害に強いまちにします 基本目標14 安全な日常生活が送れるまちにします	◆市民会議 【安全・安心な暮らしを守る生活環境づくり】 ○危機管理の出来るコミュニティづくり ○私たちが考え、行動する安全・安心なまち 【高齢者、子どもが元気に暮らせる環境づくり】 ○誰もが安全安心に暮らせるユニバーサルデザインのまちづくり ◆さっぽろ1000人ワールドカフェ 【安全・安心】 ○医療、子育て、雇用も手に入る ○安心・安全な街(食・人・水・空気) ○犯罪などない安全な街 【福祉】 ○障がいのある方や高齢の方に対して思いやりのあるまちづくり 【防災・災害支援】 ○災害に備えるまちづくり ○日本の復興のNo.1の牽引役 札幌 ○被災地の若者(家庭)を呼び、最終的に住んでいただく ○津波の被害にあった人を呼び込んで! ◆ミニさっぽろ 【安全・安心】 ○お年寄りにやさしくするまち ○医療が発展している ○老人ホームが増える ○事件・事故・争いのない(平和・安全な)町
	基本目標15 豊かな自然と共生するまちにします 基本目標16 資源やエネルギーを有効活用するまちにします 基本目標17 市民が環境について学び行動するまちにします	◆市民会議 【自然を活かすまちづくり】 ○市全体として、札幌の特色を活かした自然特区の指定を目指す ○自然に触れたい整備(公園・観光資源)の推進 【自然・みどりを増やすまちづくり】 ○都市型自然環境づくり・河川・緑地帯の形成 ○市民による市民の森づくり「毎年1本植樹」 ○人工物を活かしながら自然を再生する取組の推進 【世界に誇れる環境に配慮したまちづくり】 ○日本で一番住みたいまちから世界で一番住みたいまちを目指す ○環境会議の誘致 【再生可能エネルギーを活かした安全安心なまちづくり】 ○小河川ダム、小風力、太陽光、地熱など、自然を活かしたエネルギーの導入 ○積雪寒冷地の特性を活かした雪のエネルギー資源としての有効利用 ○原子力や化石燃料に頼らない再生可能なエネルギーを活用した省エネルギーなまちを目指す 【世界に誇れる環境に配慮したまちづくり】 ○世界でもいち早くCO₂抑制が出来る街の実現 ○エコカー・公共交通の利用促進(料金の値下げ) 【自然・みどりを増やすまちづくり】 ○自然を大切にする環境教育・ふれあい学習の推進 ◆子ども議会 【自然環境】 ○自然豊かなまち ○自然と調和し市民が快適に暮らせる生活環境が整っているまち ○生物と共存するまち 【資源・エネルギー】 ○自然エネルギーを利用するまち ○私たち市民はごみ問題等身近で一人一人ができることを行う ○自然エネルギーの利用、環境の保護等の大きな目標の実現にむけてまちづくりを進める ○官民が協力して環境にやさしく、環境を利用できるまちを目指す

市民参加事業で出された意見（抜粋）

◆テーマ別ワークショップ

【福祉】

- ボランティアの情報発信、声かけの充実
- 介護保険を利用しやすい使い方、申請方法のPR
- お年寄りに分かり易い情報提供、発信の工夫
- 区単位でわかりやすい相談窓口を設置
- 高齢者の住環境の充実（暮らしの実態に合った入居のあり方）

【防災】

- 防災、災害情報の伝達を充実させる、多様な提供方法
- 家族連れや若者も楽しみながら参加できる防災イベントの企画、実施
- 出前講座の取組、様々な手段やメディアを使った啓発
- 防災に係る学習機会の充実
- 行政ができる範囲、限界を明確に市民に伝える
- 災害グッズのPR、安く定期購入できる仕組み
- 地域特性に応じた防災情報・マップ

【バリアフリー】

- 高齢者が安心して外出できる施設や公共交通のバリアフリー化や除雪の充実

【見守り】

- 若者を活用した除雪ボランティア
- 子どもの通学路の安全の確保
- 身近な地域で身構えないボランティアと、頼みやすい環境づくり（需要と供給のマッチング、研修の充実）
- 地域で支え合う仕組のマニュアルづくり
- もっとたくさんの人が高齢者の生活サポートや見守りに参加できるしくみ

◆子ども議会

【防犯】

- 不審者がいない
- 笑顔で安心して暮らすためには、犯罪をなくすことが特に大切
- 地域で交流を広げ、絆を深めることが、犯罪に走りそうな人を思いとどめたり、犯罪を起こしにくい環境ができるということなどに繋がり、そこから犯罪のない街が広がっていく
- 犯罪をなくし笑顔であふれた平和な街にしていきたい

◆さっぽろ未来カフェPJ

【食の安全】

- 食の安全・大切さを後世に伝えていきたい
- 食品添加物に対する意識

【防災】

- 緊急時の事に対して普段から互いに意識できるまち
- 在住外国人の不安 ○情報は英語でも伝えて

◆児童会館

【安全・安心】

- 老人・弱者にやさしいまち ○病院・医療・福祉の充実（健康）
- 食の安全・安心 ○事件・事故・犯罪のない平和なまち

【防災】

- 十分な防災対策（避難場所・備蓄・情報伝達）で災害に強いまち

【バリアフリー】

- バリアフリー・スロープ・手すり・エレベーターの整備
- ユニバーサルデザイン

◆テーマ別ワークショップ

【みどり】

- 子どもの利用が少ない公園の遊具の撤去と緑化の推進
- 雪の多い都市ならではの緑化のPR
- 「一軒一鉢運動」と補助・支援
- 空地を活用して市民農園をつくる
- ガーデニングを通じた地域活性化
- 表彰制度でモチベーションアップし、市民の緑化の推進
- 地域内で四季を楽しめる通りづくりと自主管理
- みどりに関する環境教育
- 市民の緑化への関心を高めるソフトプログラムの充実
- 専門家による知識の普及啓発

【公共交通】

- 公共交通機関を安くして車を使わない暮らし
- 自転車、バス、市電などの省エネ交通政策

【低炭素】

- 家庭の目標値を共有化してCO₂削減
- 市民の環境学習機会・場の充実
- 行政・企業のモデル的な取組
- 電気を使わない機会の創出など、省エネ意識の普及啓発
- 札幌らしい冬のファッションスタイルの発信
- 夏の省エネに力を入れる

【新エネルギー】

- 雪の有効利用
- 自然エネルギー転換はリスクの説明とビジョンが必要
- エコカー、エコ住宅の普及・助成（ちょっと割高でも取り入れる）

◆児童会館

【環境】

- 自然豊かなまち（緑・花・動物・川）
- リサイクル（ごみ減量）
- エコなまち（自然エネルギー活用）
- 空気のきれいなまち（地球温暖化防止・電気自動車）

◆さっぽろ1000人ワールドカフェ

【自然環境】

- 自然を増やすー活かす
- 自然環境を利用して経済を元気に
- 市民が自然とふれあうまち
- 自然ありながらの都市
- 生物多様性が維持される

【エネルギー】

- 原発にたよらないまち
- クリーンエネルギー（太陽・雪・波）の先進地に

【先進性】

- 新たな技術を開発して環境リーダー都市として世界に発信
- スローライフ都市宣言（特区活用）
- 環境の保全が未来にわたってなされるエコタウン
- 自転車にフレンドリー 走りやすく→環境にやさしい
- クリーンな街 車・バス・市電（→充実！）

◆ミニさっぽろ

【自然・エコ】

- 自然・緑・花がいっぱい ○小鳥がいっぱい ○人が自然の中に住む
- 創成川がきれい ○水がきれい
- エコ（環境に優しい・リサイクル）の町

◆さっぽろ未来カフェPJ

【自然環境】

- 熊と虫と共存できる街づくり
- ネイチャーコンパクトシティ

◆国際都市さっぽろワールドカフェ

【自然環境】

- 自然の魅力アピール、自然の共存は世界中でも札幌はアピールポイントなのに売り切れていない

ビジョン編 構成		
章構成	記 載 内 容	
第6節 文化	基本目標18 創造的な活動により活力あふれるまちにします 基本目標19 文化芸術やスポーツの魅力によりにぎわいが生まれるまちにします 基本目標20 市民一人一人が魅力を再認識し発信するまちにします	◆市民会議 【札幌の個性・文化】 ○市民が学び育てる『さっぽろ文化』づくり ○市民の気づきを通じて内側から湧き出すまちの魅力づくり 【さっぽろ発のアート・カルチャーの発信】 ○雪まつりと連動した地域イベント(雪灯り・キャンドル祭りなど) ○ファッションと食をテーマにした新たなさっぽろ文化づくり ○パティシエの世界大会など特色ある食文化の創造 ○食文化と芸術文化のつながりづくり ○さっぽろの木である「ライラック」をもっと前面に押し出す、活用する 【さっぽろを知る・さっぽろから学ぶ教育】 ○自分の住んでいる地域(足元)を見つめ直す ○札幌の過去・歴史を学ぶ教育機会の普及・展開 ○食育等の取組を通じた北海道・札幌を支える農業を学ぶ機会の提供 【創造性を育むきっかけづくり】 ○アイデアを実現・広げていく環境・機会の提供 ○資源を活かした個性の育成(近隣の自然や産物等) 【市民が生活を通じて楽しみ、育て、発信する札幌ブランドづくり】 ○ムリな発信に頼らず、自然と広まる『札幌の良さ』を今ある資源から育てていく、高めていく ○現在の札幌の資源・環境の良さ・価値への気付き・再認識を促す ○生活の中で札幌の良さに触れ、楽しむことができる機会を生み出す ○「札幌ブランド」など、資源・価値を再認識し、共有するきっかけとして、『地域資源認定制度』を創設する 【札幌の良さが広がる仕組みづくり】 ○戦略的なPRのためのプロジェクトチームづくり ○企業とのタイアップと市のバックアップ ○札幌を良く知る人材が世界に札幌を発信し、もっと世界の人に札幌に来てもらう 【市民が札幌を理解する教育機会の提供】 ○市民が札幌をより学ぶことで発信力を高め、街の質を高める ○市民が札幌の資源を理解する場・機会の創出 ○文化を学び、発信できる教育機関の設置 ○教育を通じて札幌市の内側を強化する
	基本目標21 公共交通を中心とした集約型のまちにします 基本目標22 札幌の顔となる魅力と活力あふれる都心にします 基本目標23 都市の価値を高めるみどりを生かしたまちにします 基本目標24 都市基盤が適切に維持・保全されるまちにします	◆市民会議 【安全・安心な暮らしを守る生活環境づくり】 ○快適・安心な生活を支えるコンパクトなまち 【世界に誇れる環境に配慮したまちづくり】 ○自転車道路の増設 【創造性を育むきっかけづくり】 ○人材の輩出(芸術・学問) 【さっぽろ発のアート・カルチャーの発信】 ○地下道などの空間をアート発表の場にする 【自然・みどりを増やすまちづくり】 ○都心縁辺のグリーンベルト帯の創出 【北海道・札幌の豊かな資源を活かした『食』の産業強化】 ○市内の農地増加による農業の拡大

市民参加事業で出された意見（抜粋）

◆さっぽろ1000人ワールドカフェ

【創造性】

- 市民が自らのやりたい事を実現できる街
- クリエイティブなまち
- 普通の人がクリエイティブになって新しい札幌ブランドを生みだしていける街

【芸術文化】

- 音楽とビールが似合う街
- 札幌発のサブカルチャー
- Art, Fashion の街

【スポーツ】

- スポーツを大いに押すまち
- ウィンタースポーツ
- プロの選手と交流できるまち(ファイターズ、コンサ)

【発信】

- 皆が観光大使
- 札幌発のエンターテインメント
- 強いマンパワーをもっとアピールへ活かすべき
- 自分を知る、自分の街に興味を持てるようにする
- 魅力をアピールできる街
- みじかな魅力をPRする
- “札幌のよさ”を市民全員が言えるまち

◆子ども議会

【移住促進】

- たくさんの人に移住してもらい、札幌の魅力を他の人たちに伝え、広めてもらいたい
- 札幌市の魅力は移住してきた人のほうが見つけれられる
- 長く滞在してもらうことで、観光マップにのっていない観光地や、短い期間では見つからない札幌の魅力、私たち地元の人気づけない札幌市の魅力を見つけてもらう
- 口コミや広告のサイトを立ち上げ、移住した人たちが見つけた札幌の良いところなどを書き込めるようにしたい
- 観光客や移住者の影響で札幌市の魅力が日本全体に知れ渡り、今よりもっと素晴らしい街になっていると良い

◆さっぽろ1000人ワールドカフェ

【コンパクト】

- さっぽろで全てが完結してしまうくらい便利
- 大きすぎず丁度良い規模の街

【公共交通】

- 拠点拠点のアクセスを良くする
- 人と自然の都心(市電・トランジットモール・自転車道)

【街並み】

- テレビ塔などモニュメントの存在感がある街
- まちの景観、古き良きものは残してほしい
- 絵に描きたくなるような街

◆国際都市さっぽろワールドカフェ

【市民が札幌を知る】

- 札幌市民が札幌を知ること
- さっぽろをPRできるように知ることが大切である
- 自分の住んでいる街のこと(イベント、観光など)をもっともっと知る事が大事
- 世界に発信する力を使って、札幌の魅力をPRすべき

◆さっぽろ未来カフェPJ

【スポーツ】

- ジョギングが増える ○2020年札幌冬季オリンピック
- スポーツが街の活性化のキーポイントになる

【札幌を知る・学ぶ】

- もっと札幌について学ぶ場が欲しい
- 自分のマチに誇りを持っている人がたくさんいるまち
- 可視化して面白い魅力=資源を発信

◆国際交流ワールドカフェ

【札幌の特性】

- 札幌は雪がきれい食べ物おいしい!町
- 札幌市民が海外へより関心を持つ国際的なイベントを増やす

【札幌の良さ】

- 住んでいる人が札幌をよく知ること ○札幌の良さを海外に発信する
- 雪まつりは外国と交流できるいいチャンス!
- Facebookでたくさんの人とつながる!!

◆さっぽろ未来カフェ in 東京

【創造】

- 本物が少ない(文化、芸術) ○新しく作る 確認する

【文化】

- 札幌発信のイベントを開催する ○夏も冬もスポーツが楽しい

【発信】

- 札幌は魅力的な街なので、どんどん情報を発信したほうが良い
- もっと札幌の魅力を多くの人に気づいてほしい
- 札幌らしさのPR

◆さっぽろ未来カフェ in 東京

【街並み】

- 札幌らしい街並みを ○街並みをもっとデザインしては?

【コンパクト】

- コンパクトで住みやすい

◆児童会館

【街並み】

- シンボルタワーテーマパークの建設 ○きれいな街並み(建物)

◆ミニさっぽろ

【都市】

- 歩きやすくて広い道路 ○時計台を直す ○ごみがなくてきれいな町
- 今あるいいものは残してほしい ○都会 ○高層ビル

ビジョン編 構成		
章構成	記 載 内 容	
第5章 ビジョンの推進にあたって	市民が主役のまちづくり	◆市民会議 【全ての市民が関わる地域のまちづくり】 ○言うべきことを言える場づくり ○市民会議のように市民が語り合う ALL さっぽろプロジェクト ◆まち「つながる」ワークショップ 【参加・語り合い】 ○ワークショップ、しゃべり場 ○集まって話すことが重要 ◆国際交流ワールドカフェ 【語り合い】 ○ワールドカフェを色々なところで広める
	まちの活力を高める人づくり	◆市民会議 【創造性を育むきっかけづくり】 ○子どもの市民会議を開催する ◆さっぽろ 1000 人ワールドカフェ 【人材育成】 ○人材育成のまち ○自分の土俵を作る ○第二の新渡部稲造の育生、誕生 ○すべての人を大切にする街!!～それぞれが自分らしく生きる街～ ◆子ども議会 【多世代交流】 ○意見が言い合えるなど、子どもと大人が手を取り合える仲の良い社会
	北海道と共に発展する札幌	◆市民会議 【北海道の中心地としての札幌の食文化づくり】 ○道産食材を活用した北海道・札幌の食文化づくり ○北海道の豊かな資源の価値を再確認し、伸ばす地産地消の推進 ○道産食材を発信できる人材育成プログラムづくり ○「おもてなし」の環境(心、お店など)を整えるプロジェクトの推進 【北海道の良さが札幌から広がる資源の積極的な活用】 ○道産食材の活用・安価に利用できる仕組み作り ○資源の活用を通じた北海道全体の活性化 【北海道・札幌の豊かな資源を活かした『食』の産業強化】 ○まちなかの『北海道の食のショーケース』づくり(加工料理市場) 【北海道・札幌を発信し、活力を創出する人材の育成】 ○北海道を PR できる人材の育成 ◆国際都市さっぽろワールドカフェ 【食文化の発信】 ○農業と食を結びつけて北海道独自の食文化を発信してはどうか
	限りある資源の有効活用と共創	◆市民会議 【自然を活かすまちづくり】 ○公園管理・運営の民間委託(雇用創出・自然活用)

市民参加事業で出された意見（抜粋）

◆さっぽろ1000人ワールドカフェ

【市民自治】

- 市民どうしが活発に対話できる街
- 市民の声が通るまち
- 考え、行動し、支えあう札幌市民が暮らすまち
- 区ごとのワールドカフェ、コミュニティカフェ、コミュニティレストラン
- いつでも、どこでも札幌を語るワールドカフェのあるまち！
- これからみんなで考えていくことができる街
- つなぐ・つなげる・つながれるまち
- 参加するまち・参加できるまち
- まちづくりセンターを核とした地域連携
- コミュニケーションのバリアフリーがある街
- 市民自治のまち 市民がつくる街

◆さっぽろ未来カフェPJ

【市民自治】

- 市民が主人公であることを大切にする街であって欲しい
- 街に居る人たちが主体的に行動する街「さっぽろ」
- 未来カフェのような意見交換ができる場がもっと増えて、市民や女性の声を聞いて今後の街づくりに活かしてほしい
- 一人一人の貢献が地域の成長に結び付く

◆国際都市さっぽろワールドカフェ

【語り合い】

- 話し合うまち

◆国際交流ワールドカフェ

【国際教育】

- 教育制度の改善
- 日本の外国語教育の見直し
- ALT (Assistant Language Teacher) の先生を増やしたりして、国際交流の場を増やす
- 海外に行く(異文化を知る)事で、自分の視野を広げ、日本・札幌の良さを再発見できる
- 留学できる機会を増やす
- もっと多くの人にホームステイ経験をしてほしい
- 日本の外国語教育の見直し

◆さっぽろ未来カフェPJ

【市民自治】

- 人と地域に役立つこと
- 自己確立、人と社会に認められること
- 人を活き活きさせる、その結果、自分も生かされる
- 適材適所の街になる

◆国際都市さっぽろワールドカフェ

【国際教育】

- 教育(国際人)が重要
- 小学生から英語だけでなく色々な国の人と関わる
- 留学生と日本人のEXCHANGEは大切です
- 札幌の人が積極的に世界に出ていくこと

◆さっぽろ未来カフェPJ

【資源】

- 食だけでない北海道のブランド化(コスメブランドなど)

【経済循環】

- 札幌のライフスタイルが北海道・地域をエンパワメントするように
- 生産者を応援する
- 私たちが、地産地消に積極的になること
- 生産の場と家庭を結び取組を多くしてほしい
- 北海道の野菜を給食でどんどん食べさせたい
- 北海道の食材をいかした料理教室で食育も伝える

【発信】

- 北海道、札幌に住む私たちが食材の豊富さ美味しさ新鮮さに気付く
- 北海道の食材をもっとアピールする方法を考案・実践したい

【地方都市との連携】

- 北海道の他地域との連携で札幌がイキイキ出来る
- 都市と都市との架け橋を担う、頼れる街

◆さっぽろ1000人ワールドカフェ

【北海道】

- 中心となって北海道全体を元気にできるまち(ハブ的役割)
- 北海道を背負って立つさっぽろ
- 夕張市との連携
- 北海道のindex(ハブ)になれる街
- 都会の心地良さはそのままに、地域内、地域外とつながりをもてるまち
- 地方の人・モノ・情報が集まり、案内できる
- 実際に送りだすリーダー役と一緒に発展していく！＜連携＞
- ニセコと札幌の連携
- 地方のおかげで札幌がある！
- 北海道の顔らしくキレイで誇れるまちであってほしい
- 北海道の情報発信基地
- 他の地域も一緒に上げていこう

Ⅲ パブリックコメント手続

戦略ビジョンのうち、目指すべき都市像や基本目標についてまとめた<ビジョン編>（案）について、平成24年12月5日（水）から平成25年1月4日（金）までの31日間、市民の皆様からのご意見を募集し、いただいたご意見を参考に、当初案を一部変更しました。

なお、ご意見の概要と、それに対する札幌市の考え方については、別冊「札幌市まちづくり戦略ビジョン<ビジョン編>パブリックコメント意見集」に掲載しています。

1 意見募集実施の概要

(1) 意見募集期間

平成24年12月5日（水）から平成25年1月4日（金）まで

(2) 意見提出方法

郵送、FAX、Eメール、ホームページ上の意見募集フォーム、持参

(3) 資料の配布・閲覧場所

- ・札幌市役所本庁舎
1階ロビー／2階市政刊行物コーナー／10階市長政策室政策企画部企画課
- ・各区役所（総務企画課広聴係）
- ・各まちづくりセンター
- ・札幌エルプラザ
- ・ちえりあ（札幌市生涯学習センター）
- ・札幌市内各小中学校【子どもの意見募集用小冊子】
- ・札幌市内児童会館【子どもの意見募集用小冊子】
- ・札幌市ホームページ

2 パブリックコメント（大人の意見）の内訳

(1) 意見提出者数・意見件数

146人・384件

(2) 年代別内訳

年代	19歳以下	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	不明	合計
人数	7人	29人	33人	26人	17人	14人	6人	14人	146人
件数	17件	71件	79件	69件	60件	43件	15件	30件	384件

(3) 提出方法別内訳

提出方法	持参	HP	郵送	Eメール	FAX	合計
提出者数	62人	31人	30人	18人	5人	146人
構成比	42%	21%	21%	12%	3%	100%

(4) 意見内訳

分 類	件数	構成比
全体	25	6.5%
第1章 はじめに	5	1.3%
第2章 社会経済情勢の変化と札幌	29	7.6%
第3章 私たちが目指す札幌市の将来	12	3.1%
第4章 まちづくりの基本目標	283	73.7%
第4章全般	11	
第1節 地域 ～つながりと支え合い～	23	
第2節 経済 ～暮らしと雇用を支える～	52	
第3節 子ども・若者 ～健やかに育む～	52	
第4節 安全・安心 ～人に優しいまち～	38	
第5節 環境 ～次世代へ引き継ぐ～	30	
第6節 文化 ～創造性を育む～	30	
第7節 都市空間 ～魅力と活力のある都市の形成～	47	
第5章 ビジョンの推進に当たって	14	3.6%
その他	16	4.2%
合計	384	100%

※札幌市まちづくり戦略ビジョン＜ビジョン編＞（案）の構成に沿って分類

3 キッズコメント（子どもの意見）の内訳

(1) 意見提出者数・件数

1,233人・2,369件

(2) 学年別内訳

学年	人数
小学4年生以下	14人
小学5年生	149人
小学6年生	657人
中学1年生	108人
中学2年生	97人
中学3年生	203人
不明	5人
合計	1,233人

(3) 主な意見内訳

順位	分 類	件数	構成比
1	再生可能エネルギー・省エネルギーに関すること	194	8.2%
2	高齢者の見守り・支え合いに関すること	160	6.8%
3	冬道の安全に関すること	155	6.5%
4	自然との共生に関すること	140	5.9%
5	遊び場に関すること	139	5.9%
6	景観保全に関すること	101	4.3%
7	防災に関すること	88	3.7%
8	公共交通に関すること	87	3.7%
9	魅力の創造・発信に関すること	78	3.3%
10	多世代交流・交流の場づくりに関すること	77	3.3%
11	防犯に関すること	63	2.7%
12	いじめ・不登校に関すること	49	2.1%
その他	人口減少に関すること ※人口減少について記載があるものを別集計	141	6.0%

※内容別に分類し、意見件数の多かった上位12分類を掲載

4 意見に基づく当初案からの変更点

市民の皆様からいただいたご意見をもとに、当初案から35項目修正いたしました。また、他のご意見についても、戦略ビジョンを推進する上で、可能な限り取り入れていきます。

箇所	修正前	修正後
P2 躍動期 6行目	また、この時期には、姉妹・友好都市提携を結んだポートランド市、ミュンヘン市、瀋陽市、ノボシビルスク市との間で、文化、スポーツ、教育、経済などの幅広い分野で交流が行われるなど、国際都市へと大きく発展を遂げました。	また、この時期には、姉妹・友好都市提携を結んだポートランド市、ミュンヘン市、瀋陽市、ノボシビルスク市との間で、文化、スポーツ、教育、経済を始めとした幅広い分野で交流が行われるなど、国際都市へと大きく発展を遂げました（平成22年（2010年）には、大田広域市と提携）。
P5 「3 位置づけ」 1行目	戦略ビジョンは、これまでの札幌市基本構想と第4次札幌市長期総合計画に替わる新たなまちづくりの <u>基本的な指針となるもの</u> であり、札幌市のまちづくりの計画体系では、幅広い分野にわたる総合計画として最上位に位置付けられます。	戦略ビジョンは、これまでの札幌市基本構想と第4次札幌市長期総合計画に替わる新たなまちづくりの <u>基本的な指針として、札幌市自治基本条例第17条の規定に基づき策定するものであり、</u> 札幌市のまちづくりの計画体系では、幅広い分野にわたる総合計画として最上位に位置付けられます。
P25 「(1) 市民の愛着」 2行目	その理由としては、「豊かな自然」、「はつきりした四季の変化」が多く挙げられ、「整備された公共交通機関」、「便利な都市施設」が続いています。	その理由としては、「豊かな自然」、「はつきりした四季の変化」が多く挙げられ、「整備された公共交通機関」、「便利な都市施設」、「 <u>美しい街並み</u> 」が続いています。
P33 1行目 見出し	札幌型ライフスタイルの <u>確立</u>	札幌型ライフスタイルの <u>追求</u>
P33 ＜札幌型ライフスタイルの追求＞ 本文	芸術の薫り漂う、札幌ならではの個性と楽しさにあふれる都市文化と、うるおいのある豊富な自然環境の中で、創造的に暮らす、世界が憧れる札幌型のライフスタイルを <u>確立</u> し、その魅力を発信します。	芸術の薫り漂う、札幌ならではの個性と楽しさにあふれる都市文化と、うるおいのある豊富な自然環境の中で、 <u>多様な文化や新しいモノを取り入れ、新しいコトに挑戦していくなど、</u> 創造的に暮らす、世界が憧れる札幌型のライフスタイルを <u>追求</u> し、その魅力を発信します。
P39 将来のまちの姿 5項目目 (キッズコメント)	住民が集える居場所や交流の場が身近にあり、そこで生まれたつながりを通じて地域コミュニティが活性化しています。	<u>子どもを始めとした</u> 住民が集える居場所や交流の場が身近にあり、そこで生まれたつながりを通じて地域コミュニティが活性化しています。

箇所	修正前	修正後
P39 私たちが取り組むこと 【町内会・NPO・企業等】 (キッズコメント)	(記載なし)	○子どもが主役の交流の場づくり
P39 私たちが取り組むこと 【行政】 (キッズコメント)	(記載なし)	○子どもが主役の交流の場づくりの支援
P45 私たちが取り組むこと 【行政】 5 項目目	○子育て支援の充実	○働きながら子育てできる環境の整備
P46 基本目標 7 タイトル	強みを生かし <u>グローバル化に対応する</u> まちにします	強みを生かし <u>世界とつながる</u> まちにします
P46 私たちが取り組むこと 【行政】 6 項目目	○国際的な視野を持った人材の育成・確保	○国際的な視野を持った人材の育成・ <u>活用</u> <u>の支援</u>
P50 将来のまちの姿 1 項目目 (キッズコメント)	子どもたちは、一人一人の個性や特性を伸ばす充実した <u>教育を受けること</u> を通じて、生きる力を高め、豊かな創造力を身に付けながら成長しています。	子どもたちは、一人一人の個性や特性を伸ばす充実した <u>教育を受け、伸び伸びと遊ぶこと</u> を通じて、生きる力を高め、豊かな創造力を身に付けながら成長しています。
P50 将来のまちの姿 3 項目目 (キッズコメント)	いじめや不登校、児童虐待などを未然に防ぐ環境が整っています。	いじめや不登校、児童虐待などを未然に防ぐ <u>とともに、迅速かつ適切に対応する</u> 環境が整っています。
P50 私たちが取り組むこと 【行政】 (キッズコメント)	(記載なし)	○子どもが伸び伸びと遊べる場の充実
P50 私たちが取り組むこと 【行政】 5 項目目 (キッズコメント)	○家庭・地域・学校の連携による体験活動などの推進	○家庭・地域・学校との連携による <u>地域について学ぶ機会</u> や体験活動などの充実

箇所	修正前	修正後
P50 私たちが取り組むこと 【行政】 8 項目目 (キッズコメント)	○いじめ、不登校、児童虐待などを未然に防ぐための家庭や地域、関係機関との連携強化	○いじめ、不登校、児童虐待などの相談・支援体制の充実及び家庭や地域、関係機関との連携強化
P53 私たちが取り組むこと 【行政】 (キッズコメント)	(記載なし)	○子どもがボランティア活動に参加しやすい環境づくり
P54 私たちが取り組むこと 【行政】 2 項目目 (キッズコメント)	○市民、自主防災組織などとの連携・協力による防災対策の推進	○市民、自主防災組織、学校などとの連携・協力による防災対策の推進
P55 将来のまちの姿 3 項目目	都市生活型公害といわれる、自動車排出ガスによる大気汚染や騒音、悪臭などについて、適切な対策や市民への情報提供などを通じ、 <u>安心が確保されています。</u>	都市生活型公害といわれる、自動車排出ガスによる大気汚染や騒音、悪臭などについて、適切な対策や市民への情報提供などを通じ、 <u>市民の健康で安心な暮らしが守られています。</u>
P55 将来のまちの姿 5 項目目 (キッズコメント)	雪対策に関して、市民・企業・行政の連携による冬の市民生活ルール共有や、効果的で効率的な除排雪などを通じて、雪と共存した豊かな暮らしが実現しています。	雪対策に関して、市民・企業・行政の連携による冬の市民生活ルール共有や、効果的で効率的な除排雪などを通じて、 <u>安全な冬道が確保され、雪と共存した豊かな暮らしが実現しています。</u>
P55 私たちが取り組むこと 【行政】 (キッズコメント)	(記載なし)	○通学路の安全確保に向けた取組の推進
P58 私たちが取り組むこと 【行政】 (キッズコメント)	(記載なし)	○子どもがエネルギーについて学習する機会の充実
P59 将来のまちの姿 2 項目目 (キッズコメント)	子どもたちは、日常生活に根差した学習活動を通じて、 <u>広く環境問題に関心を持っています。</u>	子どもたちは、 <u>自然とのふれあいや日常生活に根差した学習活動を通じて、広く環境問題に関心を持ち、身近なことから取り組んでいます。</u>

箇所	修正前	修正後
P59 将来のまちの姿 3 項目目 (パブリックコメント及びキッズコメント)	市民や企業などは、ふるさと札幌の美しい自然・環境を守り育てる意識を持ちながら、持続可能なまちづくりに主体的に取り組んでいます。	市民や企業などは、ふるさと札幌の美しい自然・環境を守り育て、 <u>美しい景観を維持・創出する意識を持ちながら</u> 、持続可能なまちづくりに主体的に取り組んでいます。
P59 私たちが取り組むこと 【市民】 4 項目目 (キッズコメント)	○子どもたちへの学習 <u>機会</u> の積極的な提供	○子どもが自然とふれあう <u>機会</u> や学習する <u>機会</u> の積極的な提供
P62 基本目標 19 タイトル	文化芸術やスポーツにより <u>産業が発展する</u> まちにします	文化芸術やスポーツの <u>魅力によりにぎわいが生まれる</u> まちにします
P62 将来のまちの姿 1 項目目	<u>文化芸術やスポーツが多くの人を集め、札幌の魅力的な資源として、観光振興や国際交流などの様々な分野で生かされています。</u>	<u>多くの人が集まる文化芸術やスポーツが、札幌の魅力的な資源として、観光振興や国際交流などの様々な分野で生かされています。</u>
P63 将来のまちの姿 3 項目目 (キッズコメント)	札幌らしいライフスタイルの中から生み出される札幌・北海道の魅力を市民一人一人が再認識し、その魅力を高め、誇りを持って多様な手段により国内外に発信することで、世界の様々な人々と交流しています。	札幌型ライフスタイルの中から生み出される札幌・北海道の魅力を市民一人一人が再認識し、その魅力を高め、誇りを持って多様な手段により国内外に発信することで、世界の様々な人々が <u>集い、</u> 交流しています。
P63 私たちが取り組むこと 主体	【市民・企業等】	【市民・ <u>町内会</u> ・NPO・企業】
P63 私たちが取り組むこと 【市民・町内会・NPO・企業】 1 項目目	○札幌の魅力を楽しむライフスタイルの <u>確立</u>	○札幌の魅力を楽しむライフスタイルの <u>追求</u>
P63 私たちが取り組むこと 【行政】 (キッズコメント)	(記載なし)	○子どもが札幌・北海道の <u>魅力を知る機会</u> の <u>充実</u>

箇所	修正前	修正後
P65 私たちが取り組むこと 【行政】 (キッズコメント)	(記載なし)	<u>○子どもが公共交通に親しむ取組の充実</u>
P67 将来のまちの姿 1 項目目	市街地では、うるおいと安らぎを与えるみどりと、憩いや交流の場となるオープンスペースが十分にあり、それらを生かした、市民に親しまれる良好な都市景観が形成されています。	市街地では、うるおいと安らぎを与えるみどりと、憩いや交流の場として活用されるオープンスペースが十分にあり、それらを生かした、市民に親しまれる良好な都市景観が形成されています。
P70 第1節基本理念 囲み 6 行目	そして、まちづくりの担い手に成長した子どもたちが、また次の世代に、このまちの魅力を引き継いでいくことにより、世代間の良好な循環を実現します。	そして、札幌に誇りを持ち、積極的かつ主体的なまちづくりの担い手に成長した子どもたちが、また次の世代に、このまちの魅力を引き継いでいくことにより、世代間の良好な循環を実現します。
P72 (3) 北海道の魅力の発信 本文	札幌が持つ情報発信機能を活用し、北海道全体の魅力を札幌から道外へ発信します。	札幌が持つ情報発信機能を活用し、北海道全体の魅力を札幌から国内外へ発信します。

表紙デザイン

札幌市立大学 デザイン学部
メディアデザインコース4年
澤出 有里さんの作品です



全体的なデザインは、札幌の象徴と言えるテレビ塔と、人々が集まってみんなで作り上げていくまちづくりをイメージしました。

札幌の美しい景観を守りながら、手を取りあって明るく可能性のあるまちを創造していくという思いを込めました。

背景に散りばめられた模様は様々な人が協力しあって、世界が憧れる札幌のまちを創造し続けている様子を表現しています。

札幌市まちづくり戦略ビジョン <ビジョン編> (平成25~34年度)

平成25年(2013年)6月発行

企画・編集：札幌市市長政策室政策企画部企画課

〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目

電話 011-211-2192 FAX 011-218-5109

ホームページ：<http://www.city.sapporo.jp/kikaku/vision/>

頒布価格：130円



さっぽろ市
01-A02-13-719
25-1-42



SAPPORO 2013-2022

SAPP_RO